

多摩川流域及び多摩地域が抱える自然環境保全 (河川、水路、丘陵等)の課題と住民活動の実態調査

1 9 9 9 年

榎 本 正 邦

せたがや村ネットYUI代表

目 次

はじめに	1
1. 調査・研究の目的	2
2. 調査・研究の方法	2
3. 調査・研究の進め方	2
4. 調査の結果	
(1) アンケート調査による多摩川流域及び多摩地区における 市民・住民団体活動の実態と動向	3
(2) ヒアリングによる調査	44
5. 総合的考察	67
〈参考資料〉	
－新聞記事における多摩川流域の環境問題の動向調査 (1990年1月～1995年12月)－	69
－多摩地域における自然環境関連記事－	71

はじめに

多摩川流域における川の自然を守ろうとする住民の活動は、昭和40年代（1965～'79）に入ってから活性化し、昭和45年の「多摩川の自然を守る会」の発足（代表：市田則孝、当時）により流域全体の自然保護活動へ展開したといえる。

流域各地で、自然・生活環境の保全や改善を指向する住民団体が発足し、やがてゆるやかなネットワークが形成されるようになる。「多摩川水系自然保護団体協議会」の発足（昭和49年、事務局長：矢萩隆信、現在継続）もその代表的な例である。

当時の活動の視点は、身近な生活環境の中にある多摩川の自然が、河川改修や都市施設としての公園、グラウンド、沿川の道路整備により破壊されていくことに対する反対運動が目的であった。

当時、河川管理者や自治体の施策の中で「川の自然を守る」という視点は、極めて希薄であり、施策や事業は持ち合わせなかった。

このような状況の中で、住民による川の自然の保護運動は多くの共感を呼び、全国的な運動へと広がる。そして、河川管理者による多摩川をモデルとした「河川環境管理計画」の策定（昭和54年、1979）へ展開する。その後、河川環境の概念や保護、保全、育成等の対策がさまざまな制度、事業等で試みられるようになり、平成9年6月の河川法改正へと進むこととなる。

本調査・研究は、そうした多摩川水系流域における歴史的経過を踏まえ、現状として水や緑、ゴミ問題、リサイクル等、自然や生活環境に関わる住民活動がどのようになされ、どのような課題をもっているかの実態を調べることを目的としている。

多摩川流域のみならず、鶴見川、荒川水系を含む多摩地域をフィールドとしたこの調査にあたっては、先出の多摩川水系自然保護団体協議会、三多摩自然環境センター、多摩川センター、TRネット（鶴見川流域ネット）、各関係団体関係者のご協力を頂いた。ここに改めて謝意を表したいと思います。

1997年 4 月

榎 本 正 邦

1. 調査・研究の目的

多摩川流域、及び多摩地域（鶴見川・荒川水系の東京都域、以下同）は、川や水環境、緑地等の保護・保全活動を目的とした市民・住民団体が数多く活動している。とくに多摩川については昭和40年代半ばから活動が活発に行われて来たが、団体の運営にあたっては、様々な課題を抱えながら活動を行っている。

本調査研究は、こうした市民・住民団体の活動の実体を調査するとともに、今日の河川行政や事業について住民の視点から意見聴取を行い、今後の市民・住民活動のあり方について検討したいと考える。

2. 調査・研究の方法

(1) 市民・住民活動の実体調査

多摩川流域及び多摩地域で活動する河川、水、緑に関わる市民団体に対し、アンケート調査、キーパーソンに対するヒアリング調査を行い、

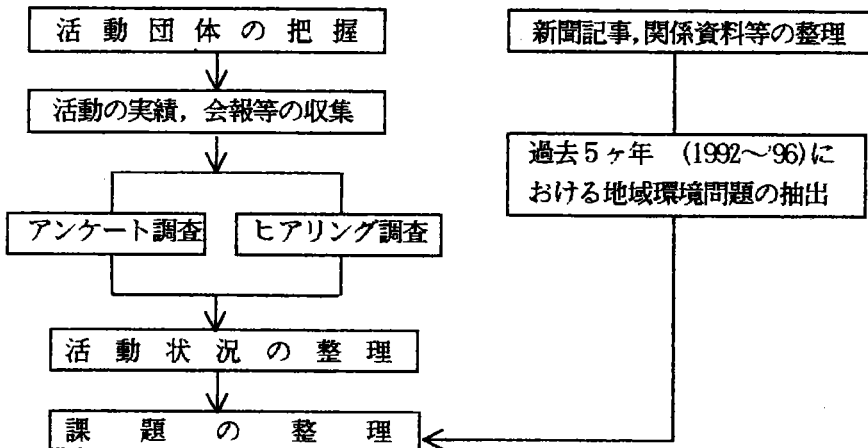
- ① 活動の目的、内容、課題等を把握する。
- ② 主に河川行政、事業に対する住民の視点から課題、提案等を整理する。

(2) 多摩川及びその流域に関する話題や問題点につき、新聞情報を整理する。

(3) (1), (2) の情報を整理し、今後の方策について検討する。

3. 調査・研究の進め方

(1) 調査のフロー



(2) 調査・研究体制

- | | |
|------------|---|
| ①アンケート調査 | 榎本 正邦（せたがや村ネットYUI） |
| ②ヒアリング調査 | 小林 幸治（多摩川センター） |
| ③新聞情報整理 | 小林 幸治（多摩川センター） |
| ④情報の整理及び検討 | 榎本 正邦（せたがや村ネットYUI），渡辺 信宏（FAMS）
滝沢 雄一（八王子ランドマーク研究会），横山 十四男（東京家政大学）
小沢 紀美子（東京学芸大学），山道 省三（東京農大客員研究員） |

4. 調査の結果

(1) アンケート調査による多摩川流域及び多摩地域（以下、調査地域）における市民・住民団体活動の実態と動向

①調査の方法

調査地域における河川、水、緑等の環境保全に関わる団体 158 団体を抽出し、平成 7 年 2 月 1 日～25 日の間において、表 4-1 に示すようなアンケート調査票を郵送し、回収を行った。

〈対 象〉 多摩地域（多摩川、鶴見川、荒川水系）で活動している自然環境保全に関わる団体 158 団体

（東京都環境保全局、多摩川センター、三多摩自然環境センター資料を参考）

〈方 法〉 アンケート票による記述式で郵送による回収

〈内 容〉 団体のプロフィール、活動状況等

〈回収率〉 多摩地域に関わる 158 団体中、89 団体回収

（平成 7 年 4 月 1 日現在）

表 4-1 アンケート調査票

アンケート調査票

—— 自然環境保全等における市民活動調査 ——

▶ 団体・グループのプロフィールをおうかがいします ◀ (1995年2月1日現在)

(フリガナ) 名称		
略称・通称など		代表者名
連絡先		
住所:		TEL:
氏名:		FAX:
参加されている連絡会・ネットワークなど、ありましたら		
名称:		
連絡先:		
活動開始年月	会員数	会費
年 月	名	ある・ない (「ある」場合: ご了承ください) (「ない」場合: ご了承ください)
会報 (「ある」場合: ご了承ください)		
ある・ない (名前)		年 回発行
主な活動地域		
① () 区町 市内 ② () 都 県 内 ③ 全国 ④ その他 ()		
活動資金源		
① 会費 () 円/年 ② 寄付・カンパ ③ 助成金 (民間・行政)		
④ その他 ()		
活動のきっかけ		
活動の目的		

< アンケート調査票つぎ >

▶ 活動状況について、おうかがいします ◀

(該当する 番号・アルファベットにいくつじも ○印をつけてください)

① 活動の対象

1. 河川・水路 2. 湖沼・池 3. 運河・海 4. 丘陵・森林 5. 公園
6. 湧水 7. 動植物 8. その他 ()

② 活動の内容

1. 自然観察 → ② 野鳥 ③ 植物 ④ 昆虫 ⑤ 動物 ⑥ その他 ()
2. 生物の保存・復元 → ④ ホタル ⑤ トンボ ⑥ メダカ ⑦ 草木 ⑧ その他 ()
3. 植栽 → ② 植樹 ③ 花づくり ④ その他 ()
4. 魚の放流 → ④ コイ・フナ ⑤ メダカ ⑥ サケ ⑦ その他 ()
5. 環境調査 → ④ 水質 ⑤ 大気 ⑥ 土壌 ⑦ 生物 ⑧ その他 ()
6. 水質浄化 → ④ 木炭浄化 ⑤ せりけん製造 ⑥ その他 ()
7. 清掃 → ④ 河川・河川敷 ⑤ 公園 ⑥ その他 ()
8. 歴史文化の保存・継承 → ④ 遺跡 ⑤ 建造物 ⑥ 伝承芸 ⑦ 民俗学
⑧ 川漁 ⑨ その他 ()
9. 印刷物の発行 → ④ 会報 ⑤ パンフレット・リーフレット ⑥ 副読本 ⑦ 写真集
⑧ マップ ⑨ その他 ()
10. イベントの開催 → ④ シンポジウム・フォーラム ⑤ 講演会 ⑥ 展示会 ⑦ 撮影会
⑧ 川下り ⑨ スポーツ ⑩ リサイクルバザー ⑪ コンサートのキャンプ
⑫ 観覧会 ⑬ お祭り ⑭ その他 ()
11. 他の団体との交流・協力
12. 行政への働きかけ → ④ 意見・情報交換 ⑤ 提言 ⑥ 署名・陳情・要望
⑦ その他 ()
13. その他 → ()

③ 活動していくうえで、不足しているもの、困っていること

1. 人材 2. 資金 3. 情報 4. 活動時間 5. 活動拠点
6. 他の団体との協力関係 7. 行政との協力関係
8. その他 ()

④ 今後の活動予定

⑤ 今、とくに気にかけている自然環境保全への課題

⑥ 行政に望むこと

⑦ その他、ご意見・ご要望などありましたら お書きください。

ご記入者名 { }

—— ご協力ありがとうございました ... 2月25日までに ご返送ください ——

②集計の結果（サンプル数 89 件）

a. 会則について

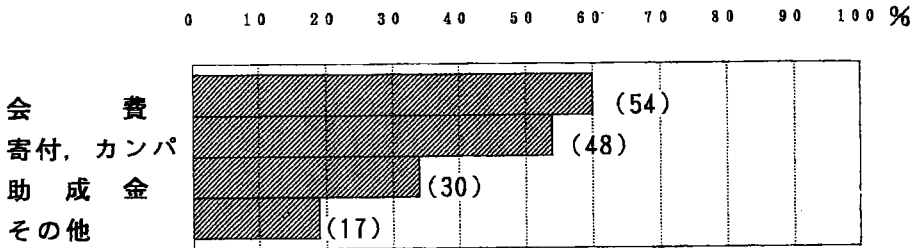
会則の有無については、「あり」が 47 件(53%)、「なし」が 42 件(47%)。

b. 会報について

会報を発行しているかどうかについては、「あり」が 60 件(67%)、「なし」が 28 件(31%)、回答なしが 1 件。

c. 「資金源」について（複数回答）

表4-2 資金源についての集計結果（複数回答，（）内数字は件数）

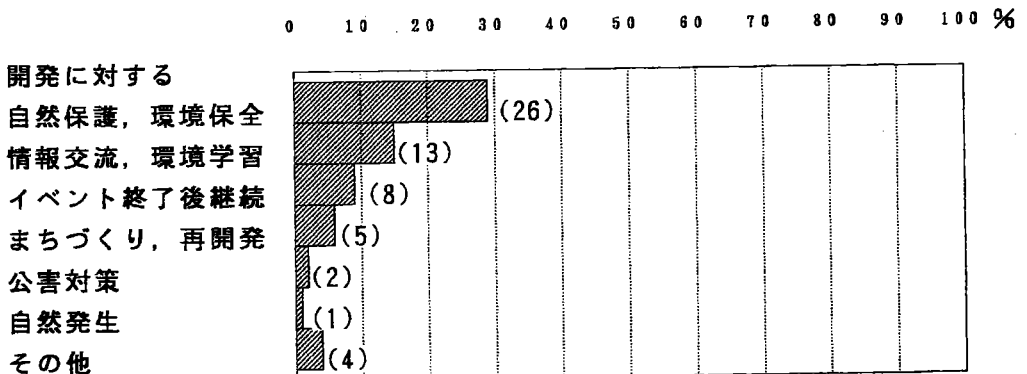


その他の項では、「自治体からの委託費のプール」「委員手当」「学園祭, 市行事でのバザー収入」「映画上映等イベント収入」「手づくり絵ハガキ, カレンダー等の販売収入」等が挙げられている。

d. 「活動のきっかけ」について（複数回答）

活動のきっかけは、「開発に対する自然保護、環境保全」が 26 件(29%)が圧倒的に多く、ついで「情報提供、環境学習」が 13 件(15%)、「イベント終了後継続」が 8 件(9%)、以下「まちづくり、再開発」「公害対策」等が挙げられている。

表4-3 「活動のきっかけ」の集計結果（複数回答，（）内数字は件数）



以下に、「活動のきっかけ」に対する各団体の記述を要約したものを示す。

表4-4 「活動のきっかけ」に対する回答内容

9年前ニヶ領用水の水利権が耕地面積の減少を理由に大幅に削減されようとしたため、水利権の確保と川崎のルーツ＝ニヶ領用水を活用した街づくりを訴えて活動を開始した。

- 多摩問題調査研究会（創立1972年）の発展的解散をうけて5年前より準備・試行の上、独立。

東京都から一般都民に公募方式で呼びかけた。

国立市内のビオトープネットワークの核である一橋大学キャンパスの再整備にあたって、市全体の環境との関係を考えるために結成した。

TAMAらいふ21事業、多摩川ゴミレンジャーで、リバーウォッチングチームとしてアクションプログラムを企画・実行したのがはじまり。

地域内にある山林が学校造成のため切削されようとしたため。

生活クラブ生協を通して街づくりを考えたこと

とうきゅう環境浄化財団の助成研究「水みちマップ作成の為の調査研究」を進めるなかで、各地での調査の要望があったため。

柳川堀割物語を上映する会を結成。成功裡に終了後、解散せずそのままゆっくりした会として創立した。

市内の自然がすばらしいのに、知らない人やこわす人がいたから

1970年代に多摩川流域で、住民運動が活発になり、住民運動団体のノウハウ、各行政との折衝ノウハウの情報交換が必要となった。

福生市地先の多摩川の河原に福生市が運動公園を造ることに反対して、日本野鳥の会、日本自然保護協会の会員の有志、その他の人たちが集まって結成。のち狛江市の堤防道路に反対する住民が加盟した。

1991年7月の東京都の「秋留台地域整備計画、中間報告」
大規模な開発で西多摩の丘陵の自然が根こそぎダメになってしまうという危機感。

趣味家が集まり、アマチュアのためのサークルでも作ってお互い情報交換栽培技術向上を図る。

日の出町に営巣していたオオタカのヒナが1988年89年と2年連続して密猟されたため、オオタカの保護のために密猟防止活動を始めた。

自然が失われていくのを見て、このままで良いのかと仲間呼びかける。中西悟堂先生の遺したことばがきっかけ。

1. 行政内部の自主研究グループとして発足（机上論からカウンターを乗り越えて）
2. 既成組織にとらわれなくて、まちづくり活動を手づくりで動き出したい。
3. 首都圏中央連絡道路の計画

多摩川の支流、野川の河川環境の回復をテーマとして

障害者団体で、ゴミ問題に関心のあるグループが他のグループに呼びかけてはじまった。

八王子川口丘陵を造成する住宅・都市整備公団の八王子川口土地区画整理事業計画（リサーチパーク計画）に疑問を持ち、豊かな自然環境が保たれている丘陵を残そうと活動。

自然に発生（有志による）

小平監視所下流への流水全面ストップの新聞記事に端を発し、側壁崩落、植生等への悪影響が環境悪化を招来することへの懸念から。

急激な都市化により汚染された河川の浄化とホタルの乱舞を子供達に観察させたいとの願いによる。

市立南小に付設された学童保育所の子供たちの庭がわりとなっていた原っぱが失くなってしまおうという危機感から。父母会活動の中心メンバーが子供の卒所にあわせて会を発足。メンバーは全員同学童保育所父母会OB。

多摩N. T. 開発によって隣接する酪農集落がつぶされようとしている事に対する都市住民の支援。

昭和55年度の都市計画線引きの見直し作業において、南陽台地区周辺の緑地保全区域が市街化区域に編入する事態が起り、環境保全の目的から結成。

トリクロロエチレンで汚染された府中にある西部旧5号井戸が、都道の下に埋められようとした時、市民の声を集め行政に届け、阻止させようと…。

東京の西多摩地域のオオタカを守るために結成された東京オオタカ保護連絡会の活動を支持し、支援するための会として発足した。

内川と内川河口埋立計画に反対してゆく事から結成され、その保全を目指していくため。

内川の暗渠化計画及び河口部（平和島運河）の埋立計画に伴い、地元住民が川と河口の環境保全及び親水性を求めるために結成。

あせて開発することはないと思ったから。

大田区東海1-2という埋立地は、もちろん使用目的をもって埋め立てられたものでありますが、当該緑地は、20有余年の放置（冬の枯葦などは火災を防ぐため公社で切り倒してはいたが）期間があり、水路池には、ザリガニ・ウシガエル・フナ・モツゴ・カダヤシ・水棲昆虫などが増え、野原にはバッタ・カマキリ・トンボ・チョウなどの繁殖地となっていた。1991年大田区営球場建設案

原っぱ、雑木林、畑が、年々減少していたので…

湧水の水源となる雨水を地中にかん養させるため、下水道雨水枡の底を抜くように議会に陳情したことをきっかけに、行政職員を中心に学習会を作った。

公民館主催のシンポジウム「都市と自然の調和」の企画・運営（実行委員）を通じて結成された。

首都圏多摩丘陵のすさまじい開発ラッシュによって、自然、遺跡が失われ、公害がひろがり、危機感を抱いた5名のものが、結束して旗あげした。

市社会教育課の主催の観察が、一年間月一回実施された。

調布（居住区域）の自然をもっとよく知る為。

内川河口埋立計画に反対する意志表示を掲げた事から始まりました。

日本野鳥の会の支部として設立

はむらの植物ガイドの出版を羽村市で公募して発刊。発刊後一部メンバーが集まって作りました。

日野が好きだったから。

多摩川河川敷ランド造成問題

私達は長い歴史の中で利水のため水循環を断ち、川を滅ぼしてきました。この矢川の清流を見つけた時、この身近な川を通して、私たちの暮らしが川に及ぼす影響を調べ、失ってしまった水を、なんとか自分たちの手に取り戻せないかと調査を始めました。

1980年ごろから、サケの生態を知りながら、環境問題を考えていこうという運動がイギリス・カナダ・アメリカ・日本であいついでおこってきた。イギリスのテムズ川に150年ぶりにサケのかえってきたことが、大きなきっかけ。

釣人が海を大事にしない、マナー欠落を注意したことから。

民間団体名簿参照

大田区大森の平和島運河（内川河口）の、大田区による埋立計画を知り、近隣住民が集まって、会を作った。

八王子ニュータウン開発計画で、身近な丘陵や樹木が切り開かれ倒されていくのを目のあたりに見ていた結果。

国分寺市内の動物調査

「玉川上水の自然保護を考える」「玉川上水にホタルをとばそう」をテーマとした砂川公民館の講座の参加者が中心となって発足。

野鳥の会の探鳥会が多摩川・大栗川合流点を中心にやっていたが、人数が多いのと、人的交流ができにくいので。

92年度に世田谷で行なわれた「多摩川環境セミナー」をきっかけに、セミナーの企画・運営委員の有志が世話人となって発足。

多摩川土手にアスファルト舗装のサイクリング道路をつくらうという「武蔵野の路」工事を市役所が強行しようとしたことによる。

造園・環境デザイン・まちづくりを職業とする仲間が集まり、地域で何か活動をしようということではまった。

様々な価値観のすり合わせ、様々な環境の中での生活を考える当グループの性格上、必然的に。天然の“自然”というものは、「あそぶ」上でも多大な知を与えてくれ、誰もがとっかかりやすいため、プログラムの素材になりやすいから。

遊び場としての川原・林道等を、遊び場としてだけではなく、自然環境を考えながら残していかなければという思いから。

八王子西部地区に開発が予定されている「川口リサーチパーク」の開発から自然を守るため。

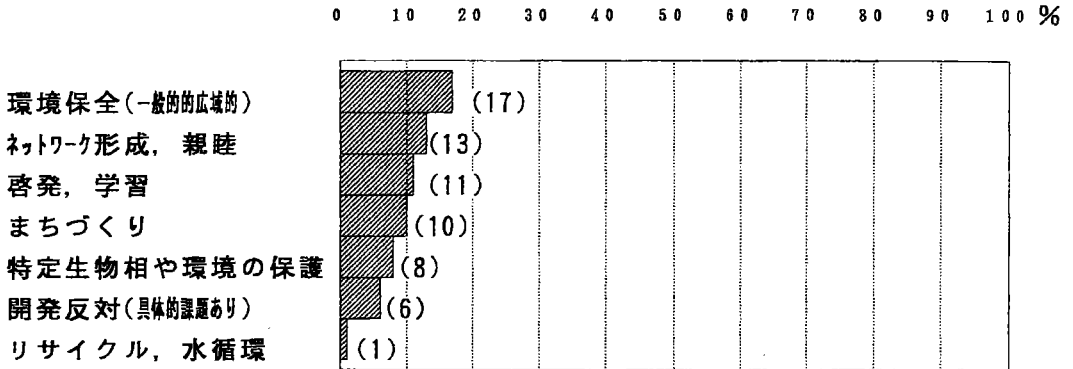
身近な自然の見直し

'93.10.30 国立6小PTAが開催した「川コンサート」…の反響。

e. 「活動の目的」について（複数回答）

活動の目的の順位は、地域の環境保全（一般的広域的）活動が15件(17%)、ネットワークの形成、親睦が12件(13%)、啓発・学習活動10件(11%)、以下まちづくり、特定の生物相・環境の保護という順になるが、上位4位は相互に重複している場合が多い。

表4-5 「活動の目的」の集計結果（複数回答、()内数字は件数）



以下に示す記述は、各団体の活動目的の記述に表現されているキーワードを中心に大まかに整理したものであるが、多くの場合、上記分類より複数の目的を持つものである。調査票に記述されたものを表4-6に示す。

表4-6 「活動の目的」に対する回答内容

ニヶ領用水を生かした水文化都市川崎の創造

- 関東三大河川（荒川、多摩川、利根川、東京湾等）で分水嶺をこえた総合的な調査・研究を通して、流域の振興、環境保全等を図る。

1. 雑木林の動植物を豊かにする 2. 雑木林の植生管理を市民の新しいレクリエーションにする 3. 雑木林に関わる文化、技術を伝承する 4. ボラ活動をいきがいにすることができる 5. 市民参加型の新しい公園の運営を実践する 6. 行政のしくみを知り、市民として使いこなす

国立市とその周辺を、生き物の住める街にすることと、その生き物と市民が関わりを持てるようにすること。

川が日々の暮らしとかけはなれてしまった今、ひとりでも多くの人に川に関心をもってもらうためのキッカケづくり。

川とともにだちになり、そこに集まった人同志ともだちになれたらいいな。

前記開発を阻止するため。

街づくり（だれでもがやさしく暮らせる街をめざして）

市民みずからが地下水の水みちを調査研究することを通して、学習し、地域の環境保全について啓発活動を行なう。

市内の環境保全（水・緑・河川の浄化など）

自然を大切にする人を、多くすること

多摩川水系にかかわる自然保護団体の相互の情報交換と連帯

多摩川水系の自然を人為的破壊から守り、同時に多摩川を自然教育の場として活用すること。

1. 西多摩に残る丘陵の自然を守る観点から、秋留台開発計画の見直しを求める。
2. 自然を残した地域社会のあり方を考える。

山野草の保護と培養技術向上。研究又会員相互の親睦を図る。又、趣味を通じ、地域社会との連携を深め親睦を図る。

東京都西部、特に西多摩地域におけるオオタカを保護する。

多摩川を通して自然と人間の関わりを学習する。「心」と「心」の結びつきの大切さを知る。

1. 環境問題の展示アピール
2. 個人へのリサイクルの場提供
3. 資源ゴミの回収

1. 計画予定地を都が買収し、自然保護を目的とした保全地区、公園に
2. 八王子市西部地域の交通渋滞解消策として、公共交通の整備
3. 都市計画（街づくり）は住民参加を保証すること。

主に啓蒙活動

自然を愛し、親しみ、学ぶことを柱に会報と観察会と調査活動

玉川上水とそれに伴う自然環境の保全

ホタルの自然発生を豊かな自然環境のシンボルとして地域のハケと緑と湧水を保全し、あわせて「サケ」の放流により野川の清流回復を目的とする。

くじら山下原っぱを現状の姿のままで残す。

都市住民（多摩ニュータウン居住者を含め）が農業（酪農、養蚕）の体験・交流を通じて、都市の中でも農業の必要性を感じとり、その存続を願い、農業のある街づくりを目指す。

- 多摩ニュータウン開発から農業と自然を守る。かつ、育てる。
- 農業と都市住民の共生。

自然観察会を通して自然をよく知り、住環境、公園、緑地の保全に協力する。

私たちの足元にある、地下資源である地下水を保全し飲み続けるために、水循環させ有効利用するために活動。

オオタカウォッチングを楽しみながら、オオタカを見守り、オオタカの保護活動を支援していく。

東京都内に残されている干潟や砂浜の保全とよりよい海浜の復元を実現させる。

内川及び内川河口部を人と人以外の様々な生き物が利用する。有効水辺空間として位置付け、そのための環境保全運動の展開。整備計画への助言、マスタープランづくり

青梅の自然と文化財の保存

大田球場の建設は、決定済のこととして阻止できなかったが、8.9ヘクタールのうち、2.5ヘクタールが球場に取られたが、残りの部分を自然緑地、及び、少年サッカー場一面にしてもらえよう都に請願、採択され、平成7年から工事期間に入り、平成9年度中に完成予定。

こどもたちに、自然の生態系の不思議さ、巧みさ、美しさを識り、人間形成の上に重要な位置付け

青柳崖線の湧水を残したい。

環境のファンダメンタルズである緑を守るにより、水やその他の自然を守る。

会員相互の情報交換、多摩市の自然環境を考えるとともに、各環境団体との情報交換等ネットワーク作りをすること。（会員は、主に各ボランティアグループ等団体の会員でもある）

1. 調査 2. 観察 3. 行政、デベロッパーなどとの話し合い 4. PRなどを通して、自然を生かした街づくりを提唱（具体的な場所もとりあげて）、実現させる。

自然に親しみ自然を愛する心をかん養する。

身のまわりの自然に関心を持ち、親しみ保護し、会員相互の親睦をあつくし、学び合うこと。

1. 通年の鳥の調査とカウント及び冬期の餌付け。
2. これ以上海を埋立させない為の反対行動と大田区・都との話し合い。

双眼鏡を手に、自然の中で鳥たちと親しむこと

自然を愛し、大切さを感じてもらう。又、自然に親しみ友好を深める。

日野の歴史と文化の研究、自然保護、環境保全。

多摩川をはじめ、身近な自然を守り、自然と調和した利用方法を考える。

矢川の水質、水草調査を通して、矢川を保全すると共に、国立市の水循環のある街づくりに関する調査・学習・提案活動をする。

サケをシンボルとした環境浄化運動。

→（サケの稚魚の飼育・放流を通して、多摩川を中心とした自然環境を学習する。）

私達の周りの身近な自然を知ること。

民間団体名簿参照

度重なる東京湾の埋立てから奇跡的に生き残った内川河口を、埋立計画から守り、四季折々の自然を楽しめる水辺として、昔のように美しい大森の海として、よみがえらせ、より多くの人々が集い親しめる空間とすること。

会則内に明記してあります。

身近な自然の調査、観察、写真撮影を通して自然を楽しむ事。

玉川上水周辺の自然環境の保護・回復、ホタルの復活等。

多摩市の愛鳥家、野鳥写真家、自然保護運動家、植物・野鳥愛好者などの交流。探鳥会の開催。多摩市内、二次林保護。多摩川流域の保護と観察。

「自然を活かしたまちづくり」をテーマに自然との調和を目指して、世田谷区を中心とした国分寺崖線や多摩川流域に残された水と緑の大切さを知ってもらい、考え、守る、学習会などを通じて都市における、「みずとみどりのネットワーク」につなげて行きたい。

「武蔵野の路」工事強行に反対するとともに、市民、都民誰もが安心してくつろぐことのできる「武蔵野の路」整備や多摩川環境保護に向けてとりくんでいる。

多摩で遊び、多摩を遊ぶということ。

ニュータウンに“手垢”をゴシゴシとすりつけ、ふるさとと呼べる楽しいまちにしていこう。

- 生命の神秘性、必然性、循環性を知る。
- 人間と地球の共生を考える。

林道・河原をできるだけ良い形で、残すのを目的とする。

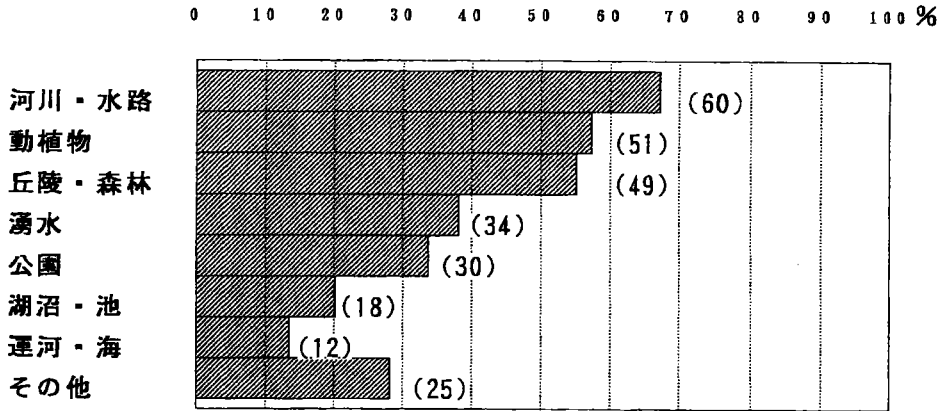
身近な自然を正確に観察することにより自然のしくみを正しく学び、自然と人間社会とのかかわりあいを考える。

せっかく身近なところに手ごろな川があるのだから、（地域の）みんなでもっと関心を持ってつきあい、もっといい川にしていきたい…と思う。

f. 「活動の対象」について（複数回答）

この項は、活動する場（エリア）がどのような所かを知ろうとして行ったものである。その結果を表4-7に示す。

表4-7 「活動の対象」について（複数回答、（）内数字は件数、無回答4）



この結果をその順位で示すと、「河川・水路」が60件で(67.4%)、「動・植物」が51件(57%)、「丘陵・森林」以下「湧水」、「公園」、「湖沼・池」、「運河・海」、「その他」となっている。

その他の項目は、リサイクル、はらっぱ、環境問題全般、農地、玉川上水、まちづくり、崖線などが挙げられている。全般的に各団体とも複数の対象が多い。

g. 「活動の内容」について（複数回答）

この項は、前項の活動の目的をより詳しく知るために、項目選択方式及びその他記述方式で回答を得たものである。その結果を表4-8で示す。

表4-8 「活動の内容」について

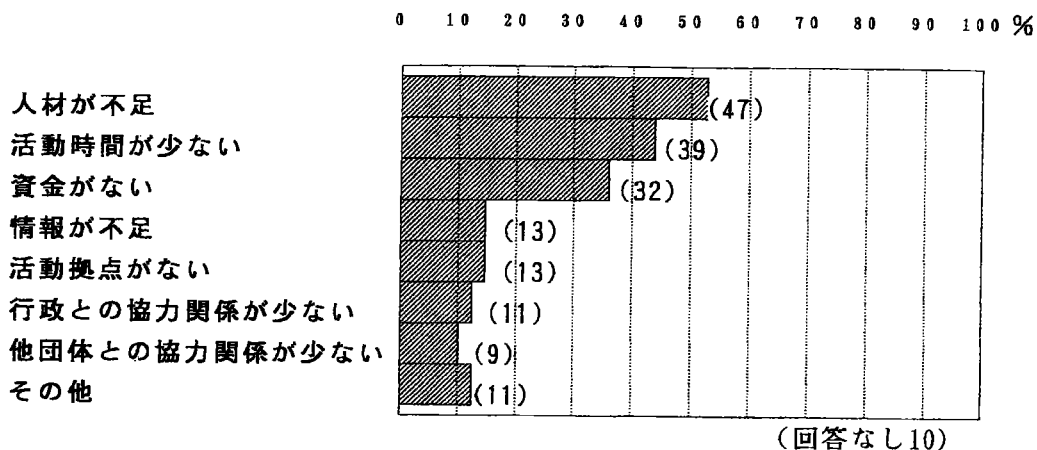
(1) イベントの開催		72件(80.9%)(内容の%はコンマ以下、四捨五入)	
① 観察会	49件(55%)	⑦ ｽｰｯ大会	3件(3%)
② 講演会	27件(30%)	⑧ キャンプ	3件(3%)
③ 展示会	24件(26%)	⑨ 川下り	2件(2%)
④ シホ・フォーラム	23件(26%)	⑩ 撮影会	2件(2%)
⑤ お祭り	12件(13%)	⑪ コンサート	2件(2%)
⑥ リサイクル・バザー	6件(6%)	⑫ その他	12件
* 『その他』の項目には、「川歩き」「川遊び」「バーベキュー大会」「橋づくり」「バードカービング」「写生会」「ホテルのタベ」等が挙げられている。			
(2) 印刷物の発行		66件(74.2%)	
① 会報	60件(67%)	④ 副読本	3件
② パンフ、リーフレット	14件(16%)	⑤ その他	15件
③ 散策マップ等	12件(13%)		
* 『その他』の項目には、「啓発書・本」「資料集」「ポストカード・カレンダー(手づくり)」「ミニコミ紙」等が挙げられている。			
(3) 自然観察		65件(73%)	
① 植物	46件(52%)	④ その他動物	25件(28%)
② 野鳥	44件(49%)	⑤ その他	12件
③ 昆虫	12件(13%)		
* 『その他動物』は、魚類、タヌキ等の哺乳類が挙げられる。 『その他』では、雑木林、地形・地質、菌類等が挙げられている。			
(4) 行政への働きかけ		65件(73%)	
① 提言	46件(52%)	③ 署名・陳情・要望	34件(38%)
② 意見・情報交換	44件(49%)	④ その他	26件
* 『その他』では、行事共催(協力)、協力要請、マスタープラン作成等が挙げられている。			
(5) 他の団体との交流・協力		53件(59.6%)	
(6) 環境調査		50件(56.2%)	
① 水質	28件(31%)	④ 土壌	4件(4%)
② 生物	26件(29%)	⑤ その他	9件
③ 大気	9件(10%)		
* 『その他』の項目には、「地下水」「湧水」「景観」「人間の活動」「土地利用」等が挙げられている。			

(7) 生物の保護・復元		40件 (45%)	
① 草木	18件 (20%)	④ メダカ	3件 (3%)
② ホタル	15件 (17%)	⑤ その他	12件
③ トンボ	5件 (6%)		
* 『その他』の項は、「雑木林」「エビ」「カタクリ」「トウキョウサンショウウオ」「オオタカ」「ホトケドジョウ」等が挙げられている。			
(8) 清掃		37件 (41.5%)	
① 河川・河川敷	24件 (27%)	③ その他	7件
② 公園	6件 (7%)		
* 『その他』の項には、「山」「丘陵地」「尾根道」「海岸」等が挙げられている。			
(9) 歴史・文化(財)の保存・継承		26件 (29.2%)	
① 遺跡	8件 (9%)	④ 民族	2件 (2%)
② 建造物	4件 (4%)	⑤ 伝統芸	1件 (1%)
③ 川漁	3件 (3%)	⑥ その他	4件
* 『その他』の項には、「雑木林の管理技術」「井戸文化」「炭焼き」「谷戸」「屋敷林」等が挙げられている。			
(10) 植栽		15件 (21.3%)	
① 植樹	8件 (9%)	③ その他	2件
② 花(壇)づくり	5件 (6%)		
* 『その他』の項には、「アシ」「レンゲ」「ガマ」等が挙げられている。			
(11) 水質浄化		10件 (11.2%)	
① 木炭浄化	6件 (7%)	③ その他	2件
② せっけんづくり	2件 (2%)		
* 『その他』の項には、「水生植物植栽」「湿地をつくる」が挙げられている。			
(12) 魚の放流		9件 (10.1%)	
① コイ・フナ	3件	① メダカ	3件
① サケ	3件	② ヤマメ	2件

h. 「活動の課題」について

この項は、団体の活動や運営を継続する上での課題について調べたものである。順位としては、表4-9に示すように「人材の不足」が53%で第1位、「活動時間が少ない」が43%で第2位、「資金が足りない」が36%で第3位となっている。以下、「情報の不足」、「活動拠点がない」、「行政・他団体」との協力関係が無い等が挙げられている。

表4-9 活動の課題について（複数回答，（）内数字は件数）



i. 「今後の活動予定」について

各団体の今後の活動予定について調査票に記述されたものを以下に示す。

表4-10 「今後の活動予定」に対する回答内容

市民参加方式で作成した「二か領用水総合基本計画」を着実に実現していけるよう市民と行政の体制作りを行う。宿河原堰改築問題に積極的に取り組み、川崎・水と緑のネットワークの市民交流の場を育てていく。

1. シンポジウム7/21～7/22利根川水系・足尾（バスツアー実施）
2. 森は海の恋人ツアー3/11～3/12
3. その他4月の例会で決定。

来年度の活動の予定は2/25の活動日に皆で相談する予定です。大筋に於ては本年度と変わりないと思います。

市民による国立市ピオトープネットワークプラン立案のための基礎調査。

浅川・平井川と、一年に一つの川を2～3回にわけて歩いているが、本年は玉川上水を歩く予定。

活動のきっかけとなった開発は一応撤回されたので、以後は地域における自然環境保全を積極的に推進する活動を続けていく。

別紙参照 '95活動方針同封

- 今年度は多摩交流センターの助成研究を進めている。
- 野川流域の調査がほぼ終わるのでまとめの出版物を作成する予定。

ウォーキングラリー、身近な川の水質調査、水郷水都全国会議へのツアー募集、ゴミ問題への取組

1. 定期的な河川管理者との意見交換、協議の継続
2. フィールドワークの展開

あくまでも多摩川（水系）の現場に立って、その自然環境を守る方法を考えると同時に、「自然保護運動」などしなくても自然に親しみ、自然から学べるように社会を変えることを地道にめざす。

- 生物調査（トウキョウサンショウウオ・オオムラサキ、植物他）
- 里山シンポ
- 炭焼き
- 行政への要請（秋留台開発計画の見直し）
- その他

自然探勝会、研修会、研修旅行（栽培技術向上）、見学会、他地区山草会との交流、山草展示会、山野草を賞味する会。有志に依る別荘一泊懇親会

例年、オオタカの営巣・繁殖状況を調査し、ヒナを密猟から守るためのフェンス取付・パトロールを行っている。

「雑木林〇〇物語」「浅川・川下りサバイバルレース」「身近な川の一斉調査」「川は風の通り道の調査」「歴史的土木遺産の調査」等のプロジェクト。「むささび探偵団」「花ゲリラ」「源流探検隊」「障害者との自然観察会ハイキング」「まちかど探検隊」等については随時。

来年度（1995年度）中に解散の予定

1999年までは、アースデイのみの市を、続けてゆく。

1. オオタカ自主調査（毎月一回）
2. 自主アセスの発行
3. 計画予定地の保全を市、都、国（環境庁など）に働きかけていく。

玉川上水の「国指定の文化財」或は「史跡指定」のいずれかの実現の為の働きかけ

年間事業計画に基づく事業の継続
子供を対象としたイベントの実施等。

各種イベント、フォーラムなどへの参加
現在まで、はらっぱを失くす「調節池」建設はペンディングになっています。計画そのものがなくなるよう、様々な機会に訴え、いろいろな勉強をつみ重ねていきます。

別紙ユギ・ファーマーズ・クラブ年間カレンダー参照
各種農作業、自然遊び会、など、毎月2～4件の活動がある。
3月は、苗床づくり、落葉かき、田起し、養蚕施設修理など
4月は、田起し、苗代づくり、レンゲ祭りなど

- 自然観察会を定期的に行う
- 寺沢川の改修について、少しでも水が澄み魚が棲みカワセミが安心して巣を造れる、また蜚が絶滅しないよう市と話し合いを重ねていくこと。

浄化実験され始めた旧5号井戸の処理水をどうするのか、行政に働きかけていく。

春（3月）と秋（9月）のオオタカウォッチング。6月のオオタカのヒナウォッチング。これが年間の定例行事。

今年からは毎月定点観察を平井川流域で2年間行うことにしている（とうきゅう環境浄化財団助成調査研究）。

特に大田区に残されている全ての干潟と海浜の保全と復元のために、区当局と積極的に対話し、提言して、その破壊から守る事。これ以上の海の埋立行為を認めない行動。

調査研究による科学的根拠の確立。自然観察会その他のイベントによる普及、行政他との連携、マスタープラン作り、ネットワーク化への協力、等

近いうちに、名称を「青梅の自然と文化を愛する会」に改め、組織を強化して活動してゆく予定。

現在フィールドが工事期間に入ったため、大田区内外の緑の多い公園や空地、多摩川（六郷あたり）、高尾など近在の自然などを観察、又、工事の進捗状態の把握、都緑地課との細部に関する話し合い、完成にむけて近隣の小学、中学、保育園などへの利用のアピールなど。

青柳崖線 湧水
矢川

玉川上水の歴史と桜を守るための調査、研究

- 多摩市環境マップの作成
- 環境問題の講座等の企画、運営、提言
- 他団体（多摩市含）への応援（協力）、支援、情報交換

1. 多摩丘陵唯一のモミ林の調査保存
2. 50年100年先を見据えた保全対策

現在の活動を、ただ継続していきだけ、それ以上のことは考えていない。

高齢者が多いので内川河口埋立計画が解決した時点で、解散したいと考えています。

特に予定はありません。鳥に関する情報で各地を探鳥しています。

- 3月13日～19日コミュニティーセンターにて写真展を開く
毎月1回第三日曜日に自然観察会を開く。

今までどおり、研究を会報に発表し、行政に陳情したりしてゆくつもりです。

自然観察会を開催しながら、身近な自然について考える。

水質調査、水草調査、観察会等

1. 毎年、都内約100校のサケ飼育校とともに2月第3日よう日サケを放流
2. 自然環境部会を中心に多摩川の自然の学習
3. サケ子ども会議（2/26、10:00～教育センター）

地味に地味にこつこつと。

未定

これまでの活動の継続に加えて、大田区の河口の整備内容について、住民側からの意見を述べ、話し合いを続ける。

1. 雑木林の手入れ
2. 湧水保存への働きかけ（公団、市へ）
3. 自分たちの学習会
4. 自然観察会

研究中

市内動物調査、植物調査及び写真撮影、関東周辺の自然観察、講演会、他。

1. ホタルの復活促進、カワニナの放流
2. 野鳥の保護
3. 環境保全への関心を高める
4. 樹木への標識の設置

市内の自然林・川等の観察調査により、どう残すかを提言、できるところは実行する。
探鳥会を行いながら、自らも学んでいく。

現在月1回程度行っているアウトドア・セミナー（自然観察、野外活動など）の他に、4月から月1回定期的に「ヤドカリ大学」を開く予定です。より幅広い学習の場を提供して行きたいと考えています。

粕江地区多摩川の土手の自然をどう保持するかを検討する目的でつくられた「武蔵野の路話し合い会」（行政当事者と公募市民の協議体）を実りあるものにする

1. これまで通り、市の行事・活動に協力していく
2. 市の公園の運営（鶴巻西公園）に参画していく
3. これまでの活動記録と会員のプロフィールの出版
4. 会のこれからの運営検討

- 「多摩川ウオーク」継続 — 上流へ大勢で歩く
- 「春探し」 — 雑木林の小動物、湿地での小動物とふれ合う。川崎黒川
- 「キャンプ的活動」 — 年に数回、生活における消費を考える。
- 「えっへっへの秋」 — 静的、自然とゆっくりむかい合う。

- 通信の発行
- 他団体との交流
- 河川敷のバイク、四駆等の利用調査（多摩川）

貴重動植物の調査
地域住民への広報活動

今まで毎月行ってきた遊びの呼びかけの回数を減らし、地域新聞（ミニコミ紙）「谷保村タイムズ」を発行する予定。“矢川MAP”に続き、“青柳崖線MAP”作成中。郷土文化館、生活環境課、児童館とも手をつないでゆきたい。

じ. 「自然環境保全への課題」について

各団体が現在、特に気にかけている自然環境保全への課題について調査票に記述されているものを以下に示す。

表4-11 「自然環境保全への課題」に対する回答内容

トリ・ムシ・サカナが住める水質・水量・環境のある二か領用水を川崎の街づくりの中で積極的に作りだしていく。

1. 各河川の源水域の保全（ダム乱開発阻止）
2. 都市における緑地、緑道の再生
3. 水辺空間の再生
4. 海浜埋立等の阻止

課題が多すぎて一。環境保護の教育。

一極集中で都市に人が集まりすぎ、過疎の所は荒れ放題ということ。経済至上主義のつけだと思いが。自然保護区をもっとふやし、レンジャーの様な人も増員して待遇を良くし、権威を持って無関心な、不届きな一般人に対処出来る様にしてほしい。最良の方法とは思えないが、最初の段階と

- 国立市内におけるビオトープネットワークプランの立案
- 国立市内におけるビオトープネットワークの核となる（半）自然地の保全
→ 市域全体を生物的な環境保全と環境教育の立場から見直す。

近自然河川工法のあり方…。

行革・規制緩和により環境基本法が今より更に開発者側に有利になるのではないか…

尾根幹線工事再開、法面を削っての駐車場建設、ゴルフ場の農薬汚染

- 人が関わるにより維持される環境（ex. 里山、井戸、用水）の価値を学習すること。

トレー・ペットボトル系の追跡調査
生ゴミの処理
野川の水量増と護岸について等

五日市町横沢入りを、どう生かすか

多自然型工法の自然への影響調査

多摩川水道橋・多摩川原橋・是政橋の架替、稲城大橋・府中四谷橋・新日野橋の新設、宿ヶ原取水堰の改築などによる自然破壊、スーパー堤防構築、河川段崖破壊によるマンション建設、モトクロス、「ワイルドフラワー」事業、その他。

- 丘陵部の開発による自然環境破壊
- 人為によってつくられてきた里山生態系の復元と維持、管理
- 地元の経済、社会も視野に入れた自然の保全プランニング

秋留台開発、特に平井川北開発と横沢入開発や川口リサーチパーク開発、秋川南岸道路・パークウェイ・圏央道等のオオタカへの影響。

- 活動団体のネットワーク
- 共通課題（コンセンサス）づくり
- 将来的な展望と戦略
- 活動団体の自立
- 自然環境を保全するためのプログラム（他の地域活動団体、例えば福祉、教育等の諸団体との連携を視野に入れたもの）の具体的作業

圏央道問題

計画予定地内に生息するオオタカの繁殖期を迎えるので、多人数立入禁止、密猟の監視

1. 上水サイドの樹林の整枝・間伐による適性保存
2. 通水後崩落場所の2期護岸工事
3. 特定地区の野鳥観察ゾーンの設定による保護

都市施設整備事業の施行により減少しつつある地下水量、湧水の減少

多摩N. T. という巨大開発の中で豊かな農業資源をもっている地域がなくなろうとしている。農業と開発（都市）が共存、共生する地域開発のあり方を問う。

- 谷戸の保全（湧水の確保）
- ホタルの再生

一度壊してしまおうと復元することは不可能に近いので、人と自然のかかわり方の最もよい状態を追求することと思っています。

1. 都会から、農地が失われ、地下水のかん養が益々、困難になること。
2. 緑がなくなり、大気汚染が進むこと。

秋留台開発、特に平井川北開発と横沢入開発や川口リサーチパーク開発、秋川南岸道路、パークウェイ、圏央道等の道路開発のオオタカへの影響。

干潟と砂浜の保全と復元

自然の再生とより良い保存（保全）の研究。
調査等による科学的蓄積。
フロンの問題等。

青梅は都としては自然開発が比較的少ないが、近年都営墓地の開発も予定されているので（長淵団地）、市民のコンセンサスが必要と考える。

大田区には、水辺環境としては、多摩川、呑川、内川など多くの流域と海が手に届くところにあったが、海は数キロ先まで埋め立てられ、多摩川河川敷の多くは野球場等にされてしまった。それだけでなくもみどりの少ない大田区を開発にばかり目を向けている区の姿勢に疑問を持っている。

湧水→道路でつぶれる

矢川→水量

一橋大→雑木林

緑や自然への希求が強く叫ばれながら、一方では、落葉や虫等への忌避が異常なほど強くなっている社会現象がある。

都、市、住宅整備公団等の開発の動向

総論は賛成しても依然として開発優先の行政が目だって多い。自然保護はアクセサリーではない。共存は、人間をも生かすことになるということがわかっていない。

海浜の保全と復元

特にありません

- 畑の宅地化
 - 雑木林の宅地化
 - 河原のスポーツ広場の利用
- 羽村でも鳥が住み、雑草と呼ばれている草の住み家がなくなっています。

モノレールのための緑地破壊など、反対したのですが出来上がりそうです。その他、圏央道反対など。

今ある、残り少ない自然環境の破壊

1. 都道3・3・15号の計画で湧水がつぶれる。
2. 矢川の保全緑地のすぐそばに宅地が建った。
3. 街の中がビル群が建つ計画がある。
4. 宅地化や、地下に雨水が浸透せず、湧水が枯れてきている。

河川のごみ問題、水のごみ

サケの放流と回帰運動は、多摩川の自然回復の運動にもつながる。又、水の大切さを知るための啓蒙運動につながる。

保全緑地指定の積極化

会としては自然の‘保全’は行っていません。

ホタルの発生が最近減少して来ているので、注意して見守っている。

土地活用によって、雑木林・斜面地・遊休地（畑等）が、どんどんこわされている現状をとめたい。公園づくりが、土木・園芸工事になっていること。

国分寺崖線に沿って残る緑や生産緑地の保全と、都市部の川（水）や緑の復活を考えて、「みずとみどりのネットワーク」を形成すること。

自然環境保全に関する市の基本計画（5年前に成立）を再検討すること

雑木林、水辺環境、子どもの生活（遊び）環境 + “人間” 環境保全（コミュニティ）など

グループとしては、生活ゴミ問題と、無関心な人々への積極的啓発をあそびの中から無理なく促すこと。

林道の舗装化における自然環境への影響

1. 絶滅に向いつつあるオオムラサキの保護方法
2. オオタカの保護方法

矢川に直接かかるものと、下流部付近の湧水にかかる都市計画道路2本（後者も延長すれば矢川にかかる。）源流の湧水量の極端で突然の減少（あつと言う間に川自体が干上がった…）。源流部緑地保全地域のあり方。中流域のコンクリート三面張り！

k. 「行政に望むこと」について

各団体が行政に望むこととして調査票に記述されているものを以下に示す。

表4-12 「行政に望むこと」に対する回答内容

情報の積極的公開。特に計画段階からの情報公開をして欲しい。市民の街づくり活動に対する財政的支援のシステムの確立。

1. 公安豊国から民安豊国への転換
2. タテ割行政の是正
3. 地方分権の推進
4. 「戦争の経済学」の清算と「平和の経済学」の樹立を！

• 生物的環境に対する基礎調査の実施と、結果・過程の公開・市民参加型のプラン策定プロセスの確立

大量消費・経済優先の発想をそろそろ転換して、生態系を破壊するような大企業偏重の行政を改めるべきだ。

もっと国民（住民）の声に耳を傾けろ！！

方針に沿って環境基本条例制定に向けて働きかけます。

• プロパーを育てる必要がある。
人事異動の期間が短すぎて住民と同じスタンスに立てない。マスコミも同じ。

行政・大学研究機関・民間グループによるトライアングル方式による活動の裏方として協力を得ること。

自然保護の先取り。たて割行政ではだめ。自然保護の専門官、又は情熱のある人をおいてほしい。

河川改修、河川利用に伴う計画の早い時期での情報公開、市民意見反映システムの構築

•建設省京浜工事事務所は様々な情報を事前に流し、住民・自然保護団体の声に誠意をもって耳を傾けているので、都と流域区市町村はこれを見習って欲しい。後者はとくに議員の顔色をうかがうのではなく、直接市民の声に耳を傾けてほしい。

•都 都市計画局が開発計画黙認の姿勢を改めること。

環境保全局は保全地域の指定しっぱなしから、一歩前で出ること。

•地元市町村 “まちづくり”の哲学が無さすぎる。コンサル依存の長期計画づくりから脱却すること。市民への情報公開、市民参加の枠づくり。

オオタカなど絶滅のおそれのある生物の保護のための行動部隊を組織すること、又最近増えている野生動物の事故や病気に対する救助センターの設置。

多摩川を例にすれば、流域には16の市があり、それぞれに行政区画の中で「おらの街」にはとり組むが、全体をどうするかがないと思う。

口を出すな、金を出せ、邪魔するな。

資源ゴミ回収の徹底

事業系ゴミの有料化（完全）

（製造者に対して、廃棄段階のリ・ユース・リサイクルを考慮した生産を義務づける。）

都市計画・街づくりは住民不在で行うのではなく、住民参加型で行うこと。そのシステムを確立（条例等で）、保証すること。

1. 歴史的遺産の顕彰（通船溜跡、分水口、分水路等）更に分水路の親水的役割の実現の拡大
2. 玉川上水の文化財、史跡指定の為の都の「保全協議会」関係沿線自治体の「連絡会」の連携強化による早急な実現

情報の積極的な公開

多摩N. T. という巨大開発の中で豊かな農業資源をもっている地域がなくなろうとしている。農業と開発（都市）が共存、共生する地域開発のあり方を問う。

- 効率重視でなく、長期的視野で。
- 公僕であることの自覚

川に人が落ちないように、水があふれないように、という目的のみで川の改修計画を立てたり、人の便利のためだけに道を造るという考え方を転換して欲しい。自然と共に人の生活があるという本来の姿を尊重する行政が行われることを願っています。

データの公開

環境関連にもっと予算をとってほしい。

たて割り行政ではなく、総合判断をし、それを施策に反映してほしい。

開発による自然環境の破壊を防止するために、開発者、地元住民および自然保護団体が開発計画や実施過程、開発後の手直しなど協議しながら運営していくための支援を行ってほしい。

これ以上海の埋立をしない事。

海のもつうるおいと人々がそこでくつろぎたいという願望を理解する事。また海のもつ、ヒートアイランド防止効果・気候安定化効果の重要性を理解する事。

行政内部のタテ割り構造を改革して欲しい事。ゼネコン癒着的体質を改めて欲しい事。環境保全に対する意識を高めて欲しいのと同時にしっかり勉強して欲しい。

開発計画の公表と市民の意見を反映させるように取り計らってもらいたい。

課題に書いたように、大田区は産業開発ばかりを優先し、自然の保全には全く関心を持っていない。（特に現区長は）区の土木公園課・緑課などは自分らと非常に信頼し合えるのに上が上だから、個々の課長、係長が頑張ってくれても、やはり区民の力を大きくするしかない。

期待しすぎない

環境問題に係わる職員を増やして、もっと積極的にとりくんで欲しい。

土木・建築に税を使い過ぎており、自然への配慮・保全への施政が極端にとぼしい。行政姿勢の大転換。

外観を良くするだけの開発は、動植物にとっては迷惑なだけと思います。動植物の側から見た、開発・利用を考えてほしいと思います。また、開発前には十分な調査をしてもらいたいと思います。

緑を増す事に努力していると云っていますが、雑木林を切り公園にして木を植えている。草をとって芝にしている。ありのままに、そのままにして欲しい。

市民のために何がよいかを考えてほしい。関西大震災を見ていると、高層ビルや高速道路の空しさが痛感される。トイレにしても、水洗がいかに役立たなかったか…。昔風のトイレも満更ではない。私の家は汲取式。

相続税などで自然が破壊される時、土地の買収とかできないか。行政が率先して開発をすべきではないのに、なぜコンクリートの物を建てようとするのか。

下水道完備と同じに湧水の確保
世田谷区に、水族館を！

環境浄化 新テクノロジー開発
新（未来）型モデル都市設置
法改正

地域住民ともっと開かれた話し合いをして欲しい。

古い考えから脱した自然との共存に挑んでほしい。

会として、行政とはかかわりは致しません。

都水道局東村山浄水管理事務所に対し、意見交換を申し入れ、ホタルの生息環境の保全、野草の保護等について要望を行った。今後も継続していきたい。

河川の自然復元、生物のすめる川に（ビオトープ）すること。園芸、土木工事でない、自然復元工事を！

- わかりやすいしくみづくりを考える。
- 自然との調和を考え、100年、200年先を考えたまちづくりや自然環境保全をして欲しい。
- もっと、情報交換などの交流を考えてください。

ゴミ処理問題にせよ、自然環境問題にせよ、市役所の職員がもっと「市民参加」に対して積極的に取り組むこと

1. 開発等に際する住民との合意形成への努力（もっともっと…）
2. 総合的な環境行政への具体的取り組み（トライアンドトライ）
3. 緑のリサイクルのシステムづくりへの取り組み
4. 子ども達と地域の身近な環境とのつきあいを広げる活動への取り組み

自主的な住民活動や、国民の一人一人の意識が大切であるので今後とも、その支援に力を入れるべきだと思う。民間や、自主グループにありがちな、狭域意識やカルト的活動でなく、誰にでもとっかかるる機会の提供をひきつづき望む。

さまざまな団体・個人との交流・話し合いの場を持ってほしい。

（八王子市に対して）環境保護の担当部署を設けること。

旧態依然としたタテ割りや、わけのわからない力関係は、いいかげん打破して欲しいな。市民・行政なんていうけど、“行政”の人だってとどのつまり、一市民でしょうが。そのところ忘れないで、というより思い出してくださいよね。

1. 「その他」について

アンケートの最後の「その他の意見、要望等」とした自由記入欄に記述されたものを以下に示す。

表4-13 「その他の意見、要望等」に対する回答内容

多摩川流域の市民の活動交流を行政の域をこえて、積極的に行いたいと思いますので、よろしくをお願いします。

貴センターが、小河内ダム（「日蔭の村」）を検証することに期待。これなくして、多摩川の未来を語るのは虚空で川の神に申し訳ないと思っております。あくまでも、人間が滅亡させかけた河川の代表なのですから…。

データ整理など専門的アドバイスを。

このところたて続けにこれと全く同じ調査があり、あまり有難くない。外郭団体系の調査ならそれしか方法がないかもしれないが、多摩川センターがやるならきちんと対面のヒアリング調査をすべきではないか。これで何がわかるのか疑問。

地域社会、山など建設物他で自然環境が変る時などの植物移植の必要がある場合、ボランティア活動とか情報など希望（協力します）

多摩川センターの資料室体制が整い、かつセンターが希望するならば、本会所蔵の資料・発行物その他を寄贈したいと思っている。

どの会もそうでしょうが、高齢者が多い。若い人、子どもたちをどうしたら参加させるかが悩み。レクリエーションの会になりがち。歩く会とのちがいを出したい。

散策者が憩える館、歴史をしのぶ資料館等の「上水記念館」の要望

このアンケートの集計（結果）について協力した団体には、公表して下さい。アンケートの成果を運動団体に反映してほしい。

回答重複；記入者 井原満明／塩谷暢生

道路公園、住宅公園などへ、都や市町村の考え方、要望はないのでしょうか。それとも云えないのでしょうか。多摩ニュータウン八王子ニュータウン造成の表土の剥がし方はすさまじい。貴重な歴史的な表土をもっと大事にしないでほしいと思います。

ガンバリ過ぎないでつかれたら休み、遊び心を忘れず、イヤになったらさっさとやめる勇気を持ち、健康第一です。生きているうちが花ですから、やりたい事をたくさんやって死にましよう。

又「行政に望むこと」の続きのようで申し訳ないが、その点、都の海上公園課、緑地課は、自分らの緑地公園計画の細部にまで神経を使って、「いい公園を作りましょう」と言ってくれている。区内はもちろん、都内各区のフツウの公園がもっと、みどり（野草、昆虫、その他も含む）の多い公園となり、河川にも三面コンクリートのカセを外した自然に戻ってほしい。

当会の活動は、小さく、牛歩ではありますが、一步一步進んでいます。何かご協力できることもあると思いますので、情報をください。

多摩川流域における野鳥の生息分布等の資料があったらほしいと思っています。また、多摩川での野鳥観察をする人がいたら、情報等の交流があればいいと考えています。そのような情報はないでしょうか？

自然観察の場所がなくなって来て、コースの選定に困っています。去年と同じ所に行けない状態です。土の道、草の道を残して欲しい。

◎昨年3月に「東京のんびり20選」と云う題名の本を出版しました。七賢出版より1,400円で発売中です。

地震国日本ということ、行政は常に忘れないでほしい。私は若い時、地球物理を希望したが、小学校の教員として、地学も教えたことがあります。宇宙の研究よりも地球の研究にもっと行政は、大学は勉強し、研究すべきです。

何とか開発を止める方法はないか。

目先の利益にとらわれなくて、次の世代に残していけるものと考えて、行政の力を発揮してほしい。

別にナシ

多摩地域の自治体の環境行政についての先進的実例、あるいは、市民運動の成功例などの情報交換

ご苦労様です。まとめを楽しみにしています。

多摩川センターのもつ情報を今後とも伝えてもらいたい。広範囲で活動する人々にとっての学習になると思う。情報交換は、拠点のもとで行われた方が、効果的。

自然環境の保全の立場からは、きらわれがちなオフロードバイク、四駆ではありますが、出来ればいっしょにさまざまな方々と意見交換が出来ればと考えます。

(2) ヒアリングによる調査

① 調査の方法

多摩川流域で、多摩川の問題に関わる住民、住民団体代表、学識者を中心に、表4-11に示すような質問項目を設定し、ヒアリングを行った。

表4-11 設問項目

<p>1. 生物の多様な生息・生育環境の確保について</p> <p>(1) 多摩川における多自然型工法などの課題は、どんなことだとお考えですか。</p> <p>(2) 生物の生息生育環境づくりについて、今後どのような方策が必要だとお考えですか。</p> <p>(3) 河川内の空間利用のあり方について、どのようにお考えですか。</p> <p>(4) 住民、専門家の役割として、どんなことがあるとお考えですか。</p> <p>(5) また、行政の役割についてはいかがですか。</p> <p>2. 健全な水循環系の確保について</p> <p>(1) 水循環の健全化は流域の土地利用など、広域な視点が必要だと思いましたが、どのような施策、制度が必要だとお考えですか。</p> <p>(2) 雨水の地下浸透などの事業をいくつかの自治体を実施していますが、その課題についてはどのようにお考えですか。</p> <p>(3) 水質対策についての課題については、どのようにお考えですか。</p> <p>(4) 住民を啓発するには、どのような方法があるとお考えですか。</p> <p>3. 河川と地域の関係の再構築について</p> <p>(1) 河川管理者と住民の川づくりに関するコミュニケーションを図る上での、課題は何だとお考えですか。また、要望などございますか。</p> <p>(2) 「河川と地域の再構築」の再構築という表現をどのようにイメージしますか。</p> <p>(3) 河川と地域の関係において、過去の関係と現在の関係、また将来の関係は異なっているように思うのですが、過去の関係の課題と現在、将来の関係の違いについて、どのようにお考えですか。</p> <p>(4) 河川と地域の寄りよい良い関係の構築のためには、どのようなものが必要だとお考えですか。</p>

② 調査期間

平成7年(1995年)4月～12月

③ 調査対象者

住民10名、住民団体代表者19名、学識者9名の計38名であった。

④ 調査の結果

調査の結果は、各対象の発言をテープにとり、内容を箇条書きに整理した。以下、表4-12に設問項目ごとに集約したものを示す。

表4-12 調査結果の内容

1. 生物の多様な生息・生育環境の確保について

(1) 多摩川における多自然型工法などの課題

(「多自然型工法」について)

- ・多自然型工法が、名前に惑わされただのシンボルや言い逃れにならないようにする。
- ・表面だけが自然らしくしているように見える(多自然=偽自然)。
- ・多摩川のような大河川で多自然型工法がどこまでできるのか。
- ・「多自然」という言葉自体、また開発の中で多自然型という考え方は理解しにくい。
- ・多自然型工法自体の目的や何をするのかがはっきりしていない。
- ・自然の残っている場所を改修するのではなく、コンクリート護岸等既に改修した所、自然の失われた所を元に戻すために多自然型工法で行うようにするなど、多自然型工法で行う場所についてよく考える必要がある。
- ・多自然型工法であっても、景観上や生物の生息環境上必要のないところ(中、上流域など)はできるだけいじらず、ありのまま残すことが必要。
- ・河床についての工法の確立、都市河川における多自然のシュミレーション等、多自然型工法についての研究が必要。

(工法について)

- ・昔の工法の掘り起こしや伝統的な工法の伝承、昔の多摩川のようすを参考にする。
- ・その場所の特性(景観、地形、生態、植生等)を生かし、その川、その場所にあった工法で行う(上・中・下流の相違)。
- ・工法を含め流域での取り組みがまちまちで、統一性がない。そのための議論が必要。

(素材について)

- ・素材については十分な配慮が必要で、遠方またはよそから運んでくるものでなく近くのもの、その場所のものでやるのが望ましい。
- ・巨石護岸や蛇カゴなどの自然素材も考えて使わないと良くないものになる。

(計画、工事について)

- ・地域住民に対し、どこでどのように行われているのか、また行うかの情報がない。
- ・計画段階で市民に情報を流す、計画前の段階での広範な議論が必要である。
- ・行政の施工の仕方が強引。
- ・その流域や川そのものについての自然や生態の現況調査による把握、それに裏打ちされた自然環境の復元。
- ・流域の歴史、文化等を含めた実態調査が必要。
- ・施工前後の生物調査やメンテナンスが必要
- ・河川環境管理計画は本来の名前のとおりのものではないので、流域・水系を含めた多自然化の基本的な計画を作る。その計画をもとに優先順位を決めて取り組み、並行させて工事を進めることが大切。

(視点、考え方について)

- ・レクリエーション利用における安全面（水辺に近づけるかどうか）や、治水対策との関係、景観、生態などそれぞれの関係に対する配慮が必要であり課題である。
- ・川のためには何をすればよいのかということから考え直し、今までの発想を転換することが大切。
- ・自然とは何か、手を加えることが全て自然破壊であるという意識の人が多い。
- ・河川やその一部分だけでなく流域や水系への視点が必要。
- ・水量の確保（湧水の確保など）や、富栄養化など水環境についての調査と課題解決。
- ・河口部等で見られるヘドロ化の問題。
- ・下流域では、干潟やヨシ原をいかに残すかが課題。
- ・河川の攪乱の確保。

(評価)

- ・治水対策としてはよいが、生物に対してはあまりよくないのではないか。
- ・同じ改修でも、今までの工法に比べれば良いことだと思う。
- ・調布のワンドはとてもよい。

(2)生物の生息生育環境づくりについての方策

(計画、工事のあり方について)

- ・地形や河川の特性を生かし、ひとつの基準に縛られず、その川、その流域にあった方策が必要。
- ・他の事例をそのまま真似してしまうのではなく、それぞれのやり方で実施する。
- ・一度手を加えた所も、もう一度やり直すことも必要。
- ・あまり無理はせずの一つずつステップアップするように考えた方がよい。
- ・社会的な動きと連携した、中期的な計画を作る。
- ・都市と河川との関係を考え、情報の公開と管理者と住民の話し合いのためのテーブルづくりが必要。
- ・生物等についての現状を把握し、長期計画をしっかりと作る。
- ・調査や計画が一致していない。
- ・河川改修が決まっても、生物のために中断や中止するくらいの意識が必要。
- ・総合治水等、川だけでなく面で治水を考えるような視点、治水の見直しが必要。
- ・水生生物の等の調査が必要で、それらを保全しながら環境づくりをする。
- ・基礎的な生物の調査、プランを川だけでなく、流域単位で把握し考える。

(工法、構造について)

- ・地形的なことなど、個々の河川の特性を生かしたものとする。
- ・本来の川の性質をいかし、水際の低水護岸、流路を固定せずに、できるだけ川にまかせる。
- ・ある程度人の手を加えた河道等の管理が必要。
- ・ワンドなどを積極的につくり、多様性をもたせる。

- ・堰や魚道について、固すぎる構造でなく昔の工法を採り入れる等研究が必要。
- ・横断工作物をつくらない。
- ・先行事例を取り入れ、工法の工夫が必要。
- ・できるだけ可能な場所は川幅を広げ、ゆとりある川をつくる。
- ・水と陸地との接点に配慮した工法（ワンドなどが自然にできやすい工法など）。
- ・源流域の施工にあたっては特に気をつける。

（自然環境、生態について）

- ・流域全体の関係性を把握し、その地域の特性を生かす。河川内だけでなく、周りの環境（湿地、湧水等）の保全が必要。
- ・川の自然を人間サイドで管理しようとしている。川の自然の変容を受け入れる意識が必要（洪水がないと川がよくなる等々の視点）。
- ・魚類の放流は魚種や他生物への影響、市民への周知等（廃止も含め）配慮が必要。
- ・生きものの視点で川を見るという意識、生物の個別な種だけでなく、全体のバランスを見る、人の暮らしと自然の保護への視点が必要。
- ・現在ある植生（樹木、野草など）の保護と新たな植樹等（取決めの見直し）の推進。
- ・変化の乏しい芝地などにも多様性を持たせるような工夫が必要。

（水環境について）

- ・水をきれいにすることができれば、人も近づき生物も生息する。人が行きたくなるような川を形成することが、生物にとっても良いのではないか。
- ・水量の確保。そのための湧水、伏流水の復活や現況調査が必要。
- ・ダムの放流、放流水の水温（天然の水温の維持等）など管理の仕方。

（利用との関係について）

- ・親しみながら、生物にも良い方法を考える。
- ・子供たちが安全に近づける水辺、ワンドや水路などをつくり、学校教育等水辺を通じた教育で、河川の生物と接する機会をつくる。
- ・放流など、単なるイベントで終わらず、その先を伝えられるようなものにしていかないと意味がない。

(3)河川内の空間利用のあり方について

（利用空間としての考え方）

- ・地域住民と一緒に考え、地域との関係、その川の特性や地域特性を生かした利用空間を考える。地域の中の河川空間、川を生かしたまちづくりの視点が必要。
- ・河川のための河川空間という発想や、河川を一番利用しているのが生物だという認識が必要。
- ・心がやすらぎ、誰でもが憩うことのできる空間にする。
- ・川でしかできないことを最優先し、川のそばの方がよいもの、川でなくてもよいもの、地域に必要なものは河川内ではない所に作るといった考え方が必要。

- ・利用形態を総合的に見直し、生態系の維持空間を増やし諸生物と調和のとれた共存の空間をつくる。
- ・グラウンド等のスポーツ施設は都市公園側へ移行するよう、各区市町村に5年間に1ha程度の削減をするように指導し、河川の利用を制限する。
- ・野外教育の場となるような場所、住民と生物や川の接点である親水の場が必要。

(利用のあり方、利用規制、マナーなどについて)

- ・ゴミを少なくするなど利用者のマナーが必要。
- ・河川内の空間での遊び方、その場所の特性にあった利用の仕方自体を工夫する。
- ・オフロードバイクなど他の利用を阻害しているものは避け、自然の中で自然と一緒に楽しめるもの、幅の広い利用方法を優先する。
- ・バーベキューや車の乗り入れなど利用規制が必要。
- ・河川は国民全体の共有財産であるという認識が必要で、利用者全体の論議を引き出すことが重要。
- ・多摩川博物館の構想などを早期に実現し、市民に多摩川をもっと知ってもらう。

(土地利用のあり方、利用空間のゾーニングについて)

- ・元来の状況を把握し、基本的な原則を設ける。
- ・上、中、下流域それぞれにおける人間がレクリエーションとして利用する空間(グラウンドやゴルフ場から自然地まで)と自然空間とのバランスに配慮する。
- ・グラウンド、ゴルフ場が多い。これ以上グラウンドを増やさない。
- ・曜日により異なるグラウンドの利用率等も考慮する。
- ・スポーツ利用等限定した利用を意図した完全なやゾーン分けではなく、連続性のあるもの(人と生物の共存する空間など)や多目的な利用のできる空間を作るとよい。
- ・レクリエーションの場としてグラウンド等も必要だが、地域の住民と一緒に考え、ゾーン分けにより動植物を保護するサンクチュアリーのような自然空間が必要。また、そのための湧水、生物相、植生などの現況の調査が必要。

(利用空間のための施設整備について)

- ・水辺は、ヨシ、オギ群落等自然地や占有地を含め、誰もが歩けるための遊歩道が必要。また、車イスなどのことも考える。
- ・フェンスなどはできるだけ作らず、川とマッチしないものはつくらない。
- ・洪水が起こって壊れてもよいものを作る。
- ・生物にとっても良い田圃や畑をつくっても良いのではないか。

(河川敷の占有について)

- ・企業等の占有地はできるだけなくし、だれもが利用できる空間として位置づける。特にゴルフ場は、子供が楽しめないし、農業や景観上の問題がある。
→排除すべきである。
- 中の池を使いビオトープの形成や、開放日の設定などの工夫。

(管理について)

- ・管理区域がはっきりしない。計画的な位置づけをもって管理する。また、占有地、私有地についても管理指導が必要。

(4)住民、専門家の役割について

(専門家の役割)

- ・住民に分かりやすく説明する、住民の意見を解析し、反映するなど住民をサポートする。また住民、行政の町づくり、川づくりに対する協力体制をサポートする。
- ・一人の住民として川と接し、住民としての意識を持つ。
- ・多くの人を現場に連れていき、啓発活動などをする。
- ・幅広い分野間の交流につとめ、専門領域以外の感性を養う。
- ・専門家も勉強が必要で、多自然型工法等の研究のための組織を作るべきである。

(住民の役割)

- ・住民はまず川へ近づいてみる。流域住民として多摩川をもっと知ること、住民の目でしっかりと川を見て意見を伝える、多摩川を流域市民の共有財産として認識することが必要。
- ・流域で生活している住民として、モニターなどとしての役割を担い、ミクロの部分のシンクタンクとしての情報を伝える。住民主体の拠点をつくる。
- ・住民はもっと生活や自然環境、水環境に対して意識を高める
- ・流域住民は(災害その他において)リスクを負うという意識が必要。
- ・さまざまな点で責任は管理者が負うのではなく、各個人に委ねる。
- ・住民は計画や管理等について、計画段階から積極的に参加し、意見、案等を出す。
- ・住民が住民、専門家、行政を結ぶコーディネーターを担う。
- ・選挙等でしっかりとした人を選ぶ。
- ・さまざまな分野の住民、専門家(芸術家、釣り具屋、老人、子供、心理学者など)の意見を聞く。
- ・住民も利用する立場から管理について考え、住民にできる管理(清掃活動や植物の管理等)、伝統的な維持管理の見直し等、利用しながら管理するしくみをつくる。

(住民及び専門家の役割)

- ・行政に対し、さまざまな意見、住民としての知恵を積極的に出す。責任をもって発言する。
- ・住民と専門家が独自の調査(水質調査団など)や研究を行い、解析してみる。
- ・学校と連携してクラブ型社会を築く等、小中学生を主に川を教育の場とした活動を行い、そこで河川のありようを考える。
- ・専門家、住民が監視員的な役割を担い、子供達が安全に利用できるようにする。
- ・組、結などといった組織や、伝統的な行事を復活させる。
- ・さまざまな立場の市民、行政、専門家がお互いの立場を理解し、一緒に勉強する(現場を見る、昔の川を顧みる等)こと、パートナーシップの形成が必要。

- ・行政の補えないことをする、行政の監視役としての住民の役割を担う。
- ・市民、行政、専門家の役割分担、住民の中でも役割分担が必要。
- ・ボランティアが逆効果にならないような活動をする。

(5)行政の役割について

- ・管理者の倫理として、責任があるということを認識する。
- ・長期的な展望で捉え、施策、計画等について総合的な判断、見極めが必要。
- ・防災重視の考えを改め、河川だけでなく町の中の川として捉えるなど、全般的な発想の転換、意識の変革が必要。
- ・第一に行政不信の回復を図る。何年も前に決めたことをそのままやるという体制を変えていった方が良い。
- ・河川管理者は管理区域以外の自然復元にも目を向け、全体的な生物の多様性について考える。
- ・小さなことでもできるだけ時間をかける。
- ・川だけでなくさまざまな点で、頭ごなしに禁止というのは良くない。
- ・管理は基本的に管理者の役割。
- ・最終的に責任は行政がとる形（洪水などの災害に対して保障する等）が望ましい。
- ・親んでもらえる川の整備、本来の川の特性をいかした川づくり。
- ・流域全体での調査の実施と報告。
- ・管理行為は法に基づいて行うが、最低限危険を回避する事のみ限定し、管理しすぎないようにする。
- ・担当者が変わっても、引き継いでいけるような仕組みが必要。
- ・多自然型工法について、研究を進める。
- ・川が公共の財産だということ、川は本来怖いものだということ広く周知する。
- ・さまざまな点での財源の確保。
- ・自然環境と治水、利水のバランスを住民に分かりやすくする。
- ・管理区域ではなく、流域で考えるという意識を持ち、管理者同志の連携を図る。
- ・自治体同志の連携を密にし、流域の協議会等が活発に行動する。
- ・建設省、都県、自治体など行政内部での調整、協力が必要。

(住民との関係について)

- ・ボランティアを使い捨てにしない。ボランティアなど住民の活動を促進するしくみづくりや資金的援助等バックアップやサポートが必要。
- ・住民や専門家の意見、要望を積極的に聞く、取り入れるよう努力する。そのための議論の場の設定、構想、計画段階からの情報の公開やヒヤリング、住民が相談できる窓口の設置等、積極的なコミュニケーションを図るためや市民参加のためのシステムづくりが必要。
- ・広報紙、マスコミ等をうまく使い、さまざまな点で宣伝や情報を流し、理解を促す。
- ・川を知ってもらうきっかけとして、一つのテーマをもってイベントを行ったり、さまざまな計画とからめてボランティアの募集を行う等市民、専門家に対してさまざま

まなアプローチが必要.

- ・管理は住民にまかせ、資金を出す.
- ・市民、専門家、業者などと一緒に勉強会などを開催する（現場を見る）.
- ・監視員、指導員などに住民や専門家が参加できる仕組みを作る.

2. 健全な水循環系の確保について

(1)水循環の健全化のための施策、制度

- ・開発と湧水などの関係をもう一度見直す。
- ・水源税などにより、上流域にすこしでも還元する。そのためにはPRが必要。
- ・雨水など水のうまい使い方を広範で考えれば、少しの工夫で大きく変わるのではないか。
- ・昔の用水を利用したりして、水を土地に戻すような運動をし、生活の意識を変える。
- ・地下水脈や湧水の保全により、水質、水量の確保が必要。
- ・地下水脈や緑地を守るのに十分な用途地域の設定をする。
- ・地下水や湧水を保全するのによい条例を流域自治体が率先してつくる。
- ・宅地開発の規制が必要。
- ・長期的な地域の自然環境へのメリットを優先させる。
- ・水源を守るための制度や施策が必要。
- ・下水処理水を今以上きれいにし、上流に戻すような試みも必要。
- ・下水道料金を上げるなど、住民にリスクをおわせることも必要。
- ・流域ごとの流域協議会をつくり、流域条例のような行政区域を超えたものを作る。
- ・河口から源流域までの遊歩道を造り、実際に川を遡って見られるようなものがあるとよい。
- ・情報公開制度が大前提である。
- ・魚付け森など、源流から河口までの土地利用の保障制度なども必要ではないか。
- ・流域での土地利用などの制度、条例などを作る。
- ・しくみを作ることが大切。
- ・湧水を復活させる。
- ・川の樹木帯や水田などの保全が必要。
- ・さまざまな問題はあるが、水源税などにより森林の価値を認めることが必要。
- ・流域全体の活性化のために、上下流の連絡会などが必要。
- ・住民、行政、専門家による話し合いでの、基本方針が必要。
- ・省庁間、行政間の連携が必要。
- ・地形、地質、地下水等の調査、樹木の蒸散の調査などのように降る雨の動向の把握が必要。
- ・大小にかかわらず、水源の保全が必要。
- ・流域市町村を結ぶ施策、制度の確立。
- ・保存林、指定林の制度で、沿岸の樹林などを保全する。
- ・国土の計画の見直し。
- ・緑地は田畑、森林を総合的に守るための税金の優遇などを行う。
- ・緑地は田畑、森林の保護に強制力をもたせるぐらいの思い切った制度が必要。
- ・他の計画法との調整、連携が必要。それには各省庁間、自治体間の調整が必要。
- ・水源涵養林の管理が必要。
- ・水循環に関して、住民もあまり知らない。知ってはじめて考えることができる。

- ・雨水も家庭雑排水も下水道→処理場→海へというシステムを地下水等に復元するシステムに変えていけたらと思う。地方で石井式等も有効。
- ・従来の縦割り政策を排し、地域ごと、流域ごとの連絡協議の場を設ける。
- ・農林、都市計画などの専門家、行政、住民、企業を交えた会議を常に開くようなシステムが必要。
- ・私有地であっても、森や林をみんなの緑と認識し、税制の優遇などの制度が必要である。
- ・水源の確保が必要。
- ・東京でも魚付け林のような発想で、施策が必要である。
- ・上流の開発との関係が問題で、上流からは水質の良い水を流し調整池の役目をする森や林、田畑の開発を制限する施策が必要。
- ・施策の広域的展開と、計画段階での民主的な市民参加。
- ・環境税などで、下流から上流への資金面での流れが必要。
- ・貯留池などを作り、雨水を溜める。
- ・相続税の問題で、農業などの後継者の育成が必要。
- ・環境共生型住宅、天水尊などの普及。
- ・雑木林の保全、湧水保全のための施策。
- ・緑地を残すための制度をつくる。
- ・ほとんどの水が下水道を行ってしまうので、下水道の見直しが必要。
- ・地下水の涵養を考える。
- ・多摩川においては河川環境管理計画(S.55)にある「ゆとりある治水」を全うする。
- ・流域自治体が手を結び、考える。
- ・法律等の制度で、公共住宅、個人住宅に雨水浸透を義務づける。
- ・これから開発するところに関して特に湧水、緑地などの保全をし、土地利用の健全化を図る。
- ・既に開発されたところについては、緑地を生み出す努力をする。
- ・流域全体についての自然保護区の配置計画を策定し、源流部については針葉樹林を広葉樹林に樹種転換する。
- ・都市計画にからめた施策が必要。
- ・流域全体の中で今後開発される場所を見直す必要があるのでは。
- ・下水道に関してはできるだけ広域にせず、各家庭レベルで処理するくらいの施策が必要。
- ・流域ごとの土地利用や土地形態と開発の検討が必要。
- ・河川、地域の水資源の現状調査と計画が必要。
- ・地下水、湧水の利用の適正化が必要。
- ・全体的な計画のもとに制度的なものを作る（遊水池、調整池の確保とそこでの自然復元、生物浄化、プラント）。
- ・河川環境の構想でもう一度考えてみる必要がある。
- ・沿岸漁業と森（水源林）の保全などのように、上、下流のつながりを強くする。

- ・下水処理水、処理場にも問題がある（大きなシステムと同時に小さなシステムによる負荷の軽減化）。
- ・広域で考え、小さいことを進めていくような方策が必要。
- ・都市の構造自体を変えていかなければならない。
- ・開発にともなう土地の保全。
- ・地下水涵養型の都市を真剣に考えなければならない。

(2)雨水の地下浸透などの事業における課題

- ・各自治体が民間（個別の住宅）への助成をもっと大胆に行う。
- ・行政の姿勢として、本気で行っているのか疑問。
- ・広報紙等がうまく利用されていない。
- ・一般公募による委員で構成する委員会、審議会等で、具体策を考え、計画、プランに盛り込み、実行する。
- ・単なる指導や助言では弱い場合には、宅地開発指導要綱などの中にしっかりと規定する。また条例化する。
- ・外国の例を参考にして日本でできるやりかたで行う。
- ・下水処理は小さな規模で処理して地下浸透させつつ、河川に流す。
- ・酪農などには、土壌浄化施設等を活用し、エコロジカルな処理で、生活污水と別にする方がよい。
- ・雨水に関してはできるだけ利用し、透水機能をもつ管を使い、浸透させるようにする。
- ・開渠を復活し、雨水を見えるようにすることで、水の汚染に関心をもってもらうとともに、底張りや護岸をエコロジカルにすることで地下浸透機能をもたせるとよい。
- ・行政関係の建築物には雨水浸透枡などを積極的に取り入れる。
- ・流域のすべての自治体で実施する。
- ・長期計画のようなものも必要。
- ・公共施設が率先して、雨水浸透等を取り入れる。
- ・補助金制度などもどこに相談したらよいのか、窓口がわからない。
- ・宣伝が必要。
- ・現状の調査を行い、地域にあった施策を考える。
- ・雨水の浸透マスなど建築基準の項目に入れる。
- ・不適当な地（山地、低湿地等）には天水槽に貯留する。
- ・樹林や緑地を残すのが先決。
- ・雨水浸透枡を免罪符とするものではなく、小さい緑地や庭などの保護に力を入れる。
- ・もっと安く簡単にできる方法を考え、その普及や助成を積極的に行う。
- ・雨水浸透のマニュアルづくりが必要。
- ・情報をもっと住民に流す。
- ・現状の調査と、情報の公開が必要。
- ・広く一般の人に理解してもらうことが先決。
- ・自治体の研究、相互啓発も重要。

- ・流域全体での地下水の動向等を調査し把握する。
- ・流域全体での水収支を明らかにした上で、有効な解決方法を探る。
- ・河川や地下水だけではなく、建築や道路等総合的な視点を取り入れる。
- ・地下水などについて、各地域での把握は必要で、その情報を流し住民に知ってもらうことが必要。
- ・新しくつくる家屋などには、制度的に雨水浸透枡などを義務づける。
- ・雨水を利用してトイレ、散水など二次水でも使用できるものについての家庭用の簡便な施設の考案を急ぐ。
- ・小金井市は先んじて実施しているが、今後は家屋への悪影響もあり得るので、保険制度が必要。地下浸透はあくまでも対処療法であり、緑地の保全や回復がなくては効果はない。
- ・都市部で積極的にやるよりも、上流部の保全が先決。
- ・積極的に推進してほしい。
- ・緑のマスタープラン等を具体的に施策に盛り込む。
- ・条例等を作り、少なくとも継続的に補助等をする。
- ・市民に雨水の地下浸透の重要性を伝え、積極的に事業に協力を要請する。
- ・浸透性舗装の普及と充実。
- ・自治体で実施していることについて、アピールがうまくても、実際に良いかどうかは疑問点もある。
- ・PR的なものではなく、制度化して全地域で実施する。
- ・事業による効果を調査し、住民に報告する。
- ・雨水利用もそれぞれの地域の特性を活かした方策が必要。
- ・浸透させるためにも、貯留池等溜める施設が必要。
- ・まず森や畑をできるだけ残すことが必要。
- ・全体としての計画が見えてこない。
- ・総合的な対策が必要。
- ・意識を変えるためには良いが、実際にはどれだけプラスになっているのか具体化を図る。
- ・自然の回復とは別な視点で、地域特性を活かした計画をたてる。
- ・地下浸透域の図化、広報による宣伝、地域ぐるみのゾーンの設定など。
- ・市民にもっとアピールする。
- ・実物を見ないとその良さや必要性は理解できない。
- ・地形など地域の特性を活かした方策が必要。
- ・湧水等の分流、雨水貯留池、浸透性のアスファルトなど多面的な方策を行う。
- ・現状の把握と今後達成すべき透水地率、都市の地下浸透率など目標値を出す。例えば全市域の何パーセントが透水地であるといった数字を出して市民にアピールする。

(3)水質対策についての課題

- ・下水処理の問題。
- ・下水道対策が基本。

- ・水量との問題.
- ・ダム放流水の問題.
- ・住民が水質の調査等を行うにあたって、行政や公的な財団等が資金的な援助や専門家を派遣する.
- ・水量の問題と大きく関わるので、湧水などを保全する.
- ・水を汚さない商品を使い、人にも勧める.
- ・川をまっすぐに造り変えない。コンクリート工法は追放する。生きものが寄ってくる水辺は水質もいい.
- ・下水処理場の問題.
- ・下水処理水の河川内浄化などを積極的に行う.
- ・下水処理場の見直しが必要.
- ・下水処理場はできるだけ上流部につくり、処理水をなるべく上流から流す.
- ・下水処理対策、特に上流部の下水道対策が必要.
- ・下水処理は大がかりなものではなく、小さなものをたくさん作る.
- ・流域下水道など大規模な下水処理ではなく、小規模なものにする.
- ・上流部に下水道の完備が必要.
- ・流域の湧水、伏流水の保全、復活の対策が必要ではないか.
- ・自分の住んでいる近くの水が飲み水でなくなり、子どもが泳がなくなり、川を見る人が少なくなるとなぜか水が汚くなる。それを少しずつ復活させるようにすることも重要である.
- ・水を生活やレクリエーションに活用できるようにする.
- ・流域の行政が話し合うのも必要.
- ・自治体などが流域で考え、計画をたて実施することが必要.
- ・都市計画の一つとして位置づける.
- ・情報の公開が必要.
- ・化学物質の問題があり、さらなる研究が必要.
- ・長期的展望を考え、今ある基準も暫定的基準とし、もっと良い方向へもっていく.
- ・河川内の植物等を有効に使い、自然浄化を進める.
- ・源水を保全し、その水質を良くする。水源林の保全.
- ・ひとりひとりが汚れの原因を理解し、自分でできることを知る.
- ・水量との問題。羽村堰から流下させる水量を増やすこと.
- ・ダム、横断工作物等の設計の見直しが必要.
- ・上流部の開発との関係.
- ・どこで汚れているのかを明確にする.
- ・雑排水は大きな問題で、解決するには住民の意識の改善が必要.
- ・下水道事業を見直し、個人下水道や集落下水道の普及などさまざまな方策が必要.
- ・水量との問題があり、森林の保全などの対策も必要
- ・湧水など水源の確保が必要.
- ・住民のひとりひとりの意識の変革が必要で、生活レベルの意識の向上が課題である.
- ・合併浄化槽の設置を進める施策が急務。各種施策の有効的な連携.

- ・源流域や里山の保全について、流域で対策を考える。
- ・開発や生活との関係。
- ・下水道の問題。大雨のときに下水があふれる矛盾の解決。
- ・有害物質を川に流入させないようにすること。
- ・河川の水量の確保。
- ・下水道を広域的なものではなく、小さな単位で処理するようにする。
- ・自然浄化のためには、砂利原などを広くすると良い。
- ・流域全体の下水道の整備が早急に必要。
- ・一般住民のごみ捨てや不法投棄などに罰則規定なども必要ではないか。
- ・あらゆる排水処理についての管理、監視、立ち入り検査の強化と法制度化。
- ・情報公開を義務づける。
- ・下水道につながらない建物は建築許可をせず、また規制区域を設ける。
- ・下水処理場の対策。
- ・家庭排水等、処理水をどうするかが大きな問題。
- ・すべてを下水処理するのではなく、農地などの還元が必要。
- ・水量との関係などを全流域で考えていく。
- ・現在多摩川は、上流（水源）、中流（下水溝）、下流（感潮）となっているが、どう打開したらよいか提起する。
- ・河川内などを利用して、生物浄化、河川内浄化などを行う。
- ・大きなシステムではなく、小さなシステムで計画する。
- ・雨水の分流。
- ・下水処理の問題が大きな課題であるが、水を汚さない工夫、汚した水はその場でなるべく早く清水に近づける工夫と努力が必要。

(4)住民の啓発のための方法

- ・行政、専門家、住民がいっしょにさまざまな事を行う。
- ・河川や自然を使ったさまざまな体験をさせ、そのことをもっと知る。
- ・住民の日常生活に直接影響する問題をテーマに、流域として一過性のものではないイベントを行う。
- ・人の目につくようなアピールを考え、実行する。
- ・マスメディアなどをうまく利用する。
- ・できるだけ行政と市民が一緒に学習会の企画や研究発表したりする。
- ・学校教育に取り入れる。
- ・説明のためのパネルなどを作る。
- ・行政が主催するイベントなどで、ごみの捨て方をアピールしたり、川との付き合い方を紹介するコーナーを設ける。
- ・人間を水辺から遠ざけるフェンスなどは極力作らない。既存のものはなくすか低くする。そうすることで水辺への愛着や、水への関心も高め関心をもたせる。
- ・きっかけづくりとして、イベントを行い、継続的に教える必要がある。
- ・伝統的な行事を復活させる。

- ・遊び→学び→考える→行動する（遊ぶ）を円運動として続けていく。
- ・行政、市民の上下流交流。
- ・河口の羽田下流から源流の水干までの遊歩道を作り、見てもらうの良い。
- ・住民に体験学習の場を作り、さまざまな活動に参加してもらう。
- ・小中学校の生徒と森林学習体験の機会を作る。
- ・少人数の勉強会を継続して行う。
- ・環境学習の場を設定する。
- ・ひとつのテーマを持ったイベントを行う。
- ・住民ひとりひとりが使用しているさまざまな洗剤類などがどのような影響を土や水に及ぼすか知ってもらう。企業にも呼びかける。
- ・子どものうちからフィールドで学、教える、肌で感じるができる機会を増やす。
- ・川の魅力を見だし、それを伝える。
- ・きれいな水を流し、緑を増やす。
- ・学校教育の中で川をとりあげ、社会教育や環境教育を実践する。
- ・計画案などに対して、市民参加型のワークショップを行う。
- ・情報の公開が必要。
- ・市民のアイデアでイベントを行う。
- ・上、中、下流の住民の交流。
- ・各種のイベント等を実施する。
- ・国民的アイドルを仲間に引き入れる。
- ・身近な上、下水道から環境としての河川にあり方を日常的に知らせる。
- ・河川はみんなの財産であるということを認識することが必要。
- ・実際に魚を捕って食べたり、川を使った自然体験などイベントをからめ学んでもらう。
- ・広報紙等での周知。
- ・行政をまず啓発する。
- ・自然観察会。
- ・地域的にきめ細かな情報交流の場を設置する。例えば学校単位に空教室の活用を図り、ボランティア活動を支援するためのボランティア団体を育成する。
- ・地域での生活風土などについて、住民同志で勉強する。
- ・子ども達に自然体験をさせる。
- ・地域に残された農地や里山での活動をミニコミ紙などで発信する。
- ・わかりやすい出版物を作る。
- ・イベントやチラシなど多面的に行う。
- ・看板等を作り、わかりやすく説明する。
- ・市民の学習の場を確保する（社会教育など）。
- ・特に釣りやバーベキューで利用する人に対して自然環境への配慮などについての周知が必要。
- ・清掃活動など流域で一斉に行う。そのための組織化を流域市町村で検討することも必要。

- ・テレビでの番組づくりや、新聞で特集を組む。
- ・川や水がどのようなになっているのかを知ってもらう。
- ・自分たちがやったことを自分たちで評価してみるシステムを作る。
- ・地域の財産としての認識が必要。
- ・講座や自然観察会を通して、自然にふれあい自然のしくみや生き立ちを知る。
- ・調査等を住民、専門家、行政が一緒に行う。
- ・子どもの時から自然に親しませる。
- ・フィールドワークなどを計画的に、組織的に実施する。
- ・市民同志が意見しあえる場、勉強する場をつくる。
- ・自分たちのものは自分たちで処理するような意識で、そのための規制なども必要。
- ・実体験の中で伝えることが重要である。
- ・子どもたちにもやさしく説明する方法が必要。
- ・実際に現場を見せる。
- ・環境教育の普及。
- ・住民へのメッセージとなるコアパーソン、キーパーソンの発掘、養成。

3. 河川と地域の関係の再構築について

(1)河川管理者と住民の川づくりに関するコミュニケーションを図る上での課題

- ・組織上の問題が大きな課題。
- ・管理者が行政枠にとらわれすぎている。
- ・河川の工事などに関して、管理者は強引に押し進めてきた。
- ・管理者と住民の川への思いの違い。
- ・管理担当者が変わると一から始めなければならない。
- ・行政の担当者が2～3年で変わってしまうのも問題。
- ・担当者が変わると体制が変わってしまう。責任の所在が不明確。
- ・建設省の出先工事事務所等での一般住民来所者への対応が不親切である。
- ・担当者次第で接しやすかったり、しにくかったりする。
- ・縦割りの行政区が問題である。
- ・管理者は管理者意識が強すぎる。
- ・管理者がコミュニケーションについて積極的に行う。
- ・最低限地域住民の声を聞くことが必要。
- ・住民の声を積極的に聞く。
- ・市民の問いにキチンを答える。
- ・住民の意見をもっと聞いて欲しい。
- ・市民の意見を理解しようとしてつとめる。
- ・管理者として、住民、市民の話をきちんと聞いてもらいたい。
- ・管理者の義務として住民との接点を見いだす。
- ・管理者も住民のイベントに参加して欲しい。
- ・もっと住民の意見を取り入れるしくみが欲しい。
- ・管理者が住民にさまざまなことに関して、問い掛けを行う。
- ・出先窓口の対応をもう少し改善して、相談や対話の場所にする。
- ・電話等での窓口の設定。
- ・河川管理者の意識を変え、住民に任せられるのは何かを考える。
- ・決められたことをただ実行するのではなく、さまざまなことに対応できる柔軟性が欲しい。
- ・地域にあった川を作るという意識が必要。
- ・市民が川に近づけるような川づくりを行うことで、関心が川に向かうようにする。
- ・発信するところに情報は集まるので、住民と行政がお互いに情報をどのように出すかを考え、発信する。
- ・計画などは早期段階から情報を公開する。
- ・情報の公開や、広報活動を積極的に行う。
- ・早期段階での情報の公開。
- ・情報の公開が必要。
- ・情報の交換と公開が必要。
- ・資料等の収集と整理、発信が必要。
- ・河川モニターの増員。

- ・省庁間、行政間の連携.
- ・自治体間のつながりが欲しい.
- ・お互いに顔が見える関係になる.
- ・早期での情報の公開や話し合う場を作り、いっしょに現場を見る.
- ・一緒に現場へ行ってみる必要がある.
- ・管理者と住民とがいっしょに現場を見る.
- ・行政、市民、専門家が講座などを開き、お互いに勉強する.
- ・「遊ぶ・学ぶ・考える」そのようなことを行政と市民と一緒に繰り返し行う.
- ・両者がフィールドなどで一緒に活動する機会を先ず活発に行う.
- ・お互いの立場を尊重し、一緒に話しをする場が必要.
- ・管理者と住民と一緒に勉強する場をもうけ、お互いに向上していく.
- ・住民、河川管理者、学識者共同での調査や研究を行う.
- ・今まで同じテーブルにつかなかったことが問題で、そのテーブルづくりを行う.
- ・さまざまな住民の意見、個人の人権の問題をどうするかが課題.
- ・実際の市民がどれだけ情報を共有し、行政の施策に共鳴しているかが問題.
- ・地域の住民の声を聞き入れ、共通の認識で一緒に考える.
- ・行政、市民がお互いに流域単位で考える. 意見の交換が必要.
- ・住民と管理者が協力しあう. そのため、中立的な第三の機関を組織づける.
- ・パイプを通すような役割の人が必要.
- ・市民、行政がお互いに情報を集め、それを交換できるようなしくみが欲しい.
- ・市民のくらしの中に川が入ってくるようにする. 遊ぶ、使うなど.
- ・地域のお年寄りなどの話を聞く機会を多く作り、草の根的に広げる.
- ・計画段階からさまざまな住民の参画が必要.
- ・計画段階からの情報の公開と市民の参画が必要.
- ・事業に関して、計画段階から情報を出してもらい、一緒に考えていけるような仕組みが欲しい. 本当の意味での市民参加によって、市民も参加意識から責任意識へ向上する.
- ・水系一貫の思想に立って、流域市町村の定期的な連絡会議を設置. 市民グループの有志をまじえる.
- ・対等の立場で議論することのできる社団法人（学会）の設立.
- ・住民が地域活動の時間を生活に取り込み、それに対して何らかの報酬を用意する.
- ・社会制度改革と環境教育改革が必要.
- ・管理者と子どもたちのコミュニケーションを積極的に図る.

(2)「河川と地域の再構築」の再構築という表現をどのようにイメージするか

- ・言葉自体は固い感じがするが、水防活動などに示された川と人との関わりが浮かぶ.
- ・地域固有の川のあり方を基本に、治水、利水のための川からの脱却.
- ・二世世代前くらいの河川と地域の関係を、新しい形で取り戻すという感じ.
- ・川の水を認識し、河川と地域が親密になる.
- ・(1)とも重なるが「遊ぶ・学ぶ・考える」ことだと思う.

- ・例えば河川を、漁業が可能な場に戻すことができるなら、子どもの泳げる川に戻せるなら。
- ・地域の住民が協力し、沿岸自治体の管理する権限をより強める。
- ・対決から対話、協力へのパートナーシップの確立。
- ・河川のあり方を根本的に考え直す。
- ・住民が積極的に川の再生を行う。
- ・個々人が故郷（ふるさと）の川という認識をもつ。
- ・使われなくなかった里山や畑、田圃などの自然を復元し、生産の場にもどすなど、河川だけでなく地域の再生。
- ・川を生活に引き寄せ、川を生活と密着したものに作りなおす。
- ・流域の自然の中での川の役割。
- ・流域の自治体、管理者、住民の連携。
- ・地域の特性をいかした川づくり。
- ・生活の場の一部として地域、市民と河川を結ぶ。
- ・これまでの「河川」は「国のもの」から、反省して（国が）「国民財産」としての認識を確認した証。市民自治が確立されなければ困難だろう。
- ・問題を安易に捉えているのではないか。
- ・暗くてよくない言葉。壊れたものを建て直すといったイメージ。
- ・この表現では、「河川（管理者）」が先にあり、地位住民がその考え方に組み込みやすいための方策というイメージがする。
- ・川の都市化。
- ・よくわからない。
- ・治水上危険な場所に住んでいる住民と安全な所に住んでいる住民との争い。

(3)河川と地域の関係における過去の現在、将来の関係の違いについて

- ・昔に比べて川が危険だと思う住民が多い。
- ・現在は、生活（命）と川とが密接でないように見えるが、基本的には変わっていないのと思う。
- ・昔はすべての生活が川と結びついていた。今は水は使うが川はレクリエーションでしか使わなくなった。
- ・水が水道からの付き合いでしかなくなってしまった。
- ・東京の大事な水である多摩川の宿命からかもしれないが、親水的制約が昔に比べて多くなった。
- ・生活の場であった川が、生活から離れてしまった。
- ・文化的なつながりもなくなってしまった。
- ・川と生活の関係が変わり、川の手入れをしなくなったこと。
- ・汚れた小川であれば暗渠にしてしまう。
- ・過去は畑と人、人と里山など、河川とのつながりを結ぶものがあったが、今はない。
- ・充分考えていない。スペースが足りない。
- ・人が直接川にかかわっていた昔と、間接的にかかわっている今。

- ・過去はサケ、マスが行き来するなど上流と下流とがつながっていた。今は分断されてしまったように思われる。
- ・昔が堤防や橋は自分たちの手で守るという意識があった。今は建設省まかせ。
- ・川と生活が離れてしまった。
- ・河川と地域が過去において境界であり、左、右岸で分断され、敵対関係があり緊張し向き合ってきた。現在は水防組織のくずれているように緊張した関係はない。
- ・川は住民にとって、昔は生活の場であった。今はレクリエーションの場である。
- ・行政を動かす政治家は、過去では地域代表や企業がらみの人がほとんどだったが、現在は住民団体の代表なども加わってきた。
- ・昔と今では生活が違い、自分たちで自分を守るという意識が必要。
- ・川が生活の一部であった昔にどのように戻していくか。
- ・都市と農村部では、当然差があるが、上水道が便利さを増し、特に都市は川の存在を忘れかけている。水利用を災害時を含め、総合的に見直す必要がある。
- ・過去には生活と川が切り離せなかった。今はレクリエーションそのものが生活の一部になりつつあり、川をレクリエーションの場とすれば、川がもっと密着したものになる。
- ・生活スタイルを変え、水防団なども復活もよいのではないか。
- ・過去には市民と行政がともに責任、リスクを負っていた。そのあたりが、今後の課題ではないか。
- ・過去は生産活動のための川であった。将来は生産活動と生活活動の場としての川を見直す。
- ・地域の文化、歴史を掘り起こし、将来を考える。
- ・川を人間中心に変えてしまった。今後その意識が変えられるかどうか課題。
- ・川がかつてのように、人々にとって必要な食べ物の生産の場のできるかどうか。
- ・将来の河川のあり方を考える場合には、河川と関係深い年中行事を設ける。
- ・住民、行政が協力関係を持ち、昔のように住民もリスクを負うような意識を持つ。
- ・地域住民の合意が将来への課題。
- ・将来のために子どもたちに川の思い出を作らせるような川にする。
- ・過去には川や水路は生活に密着したものであった。それを再現するのは難しいが、新しいライフスタイルの中で良い関係を作り出したい。
- ・水は本来人に安らぎと憩いをもたらすものである、という認識をもつことが将来の関係を築きあげることになる。
- ・河川法という協力的な法律と運用面の変化。
- ・治水だけを考えてきた管理者が自然環境や社会環境も配慮しはじめたと思われる。
- ・川だけではなく、昔はものがないだけ知恵が働いたが、今はものばかりが氾濫し、お金を出せば何でも手に入る時代になってしまった。その知恵をもう一度働かせることができるかが、課題ではないか。
- ・無味乾燥な街になれば一方で川との関わり求める声は大きくなっていく。
- ・今と昔だけではなく、地域の生活風土の違いを認識する。
- ・将来、自分のくらしとつながった川にする。

- ・現在の川はほとんど排水路となってしまって、利用の面がぬけてしまっているのでどのような利用が考えられるかが、将来の関係を定めることになると思う。
- ・川と住民の生活が離れて、川を使ってのお祭りなどもなくなってしまった。そうした伝統芸能などを復活させることも課題のひとつ。
- ・流域住民の拠点となるような場所、組織（公民館の川を考える会）。
- ・上流と下流のつながりを考えてできるだけ回復させることが今後の課題。

(4)河川と地域のより良い関係の構築に必要なことについて

- ・住民がもっと川を見て、川のことを知る。
- ・生態系の見直し。生きものとの共存。
- ・川へ近寄る市民が増え、さまざまな意見を述べる必要がある。
- ・水辺は、自分だけの自由な楽しみ方ができるけれど、みんなのものでもある。水辺について語り合える仲間をたくさん作る。
- ・川の水をきれいにすることが基本。きれいにすれば、人々も訪れる。
- ・川は地域のもの、住民の財産だという認識が必要。
- ・河川というより、飲み水を含め絶対的な水、水と生活基盤との関係をひとりひとりが認識しなければならない。
- ・個人個人の人権を尊重し、さまざまな立場で川を見ることが必要。例えば高齢者からみるとどうなるかなど画一的な見方はさける。
- ・川で遊んで肌で感じ、考える必要がある。
- ・住民も自分たちの川だと認識する。
- ・環境があつての河川であり、総合的なまちづくりの中でどのように考えるかという視点が必要。
- ・住民の環境、福祉の財産として川を捉える。
- ・川の役割を認識する。
- ・歴史を振り返り、もう一度川を愛し、川に親しめる生活について考える。
- ・人間のことばかり考えず、生きものの事を考える。
- ・山と川と海の関係、つながりを考える。
- ・川、地域などの将来像をしっかりともつ。
- ・街の中の川、都市の中の川という発想で川づくりを行う。
- ・街に余裕をもたせる生活をし、生活の中の川という意識が必要である。そう思わせる川づくりが必要。
- ・住環境の中で心が安らぐ水辺空間、景観が必要。
- ・樹木、橋、建物など歴史的財産を大切に、河川や街と調和させる必要がある。
- ・川の水をきれいにし、泳げる川にする。
- ・川の水をもっときれいにすることが重要。
- ・楽しいイベントを行い、それを通じて川へ人を近づける。
- ・学校教育に取り入れる。
- ・歴史的なことを掘り起こし伝える。
- ・河川を使いさまざまな体験をしてみるイベントなどを行う。

- ・行政と住民が同じ情報を共有する。それがなければ、問題解決のための話し合いは前に進まない。
- ・水と結びついたレクリエーションの施設などが必要。
- ・歴史的な遺産として、河川・水辺も残していく。
- ・自然のところをできるかぎり残していく。
- ・子どもたちが遊べるような水辺空間を作る。
- ・橋、道路などと川とのアクセスを良くする。
- ・見学会、勉強会を通じて川への認識が必要。
- ・観光客を含め、マナーの向上が必要。
- ・自治体ごとではなく、流域のイベントを把握し情報を流す。
- ・市民、行政が集まることのできる拠点を作り、語らいの場をつくる。
- ・パンフレット等の広報を通して川を知ってもらう。
- ・川をキーワードにした、楽しく地域の文化にふれるようなイベントを継続して行う。
- ・異業種交流、流域間交流などさまざまな市民同志の交流を行う。
- ・地域の特性を活かしたまちづくり。
- ・その流域の生物（人を含む）を生活させるだけのエネルギー計算を試みる。
- ・住民と行政の中間的な役割を担う人材が必要。
- ・行政と市民の間に立つ、コーディネーター的な人材づくり。
- ・行政と市民が対話できるような場の確保。
- ・右、左岸、上、下流の住民のコミュニケーションがはかれるような場づくり。
- ・川に近づくための自然の道や、ビクターセンター的なもの、地域を流れる多摩川について誇りをもって案内、説明をしてくれる人が必要。
- ・地域にあったイベント、お祭りをを行う。
- ・上、中、下流の市民の交流をはかる。
- ・川の情報をもっと流す。
- ・川へ行くための道路を整備し、人が近寄りやすくする。
- ・流域での伝統的、歴史的なことを掘り起こし伝える。
- ・教育の場としてもっと使う。
- ・川を人間の安らぎと憩いの場と認識し、だれもが利用できるようにする。
- ・子どもたちが安心して利用でき、環境教育の場となるようにする。
- ・老人から子どもまでがコミュニケーションできる場としての活用。
- ・河川だけではなく、流域全体のまちづくりのあり方を住民、企業、専門家、行政が一緒になって協議するシステムをつくる。
- ・方法あるいはシステムについて、行政が一方的に決めるのではなく、さまざまな意見を取り入れる。
- ・昔の人の知恵をもう一度掘り起こす。
- ・住民の知恵や特技を活かしたイベントを行い、さまざまな人に参加してもらい、川に近づいて見てもらうことが必要。
- ・渡し船の復活など、昔の生活を再現してみることも必要ではないか。
- ・各地域からの情報提供。

- ・市民セクターが各地域でがんばって活動できる環境を整えること。
- ・河川工事、計画の有無の段階で地域内での合意づくりができる「しくみ」が必要。
- ・共通情報を収集、発信する「しくみ」が必要。
- ・川や自然と親しみ遊ぶことにより、それをもっと知る。
- ・歴史を掘り起こし、昔の生活を振り替える。
- ・上下流の交流。
- ・イベントなどもバラバラにやるのではなく、つながりをもったものにする。
- ・伝統芸能、祭りなどの復活。
- ・さまざまな専門家を結び、生物環境をきちんと見る視点が必要。
- ・自分たちの川だということを認識する。
- ・川へ近づきやすくする。
- ・学校教育の中で川をとりあげた教育として、子どもたちを川に近づける。
- ・河川環境モニターの人員を増やす。
- ・専門家だけでなく、地域の住民の貴重な体験や話しを掘り起こし、残していく。
- ・しっかりした「多摩川洪水年表」の作成。
- ・伝統芸能や、川と密着したお祭りなどの復活。
- ・小中学校の教育に取り入れてもらうにも、教員への教育が必要。
- ・きちんとした研究機関の確立が必要。
- ・現場の職員と住民の交流。
- ・住民が余暇時間を利用し、自然に関わるレクリエーションをしながらの管理に参画できる体制。
- ・江戸時代などの昔の川、くらしなどを参考にし、本来の川のありかたを考え、さまざまな方策を練る。
- ・地域に密着した行政。
- ・教育機関との連携（学校、社会教育を含めて）。
- ・河川ごとのイベントを通じて、活性化させる。
- ・水防組織を再編成し、河川と地域の整合関係を構築する。
- ・行政と市民がお互いの情報の発信を行う。
- ・計画的に河川利用させ、学校、社会、家庭をつなげる。
- ・暗渠になっている川をもう一度復活させる。
- ・生活の中で啓蒙できるような手法を考え、住民の意識を変える。
- ・実体験できるような場、機会が必要。
- ・地域の小川や池で魚や小さな生きものをたらせたいが、前面採取禁止になっている現状がある。
- ・観察会、清掃、採集などを行政主催で行う。
- ・計画段階からの住民の参加。
- ・今いる動植物を絶やさない。
- ・自然を残しながら川を利用し、川と親しむ。
- ・自然体験の教育が必要。
- ・昔の川にもどすことが大切だが、どこまでもどせるかが課題である。

5. 総合的考察

(1) アンケート調査での考察

多摩川流域では昭和45年に多摩川の自然を守る会が結成され、多摩川流域自然保護団体協議会（昭和49年設立）など、全国に先駆けて、川の自然を守る活動が活発化し、多摩川のみならず全国の活動へ影響を及ぼした。その後、多摩川流域では川や水をめぐる団体が各地に発足し、現在では、道路建設、汚水、ゴミ処理場などの建設問題、行政とのパートナーシップ形成のための団体など多様な活動が見られるようになった。

こうした中、それぞれの活動や団体の運営にあたっては、アンケートの結果、次のような点が課題として整理される。

- ① 流域にはさまざまな団体が存在し、活動しているが、全員の高齢化、資金不足による運営の困難化があり、消長が著しい。
- ② 各団体相互の情報の交流が不足していて、情報の交流拠点が求められている。
- ③ ボランティア活動の限界として、人材、資金不足があげられ、行政の応援とともに市民参加の啓発の充実が求められている。
- ④ 活動の目的を達成するためには、行政との交流、市民の意見の施策への反映、方法等、パートナーシップ型の活動への展開が求められている。
- ⑤ 行政に対しては、情報の公開、市民の声を聞く仕組みの構築、活動への支援等が挙げられる。

(2) ヒアリング調査からの考察

ヒアリング調査においては、平成7年に答申された、河川審議会環境小委員会における「今後の河川環境のあり方について」の3つの基本方針について聞いたものである。その要約を示すと次のように考察される。

- ① 生物の多様な生息・生育環境について、多自然型工法の導入等、新たな国の事業については、理念だけが先行し、技術が不成熟である。
- ② 事前の調査、日本の伝統的工法の採用、地場材の活用、事後の追跡調査が必要である。
- ③ 工事等について事前の公表、住民との議論が不足している。
- ④ 自然のみならず、歴史・文化性への配慮を付加する。
- ⑤ 現況の自然を充分把握し、過剰な整備を行わない。
- ⑥ 中・長期計画のもとに、実施計画をつくる。
- ⑦ 住民の情報、活動による経験を活用し、整備、維持管理への参加を図るパートナーシップ（協働）の形成が重要である。
- ⑧ 健全な水循環の確保については、流域全体の水循環の回復のため、土地利用計画、水源に対する保全制度、上・下流交流による住民間の啓発活動など、流域全体の視点で考える。
- ⑨ 雨水の貯留浸透促進対策の充実、住民への理解等が求められる。
- ⑩ 水質の改善のため、下水道計画、整備の見直しを行うとともに、河道内処理、湧水の復活と導入等、水循環系の中で、総合的に対応する仕組みをつくる。
- ⑪ 河川と地域の関係の再構築については、前述した行政情報の公開とともに、住民とのコミュニケーションの充実が必要である。

- ⑫ 行政と住民をつなぐコーディネーター役（機関等）が必要である。
- ⑬ 川に対し、住民が関心を持つための仕掛けや仕組みづくりをさまざまな形で展開する。
- ⑭ 環境のみならず、治水、利水に対して地域住民が日常的に関与するための新たな仕組み（ボランティア、ボランタリー等）が求められている。
- ⑮ 川づくりからまちづくりの展開といった総合的な視点を行政、住民双方が認識する必要がある。

< 参考資料 >

－ 新聞記事における多摩川流域の環境問題の動向調査

(1990年1月～1995年12月) －

1. 目的

多摩地域の市民団体の活動内容等を調査する方法のひとつとして、その活動に関係する新聞記事を抽出し、どの地域でどのような活動が行われてきたか把握する。

2. 調査の方法

4大新聞社（朝日新聞社、読売新聞社、毎日新聞社、東京新聞社）の多摩版を中心に、その他にアサヒタウンズ、ニュース0425、都政新報を含めて、1990年1月から1995年12月までの新聞記事で、多摩地域の市民活動に関する記事を抽出・分類し、一覧表にまとめた。

1) 一覧表項目の説明

a. 記事No.

b. 掲載年月日

c. 掲載紙名

A — 朝日新聞社
Y — 読売新聞社
T — 東京新聞社
M — 毎日新聞社
ア — アサヒタウンズ
ニ — ニュース0425
ト — 都政新報

d. 河川／地域名

河川 — 河川名
地域名 — 市町村名及び地域の名称

e. 記事見出し

f.掲載記事関係団体No.

今回の調査では抽出なし

g.エリア

・山地 ・河川 ・丘陵 ・市街地

h.対象

・緑 ・水 ・文化財 ・景観 ・生物 ・ゴミ ・交通

i.行為

・開発 ・保護 ・利用 ・調査 ・その他

3.調査結果

今回の調査では、99頁・1,089の新聞記事を抽出し、一覧表にした。

なお、今回の調査では新聞記事の抽出を目的としており、その記事と市民活動との関係やその解析等については今後の研究テーマとして大変重要であると思う。今後、調査研究の機会が得られれば是非継続したいと考えている。

多摩地域における自然環境関連記事

記事 No.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体No.	エリア	対象	行為
0001	900109	T. A	高尾 / 八王子市	当初計画より縮小 / 矢野学園、金刀比羅山への移転		山地	緑	開発
0002	900110	T	高尾 / 八王子市	認可結論持ち越す / 矢野学園 高尾移転縮小		山地	緑	開発
0003	900112	A	野川 / 国分寺市	酒濁が心配湧水群守れ / 「浸透マス」周辺住宅に設置へ		河川	水	保護
0004	900113	A	多摩川	「多摩川」支え15年 水辺守る運動促す / とうきゅう環境浄化財団		河川	水	保護
0005	900114	A	鶴見川 / 町田市	丘陵地の湧水ピンチ / 押し寄せる宅地開発の波 町田市が保全策		丘陵	水	保護
0006	900114	T	矢川 / 国立市	コンクリート使用控えて / 矢川改修 住民ら現地を視察		河川	水・緑	保護
0007	900216	A	野川	「井戸籍」作り進む / 野川流域で市民団体 地下水保護を訴え		市街地	水	保護
0008	900216	A	野川	地下水保護へ井戸調査進む / 野川流域で市民団体		市街地	水	保護
0009	900228	T	国分寺市	「払い下げへ前進」 / 鉄道学園跡地 利用構想具体化へ		市街地		利用
0010	900308	M	野川	野川の自然いつまでも 保護訴えシンポ		河川	水	保護
0011	900310	ア	高尾 / 八王子市	差し戻し / 矢野学園の建設計画都自然環境保全審議会		山地	緑	保護

記事 N o .	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N o .	エリア	対象	行為
0012	9000314	A	調布市	副知事と関係3市長会談へ/ 調布飛行場将来計画六者協開催へ方策探る		市街地		利用
0013	900315	T	野川 ・多摩川	「一緒に考えてみませんか」/自然保護と まちづくり 市民団体が企画参加呼びかけ		河川		保護
0014	900316	T	多摩地区	多摩地区にも新設/ 建設残土再利用センター				利用
0015	900318	A	高尾 / 八王子市	矢野学園が住民説明会/ 金比羅山造成の縮小案		山地	緑	開発
0016	900319	T	狛江市	提言さまざまな立場から/ 狛江でまちづくりシンポジ		河川		保護
0017	900324	A	高尾 / 八王子市	「総延長3.4キロも」45年間放置のまま/ 団地の下に網の目の地下壕八王子金比羅山		山地	文化財	保護
0018	900325	A	高尾 / 八王子市	矢野学園が住民説明会/ 移転造成の縮小案		河山地	緑	開発
0019	900402	T	国分寺市	構想さまざま高まる期待/ 国分寺 鉄道学園跡地の整備		市街地		利用
0020	900402	T	町田市	建設残土投棄に歯止め/ 埋め立て規制条例を施行			ゴミ	
0021	900407	了		森をすてた代償/ 感性が育たない子供たち自然の中で遊べな			緑	
0022	900411	T	東久留米市	緑地保全地域を拡大		市街地	緑	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0023	900411	T. A	高尾 / 八王子市	再審議案退けられる / 八王子実践移転問題		山地	緑	開発
0024	900412	T. A	高尾 / 八王子市	ホントに安全なの? / 都議ら地下壕視察		山地	文化財	開発
0025	900416	A	日の出町	95年度に満杯か / 日の出の多摩地区ごみ処分場既に42%使用		山地	ゴミ	開発
0026	900421	A	五日市町	物事の善悪知るフィールド / 探鳥会で神秘的な森の目覚めに興奮		山地	生物	利用
0027	900426	A	国分寺市	一石三鳥むかしの井戸 / 国分寺に2本復活		市街地	水	その他
0028	900426	T	野川	伝われ! 「野川」への思い / 中1道徳の副読本に		河川		その他
0029	900428	A	八王子市	対策は地元調査待って / 八王子の地下壕		河山地	文化財	保護
0030	900504	T	檜原村	「ブナ原生林の自然大切に」の声も / 奥多摩に初の都民の森		山地	緑	利用
0031	900505	T	野川 / 小金井市	くじら山はらっぱを残して / 野外結婚式で自然保護アピール		河川		保護
0032	900505	A		作る側のゴミ処理責任明示 / 注目される東京都清掃審の中間報告			ゴミ	その他
0033	900509	A	位置か市町	五日市町で一部処理へ / 調布・小金井・府中のゴミ年間7千トンを委託			ゴミ	その他

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0034	900510	T	野川 / 三鷹市	清らかな水の恵み先祖代々の遺産 / 大沢わさびを育て守る箕輪一二三さん		市街地	水	保護
0035	900513	T	野川	「川、原っぱ」貴重な財産 / 治水池の建設は行政側と一緒に考えて		河川	水、緑	保護
0036	900514	T	野川 / 小金井市	自然保護訴え野外で挙式 / 300人が2人を祝福		河川		保護
0037	900514	A	矢川 / 国立市	カワニナ下水工事から守ろう / 子供たちが引っ越し作戦		河川	生物	保護
0038	900516	T		原因、酸性雨が寿命か / スズの大木枯死で調査 公明党議員団		山地	緑	調査
0039	900517	A	玉川上水 ・千川上水	清流戻った！ / 4年前復活した玉川・千川 上水 武蔵野市が水辺環境調査			水	調査
0040	900520	A、ア	野川 / 小金井市	自然を守ろう原っぱ結婚式 / 護岸工事に涙したかたつての夢が実現		河川		保護
0041	900521	T	野川 / 小金井市	自然の水辺を強調 / 魚の住み良い河川に淡水魚類研究者ら講演		河川	生物	保護
0042	900522	T	檜原村	自然と親しみ健康づくり / 31日から一般開放 都民の森		山地	緑	利用
0043	900528	T	野川 / 世田谷区	手作りの野川サミット / 快適な環境話し合う		河川		保護
0044	900531	A	八国山	武蔵野の原風景残して / 展望広場造成で樹林パッサリ		山地	緑	開発

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0045	900602	ア	多摩川 / 日野市	そうして魚影が消えた！コイの川となった多摩川 / 解化ゾーンなのに見えないアナ		河川	生物	その他
0046	900604	A	多摩川 / 丹波山川	多摩川の水源守ろう / 都民と上流住民ら交流・共存へスクラム		山地	水	保護
0047	900604	T	狭山	開発で美しさ失う狭山丘陵 / 官民の自然保護にずれ		丘陵	緑	保護
0048	900608	A	小金井市	清流を守るのはあなた / 小金井市と有志が協力19河川120地点で水質調査		河川	水	保護
0049	900609	A	八王子市	山削り無断でへりポート / 都に届出せず		山地	緑	開発
0050	900610	T	小金井市	きょう河川合同調査 / 都内130地点住民団体らが水質など		河川	水	保護
0051	900614	A	八王子市	緑地回復を命令へ / 八王子の臨時へりポート		山地	緑	開発
0052	900615	T	八王子市	業者が無断へりポート造成 / 都立高尾陣馬自然公園		山地	緑	開発
0053	900615	T	調布市	調布の二枚橋ごみ焼却場、老朽化進みお手上げ / 高尾清掃センターで一部処理へ		市街地	ゴミ	その他
0054	900616	A	八王子市	八王子市民があす現地調査 / 臨時へりポート問題		山地	緑	開発
0055	900616	A	高尾 / 八王子市	矢野学園移転問題「覚書」が明るみに / 「地元と合意まで着工せず」		山地	緑	開発

記事 N o.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N o.	エリア	対象	行為
0056	900616	ア	高尾 八王子市	地下壕を保存しよう歴史の証人を残す/ 懐中電灯片手に70人が見学会		山地	文化財	保護
0057	900618	A	八王子市	今後も監視続けよう/ 八王子の臨時ヘリポート市民ら現地調査		山地	緑	開発
0058	900619	Y	野川 小金井市	「都は貯水池建設見直して」、野川の自然守 れ/住民・シンボを開催はがきで都に抗議		河川		保護
0059	900621	A	八王子市	市は都に回復要望・八王子のヘリポート		山地	緑	その他
0060	900625	T	多摩川/ 奥多摩町	アユの育つ昔の川に水温アップ作戦/ 導水トンネルを建設		河川	水	保護
0061	900630	ニ	野川 小金井市	母子二人三脚で原っぱ保存運動		河川	緑	保護
0062	900704	T	野川多摩川 /狛江市	アップアップのコイ多摩川へ/ 狛江野川干上がり1000匹救出		河川	生物	保護
0063	900721	ア	狭山	狭山丘陵に博物館/ 自然破壊と市民は批判		丘陵	水・緑	開発
0064	900728	A	東京都	残土条例/ モデルを都が公表		市街地	ゴミ	その他
0065	900816	A	東京都	川の水をきれいに/ かいせん63、悪化は28地点		河川	水	保護
0066	900816	T	多摩地区	戦争体験風化させるな/ 地下壕見学や語り継ぐ会		山地	文化財	保護

記事 N o .	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N o .	エリア	対象	行為
0067	900817	A	八王子市	緑地回復計画、都が提出要求/ 八王子はへり離着陸状		山地	緑	開発
0068	900818	T	八王子市	自然環境保全審議委員が視察/ 八王子・矢野学園予定地		山地	緑	開発
0069	900822	T	仙川/ 世田谷区	仙川の護岸工事/住民が納得するまで工事 中止を住民団体が知事に要望		河川		保護
0070	900826	T	小金井市	自然と戯れようわんぱく夏まつり/ 武蔵野公園くじら山の周辺でにぎやかに開				利用
0071	900826	T	日の出町	多摩地区の新ゴミ処分場候補地は日の出町 玉の内地区に白羽の矢/住民が了解すれば		山地	ゴミ	開発
0072	900908	A	立川市	武蔵野の緑「維持したい」81%/ 46%は公開の意思なし		市街地	緑	保護
0073	900918	A	八王子市	来月中に緑化の植栽八王子・高尾陣馬公園 の無届けへりポート		山地	緑	開発
0074	900921	A	根川/ 調布市	水道水で武蔵野のせせらぎ再現/ 調布市が計画2億2千万かけて来春完成		河川	水	保護
0075	900922	T	野川	大賞に赤羽さん(世田谷)/ 野川の自然写真コンテスト		河川		
0076	901002	T	立川市	立川の都水道水源井戸から発ガン物質/ 残堀川の浸透水か柴崎九号水源		市街地	水	利用
0077	901022	A	仙川/ 調布市	調布市「緑の保全基金」第一弾/ 雑木林10億で買収		河川	緑	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0078	901022	T	野川 / 小金井市	自然保護した工夫を / 野川シンポ 河川改修の在り方探る		河川	水	保護
0079	901025	A	秋川 / 日の出町	秋多計画道、環境アセス案を了承 / 都影響評価審 質疑なく住民反発		市街地	交通	開発
0080	901105	A	多摩市	息苦しい 多摩大気汚染、過去12年間で最 悪 / 交通量増加響き基準超す幹線道		市街地		調査
0081	901105	A	多摩市	雨水利用へ第1弾 / 公共施設まず二ヶ所		市街地	水	利用
0082	901115	T	野川 / 三鷹市	都会の自然よみがえって		河川	水	保護
0083	901118	A	東京湾	臨海副都心Nox汚染アセス / 原案7地点公表2地点2000年の基準オーバー		市街地		調査
0084	901125	A	調布・府中 小金井	推進と反対 動き本格化 / 二枚橋ごみ焼却場移転問題		市街地	緑	保護
0085	901203	T	野川 / 小金井市	水量増へ「浸透柵」 小金井で野川シンポ		河川	水	保護
0086	901212	A	多摩川 / 粕江	多摩川水系サイクル道路 / 「堤防の自然台無し」説明会延期の事態		河川	緑	保護
0087	901213	A	多摩川	管理責任の範囲広げる 社会常識に引き戻す		河川		
0088	901213	A	多摩川	多摩川水害訴訟の判決理由要旨		河川		護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0089	901215	T	八王子市	無許可でへりポート/ 都立滝山自然公園内近くに病院・騒音心配		山地	緑	開発
0090	901216	A	奥多摩町	過疎の里に観光客と呼び水は人造湖 奥多摩湖と白丸湖		山地	水	利用
0091	901221	T	多摩川/ 狛江市	都の「武蔵野の路」計画 「生態系が破 壊される」 狛江市議会で野党追及		河川	緑	保護
0092	901225	T	野川/ 五日市町	“野川流域”を特集 多摩中央信金発行 「多摩のあゆみ」61号		河川	その他	その他
0093	901225	A	五日市町	アセス書案に面接ミス 五日市町の採石 場拡大計画業者 町は修正了承・住民反発		丘陵	緑	開発
0094	901230	T	狛江市	反対派、運動強化へ 都「武蔵野の道」 堤防盛り土計画 「土手の会」を結成		河川	緑	保護
0095	910106	A	狛江市	「武蔵野の道」 反対市議に質問状		河川	緑	保護
0096	910108	T	多摩地域	緑の保全、土地利用の工夫を 多摩の未来像		市街地	その他	利用
0097	910114	T	秋川/ 秋留台地域	「自然破壊進む恐れ」 「秋留台の開発計画考えるシンポ」開く		丘陵	緑	開発
0098	910117	A	多摩川/ 奥多摩町	小河内ダム下流 少しでもだけ清流戻った奥多 摩の多摩川 発電用を本流へ東電		河川	水	利用
0099	910117	T	狛江市	「武蔵野の路」着工・・反対派が“阻止” 「議会で審議くせ」 狛江市は「断り遅すぎぬ」		河川	緑	保護

記事 N○.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N○.	エリア	対象	行為
0100	910118	T	狛江市	武蔵野の路「強行着工はするな」 狛江市議会建設委 市に四項目申し入れ		河川	緑	保護
0101	910119	ア	八王子市	ミニ開発を考える 形状変更、伐採届をせず(高尾陣場自然公園にヘリポート) バスも通行でも届けが必要(都立流山自然公園にヘリポート)		山地	緑	開発
0102	910119	T	立川市	立川清掃工場焼却炉増設問題 アセス実施に住民同意1年かけ計画書案 案料7千400万円開府市議会に上程へ		市街地	その他	開発
0103	910120	A	清瀬市	都市のオアシス上手が危ない 行路の計画に相次ぐ住民の異議 清瀬 都の隣川改 修事業 / 狛江市の武蔵野の緑建設		河川	緑	保護
0104	910124	T	狛江市	住民説明会物別れ 狛江の「武蔵野の路」 工事		河川	緑	保護
0105	910126	T/A	狛江市	武蔵野の路 盛土工事を修正 狛江市議会建設委 住民の陳情は不採択		河川	緑	保護
0106	910129	T	狛江市	狛江市に要望書 多摩川土手盛り土工事に 反対の市民の会		河川	緑	保護
0107	910130	T	狛江市	武蔵野の路 計画修正で工事再開 反対派 抗議説明会開くことで合意		河川	緑	保護
0108	910131	A	落合川/ 東久留米市	ドジョウがシンボルだ 住民を守る会結成へ 落合川など保全めざす 東久留米		河川	生物	保護
0109	910201	T	狛江市	武蔵野の路で狛江市 きょうう反対派と話し 合い 住民の合意が鍵 騒音が助言・工事は早く中断		河川	緑	保護
0110	910203	T	狛江市	住民側また工事阻止「武蔵野の路」事業に 反対		河川	緑	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0111	910206	T	狛江市	武蔵野の路 工事の続行を確認 狛江市「計画変更は混乱招く」		河川	緑	保護
0112	910208	T	狛江市	住民側に「最後通告？」武蔵野の路で狛江 市側非公開で話し合い		河川	緑	保護
0113	910211	T	狛江市	狛江市「武蔵野の路」あすから工事再開 反対派市の最終提案承認		河川	緑	開発
0114	920213	T	狛江市	土手工事を再開/ 狛江の武蔵野の路 反対派はテント撤去		河川	緑	開発
0115	910218	T	野川/ 三鷹市	サケの稚魚4万匹を野川に放流 「ほたるの里・三鷹村」		河川	生物	その他
0116	910218	T	狛江市	反対運動招いた「武蔵野の路」住民不在 の計画づくり		河川	緑	開発
0117	910222	T	都内29河川	河川の汚染マップ完成 市民らの水質調査 報告 都内29河川		河川	水	調査
0118	910227	T	小平市	小平市雨水処理に浸透マス／新年度から希 望家庭に設置助成		市街地	水	利用
0119	910302	A	多摩ニュー タウン	突然消えた「小さな自然」木を伐って、木 を植える！？ 緑地整備とは一体何か		市街地	緑	開発
0120	910303	A	平井川/ 日の出町	キツネ、サンショウウオのいる山河残そう 日の出 自然を守る会さきょう発足		河川	生物	保護
0121	910310	T	落合川/ 東久留米市	河川改修で絶滅寸前 ホトケドジョウ工事方法見直すべき		河川	生物	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0122	910420	T	秋川市	4ミリの命ひっそり産声 秋川の沢迫りくる乱開発		丘陵	生物	保護
0123	910423	T	平井川	多摩・平井川の改修 自然にやさしい川づくりを		河川	緑	保護
0124	910506	A	平井川/ 秋川市	ケヤキ並木移植待った 秋川の平井川改修「全身傷つける」住民ら反対署名		河川	緑	保護
0125	919518	Y	野川/ 小金井	フェスタで原っぱ守れ! あす市民団体がくじら山で開催		河川	緑	保護
0126	910520	T	野川/ 小金井	もちつき大会など2000人参加くじら山でまつり		河川	緑	保護
0127	910520	T	多摩川	動き出したスーパードーム防構想 多摩川は一部建設へ 地元住民の反応は冷淡		河川	緑	開発
0128	910613	A	八王子市	国定公園内で無届け開発 都・業者に改善を指導		山地	緑	開発
0129	910622	ア	残堀川/ 府中	枯れた残堀川 カルガモ親子の住める川にあふれないだけの改修は意味がない		河川	水	保護
0130	910719	A	五日市町	発ガン物質検出の井戸 汚染源究明せず再開 9年前揚水停止		市街地	水	その他
0131	910730	A	五日市町	五日市町の採石場拡張計画 条件付きで許可 反対住民らは反発		丘陵	緑	開発
0132	910802	T	五日市町	五日市町の採石場企業に拡張許可 都自然環境保全審が答申			緑	開発

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0133	910807	A	狭山 多摩地区	丘陵の緑確保に指針 地形変化防止め策 都が策定来月施行		丘陵	緑・景観	保護
0134	910814	T	狭山 多摩地区	大幅な土地改変阻止へ 狭山・多摩丘陵など土工量制限		丘陵	緑・景観	保護
0135	910817	Y	野川	「野川ネットワーク」誕生へ 流域の市民団体20が参加		河川	水	保護
0136	910824	ア	野川	泥んこになった遊びまくろう 夏休み最後のイベント 23日からわんぱく夏まつり		河川	緑	利用
0137	910825	T	野川/ 小金井	飯盛炊さんなど体験 小金井の「わんぱく夏まつり」親子連れら自然を満喫		河川	緑	利用
0138	910828	T	国分寺	国分寺 鉄道学園跡地を予備調査 本格的売買交渉などにはずみ		市街地	文化財	開発
0139	910829	A	町田市	わいろで造成ごり押し? 墓地反対運動に業者対抗 都の許可、二転三転完了検査後		市街地	緑	開発
0140	910830	Y	小金井	自然にやさしい「雨水浸透マス」既に年3400人の使用量に匹敵設置一万個に		市街地	水	利用
0141	910913	T	日の出町	新・廃棄物処分場候補地に日の出町王の内地区を決定 地権者らと話し合いへ		丘陵	その他	廃棄
0142	911004	A	野川	野川を守れ 市民スクラム 流れは1つ流域全体を見なければ		河川	水	保護
0143	911025	A	野川	暮らし映し流れる野川の自然 市民の守る運動紹介		河川	水	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0144	911025	Y	野川	よみがえった清流 野鳥昆虫たち・・・ 「生きている野川」写真集完成		河川	水	保護
0145	911031	A	府中・立川	発ガン性物質検出の水道用井戸 年内にも にも揚水再開 除去装置などで安全確保		市街地	水	利用
0146	911106	M	野川	野川の自然大切に「写真譜」で訴え 小金井の鱗山さん		河川	水	保護
0147	911106	M	野川	調節池に水生動物を小金井市民が利用計画 案		河川	水・生物	保護 利用
0148	911109	ア	野川	いまの姿をいきいきと 生命を育みながら も・・・都市化にほんろう		河川	水	保護
0149	911109	A	五日市町	水辺の環境守るには？ マスはなぜ増えぬ		河川	生物	保護
0150	911128	A	平井川/秋川市 落合川/東久留米市	みんなの川自然守って		河川	生物	保護
0151	911130	ア	野川	水辺の変化に魅せられて 「写真集「Misty Morning」」を出版		河川	水	保護
0152	911201	M	平井川/秋 川	「連絡が不十分」と市民グループ欠席 平井川改修工事説明会		河川	生物	保護
0153	911201	M	東村山市	北山公園 許可なく用水路変更 東村山市整備工事を中止		市街地	水	開発
0154	911201	M	小金井市	小さなともしび永遠に・・・ きょうホタル会議 自然保護を話し情報交換		市街地	生物	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0155	911202	T	小金井市	水生昆虫の保護を！ 東京ホタル会議「自然見直し」訴える		市街地	生物	保護
0156	911203	A	野川	都会にも自然の神秘 野川の川霧を写真集に		河川	水	保護
0157	911206	Y	国分寺	国分寺のオアシス・殿が谷戸庭園 湧水保護を優先 ビル計画変更へ		市街地	水	保護
0158	911207	T	西多摩地区	西多摩の自然残して 市民フォーラム結成		丘陵	生物 緑	保護
0159	911207	ア	落合川/ 東久留米市	ホトケドジョウを保護しよう 落合川上流の改修前に372匹捕獲 井の頭文化園へ		河川	生物	保護
0160	911208	A	昭島	多摩地域リサイクルシンポ 市民・行政・企業一緒に対策を		市街地	その他	利用
0161	911210	Y	秋川	秋川にサケ戻ってきて「呼ぶ会」に卵1万個が届く		河川	生物	その他
0162	911211	A	町田市	命の川見でこの汚れ方 町田の市民会議 川など実地賠償		河川	水	保護
0163	911215	M	八王子市	緑減った八王子の樹林地 20年前より 10ポイント低下 大規模開発が響く		山地 市街地	緑	開発
0164	911217	Y	世田谷区	サケを呼ぶ会の記録フィルム 堂々、金賞に輝く		河川	生物	その他
0165	911217	M	高尾山/ 八王子市	都立自然公園で山道拡幅 市が業者を厳重注意		山地	緑	開発

記事 N o .	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N o .	エリア	対象	行為
0166	911217	A	平井川/ 秋川市	改修工事を再開「協議の場」設置で合意		河川	生物	開発
0167	911217	A	立川	火事心配を市バツサリ防災か自然保護か 野鳥の楽園なげと市民		市街地	生物	保護
0168	911217	A	落合川/ 東久留米	河岸補修で荒らされる？ 東久留米の落合 川		河川	緑	開発
0169	911223	A	西多摩地区	秋留台開発でピンチ 研究者らがフォーラ ム		丘陵	緑	保護
0170	911229	A	落合川/ 東久留米	わき水の清流どう守る 目立つ周辺の乱開 発		河川	緑 生物	保護
0171	920104	T	平井川/ 秋川市	自然保護 護岸工事住民が工法変えた		河川	緑 生物	保護
0172	920108	A	西多摩/ 秋留台	秋留台開発見直しへ自然保護で覚書 都と市民団体が合意		丘陵	緑 生物	保護
0173	921009	Y	東村山市	八国山緑地の自然保護で覚書 都と市民団体が合意		市街地	緑	保護
0174	921009	サ	檜原村	自然公園都民の森 再開目指し自然保護で覚書		山地	緑	保護
0175	920109	A	多摩川	サケの「里親」になって 家庭で観察してから 来月、多摩川に放流		河川	生物	その他
0176	920110	A	青梅市	景観保持に建物のガイドライン策定へ 高さや色を規制周囲と調和図る		市街地	景観	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0177	920113	T	秋川/ 檜原村	秋川上流 台風の後遺症重くヤマメ漁ピン 手 埒が不明な河川に産卵できず		河川	生物	その他
0178	920114	Y	浅川/ 三鷹	手をつなぐ女たち きれいな川を残したい 年4回水質検査流域住民と協力		河川	水	保護
0179	920114	A	野川/ 三鷹	戻って来るよう大切に育てて 川の産卵 飼育後、野川に放流 自然や環境考えて		河川	生物	その他
0180	920115	M	野川/ 三鷹	大きく育ててね サケの稚魚を無料配布		河川	生物	その他
0181	920116	A	西多摩/ 秋留台	埋蔵文化財事前調査を 秋留台開発地域 研究者ら近く都に申し入		丘陵	文化財	保護
0182	920115	A	高尾/ 八王子市	圏央道へ思惑絡む 緑を守るか問われる 市政		山地	緑	開発
0183	920116	A	八王子市	処分場94年に満杯 遅れが目立つ市の減 量対策		市街地	ごみ	廃棄
0184	920119	A	落合川/ 東久留米市	ホケドジョウの保護問題 落合川から成 「話し合いがない」住民団体は不満		河川	生物	保護
0185	920120	M	全国河川地 区	川を水路にしないで 潤いや生き物尊重5 人に4人が望む		河川	その他	その他
0186	920121	M	落合川/ 東久留米市	事務所側が強制着工 「ドジョウ守れ」と 市民抗議		河川	生物	開発
0187	920121	A	落合川/ 東久留米市	落合川の改修工事再開 ホケドジョウが保護運動の住民 警告の立て看板		河川	生物	開発

記事 N o .	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N o .	エリア	対象	行為
0188	920221	A	日の出町	日の出町の次期処分場建設 広域組合町に協力要請		丘陵	ゴミ	開発
0189	920122	M	多摩市	みんなでごみ問題を考えよう		市街地	ゴミ	その他
0190	920123	M	野川流域	「水みちマップ」で地下水への関心アップ		河川	水	保護
0191	920124	M	浅川/ 八王子市	子供たちが環境会議 浅川の空き缶拾いも		河川	その他	その他
0192	910125	A	多摩川	カワウ大群駆除で論争 都の検討委、近く討論		河川	生物	その他
0193	910126	二	野川流域	水みちマップ試作 調布などの住民団体 野川流域を調査		河川	水	保護
0194	920126	T	野川流域	野川流域の地下水脈マップ作る 3 団体湧水保護、保全へ3年の労作		河川	水	保護
0195	920127	T	野川	湧水や緑地を守る 行政に働きかけ買い上げ		河川	水	保護
0196	920129	Y	檜原村	都民の森 永久閉鎖を みどりの推進委有志 知事に連名意見書		山地	緑	保護
0197	920130	M	刈寄川/ 五日市町	粉塵が楽園を壊す		河川	生物	その他
0198	920131	A	五日市町	こんな駅舎どうかな 住民ら近く町に提案		市街地	その他	その他

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0199	920201	Y	多摩地区	各市で見直しの動き 不燃物と可燃物分別収集に支障		市街地	その他	その他
0200	920204	A	多摩川/ 狛江	「武蔵野の路」の工事費 当初予算に盛らず		河川	緑	開発
0201	920205	A	野川地域	武蔵野の地下水地図に 貴重な資源関心を市民団体、3年かけ調査		河川	水	保護
0202	920206	A	玉川上水	無理なく歩き15周年 玉川上水自然道を 歩く会、清流復活の原動力にも		河川	水	保護
0203	920209	A	日野市	チョウ5種類姿を消し/6種絶滅寸前 開発で成育環境悪化		市街地	生物	保護
0204	920211	Y	野川流域	野川流域を3年間調査 地下水の流れ地図に		河川	水	保護
0205	920213	Y	日の出町	環境悪化と公害の不安 受入れを巡り根強い反発の声		丘陵	その他	その他
0206	920213	A	千川上水/ 豊島区	千川上水 よみがえる水辺の風景 暗渠を掘り川に		河川	水	保護
0207	920214	T	八王子市	中大グラウンド拡張、ゴー 都自然保護審審が許可答申		丘陵	緑	開発
0208	920215	T	多摩川	安易なサケの放流は慎んでいま生息する魚 類を選ぼう		河川	生物	その他
0209	920215	ア	野川流域	地下水のナゾに調査のメス 自然や人間育む貴重な「資源」		河川	水	保護

記事 N o .	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記 事 見 出 し	掲載記事関係 団体N o .	エリア	対象	行為
0210	920216	Y	日の出町	予想よりも早く寿命 根本的解決へ再資源化がカギ		丘陵	ゴミ	開発
0211	920216	A	平井川	自然生かした川づくり模索 住民の要望に都が工法変更		河川	緑・生物	開発
0212	920216	A	五日市町	町も大気汚染調査へ 住民団体「一歩前進、今後見守る」		丘陵	その他	その他
0213	920218	Y	多摩地区	今こそ自治体の団結を 実務レベルの声政策に組み入れ		市街地	その他	その他
0214	920218	T	千川上水/ 豊島区	千川上水に「清流」復活へ 暗渠掘り返し		河川地域	水	保護
0215	920219	A	五日市町	五日市丘陵開発 自然保護団体が 代案揚げ反対		丘陵	生物・緑	保護
0216	920220	A	東村山市	計画変更し自然環境生かせ 市民団体が提案		丘陵	水・緑	保護
0217	920223	Y	五日市町	五日市・横沢入地区の宅造計画 「貴野自然と共存」市民団体が擁護プラン		丘陵	生物・緑	保護
0218	920227	Y	東大和市	「貴野自然の状況」多摩湖周辺調査へ		丘陵	生物・緑	その他
0219	920229	了	高尾山	高尾山麓に住む外国人が金北羅山開墾反対運動を展開		山地	緑	保護
0220	920314	A	秋川市	山にはオオタカカ野にシユンラン あす秋川菅生地区で 開墾日に自然観察会		丘陵	緑・生物	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0221	920318	A	日の出町	厚生省都に調査指示 不感募らす住民 第二処分論議に波紋		丘陵	ゴミ	開発
0222	920321	ア	落合川/ 東久留米	人口飼育されているホトケドジョウ 野生に戻れるか疑問		河川	生物	保護
0223	920321	ア	平井川	平井川の河川改修 都は「多自然型川づく り」を理解していい?		河川	生物	開発
0224	920323	T	東中野	自然破壊ゆるさぬと集会 中大キヤンパスで学生ら		丘陵	生物	保護
0225	920328	A	仙川/ 三鷹市	河川改修で消滅した仙川の水源 夕水保全地区に指定		河川	水	保護
0226	920329	T	秋川市	東京つ子に救いの手 開発に追われるトウキョウサンショウウオ		丘陵	生物	保護
0227	920331	A	全国	酸性雨 国内でも恒常的 88-90年度環境庁調査各地で悪化の兆し		山地	その他	調査
0228	920401	K	鶴見川/ 町田市	水ぬるむ ひっそり町田の奥		丘陵	水	その他
0229	920402	K	鶴見川/ 町田市	谷戸田 多すぎたほどの水		丘陵	水	その他
0230	920403	K	鶴見川/ 町田市	泉「ハヤの里」支えて		丘陵	生物	保護
0231	920404	K	鶴見川/ 町田市	泉 因縁のある川崎水道		丘陵	水	その他

記事 No.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体No.	エリア	対象	行為
0232	920407	K	鶴見川/ 町田市	分水嶺 取り残された思い		丘陵	その他	その他
0233	920408	A	平井川/ 秋川市	平井川改修工事 一時凍結を要望		河川	生物	保護
0234	920408	K	鶴見川/ 町田市	分水嶺 小田急延伸の動き		丘陵	緑	開発
0235	920415	K	鶴見川/ 町田市	守る 都政の役回り期待		丘陵	緑、水	保護
0236	920415	K	鶴見川/ 町田市	農業 後継者なく先細り		丘陵	その他	その他
0237	920416	K	鶴見川/ 町田市	境界 管理者なお不在		丘陵	水	その他
0238	920421	K	鶴見川/ 町田市	経歴 政治取引で東京へ		丘陵	その他	その他
0239	920422	A	青梅市	長洲丘陵で自然観察会 開発からどう守るかも討議		丘陵	生物	保護
0240	920422	K	鶴見川/ 町田市	関心 下流からのエール		河川	水、緑	保護
0241	920423	K	鶴見川/ 町田市	流域人 心の中の水系地図		河川	景観	保護
0242	920508	T	東京都	開発から野生動植物守ろう 「レッドデー ータブック」づくりへ 都が本格調査			生物	保護

記事 N o.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N o.	エリア	対象	行為
0243	920518	T	野川	野川の原っぱ残そうくじら山フェスタ 市民ら川を清掃、交流		河川	緑	保護
0244	920519	A	日の出町	井戸水汚染高まる不安 日の出町廃棄物処分場汚水漏れ?		丘陵	水	その他
0245	920527	Y	府中市	府中の井戸水汚染広がる トリクロロエチ レン暫定基準値超え半数の5本		市街地	水	その他
0246	920528	A	府中市	汚染した井戸を埋め立てないで 30日府中市民らがシンポ		市街地	水	その他
0247	920530	T	多摩地区	7日一斉に水質調査 自治体や市民団体 多摩川や荒川水系で		河川	水	その他
0248	920531	T	府中市	井戸のトリクロロエチレン汚染広がる? 府中でシンポ市民団体が調査報告		市街地	水	その他
0249	920531	サ	府中市	汚染にフタ 反対 府中の市民団体の関係者招きシンポ		市街地	水	その他
0250	920531	Y	府中市	地下水汚染広がる府中市 無策10年 行政に批判の声		市街地	水	その他
0251	920601	Y	府中市	府中の地下水汚染拡大問題 市、対策会議設置の方針		市街地	水	その他
0252	920602	A	秋留台地/ 西多摩	オオタカ舞う秋留台地守ろう 開発見直しを提言		丘陵	生物	保護
0253	920605	A	都内河川	清流復活へ広がる輪 きょうから環境週間 一斉に河川水質調査		河川	水	保護

記事 N○.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N○.	エリア	対象	行為
0254	920617	Y	野川	万緑の中感慨は深く 進む都市化 見守る市民		河川	緑	保護
0255	920618	Y	野川	光の乱舞へ願い込め 豊かな自然を守る「村民」		河川	生物	保護
0256	920620	T	朝霞浄水場 /朝霞市	都の水道水から農薬 290万人に供給の朝霞浄水場		市街地	水	その他
0257	920623	M	府中市	「地下水会議」設置 汚染調査や防止策検討		市街地	水	調査
0258	920623	A	府中市	地下水汚染対策会議を設置 都と協力して調査研究		市街地	水	調査
0259	920626	A	多摩地区	三多摩処分組合 ゴミ3割減量要求へ 27市町向け年内に基本計画		丘陵	その他	その他
0260	920627	T	日の出町	母子鷹に開発のキバ 「安住の地、そっとして」		丘陵	生物	保護
0261	920627	ア	残堀川	カモの住める川に・・・「付近住民が要望 書提出」河川改修に原因?		河川	生物	保護
0262	920627	A	日の出町	灰色診断いらいだつ住民 日の出処分場 汚水漏れ疑惑 都の調査		山地	ゴミ	開発
0263	920629	T	八王子市	市民ら熱心に討論 八王子 東京ホタル会議開く		丘陵	生物	保護
0264	920629	T	府中市	汚染井戸を埋めないで		市街地	水	その他

記事 N o .	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記 事 見 出 し	掲載記事関係 団体N o .	エリア	対象	行為
0265	920630	A	日の出町	住民の疑惑ぬぐえず 広域処分組合の水質調査結果 組合側事実上の安全宣言		山地	ゴミ	開発
0266	920702	Y	日の出町	谷戸処分場「調節地の水も処理を」日の出町有望、組合了承		山地	ゴミ	開発
0267	920702	Y	多摩地域	自然保護団体手をつなごうネットワーク5月旗揚げ		全部	水・緑 生物	保護
0268	920702	M	多摩地域	多摩の自然保護団体集まれ 独自ネットワークで情報交換		全部	水・緑 生物	保護
0269	920703	N	五日市町	自然保護に重点 宅地は30% 五日市町横沢入開発を公表		丘陵	緑	開発
0270	920703	T	多摩地域	多摩地区の自然保護団体ネットワークを結成		全部	水・緑 生物	保護
0271	920703	T	八王子市	大量に産業廃棄物不法投棄 八王子ニュー タウン造成地 土中に埋めた形跡も		丘陵	ゴミ	その他
0272	920705	A	保谷市	夏涼しく冬暖かい 屋敷林効果		市街地	緑	保護
0273	920705	A	多摩地域	自然保護団体が結束 三多摩自然環境センターきょう旗揚げ		山地・河川・丘陵 市街地	水・緑 生物	保護
0274	920711	Y	多摩地域	街づくりなどテーマの「TAMAがいよ21」事業 自然保護団体が是非論		山地・河川・丘陵 市街地	その他	その他
0275	920712	Y	平井川	平井川「工事中止」を申し入れ 住民ら都建設事務所に		河川	生物	保護

記事 N O .	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N O .	エリア	対象	行為
0276	970712	A	平井川	平井川改修で都に抗議文提出 秋川の自然保護団体		河川	その他	保護
0277	970714	Y	平井川	自然残す工法検討 平井川 都きょう委員会設立		市街地	生物	その他
0278	970716	Y	平井川	検討委審議の公開希望 平井川改修で住民団体		河川	生物	保護
0279	920731	N	平井川	善意が仇 平井川護岸工事で崩壊 西建「魚道設置を目的」		河川	その他	その他
0280	920802	A	平井川	都の回答送り返す 平井川工事で住民団体		河川	その他	その他
0281	920804	T	平井川	平井川「川岸崩壊は住民側のせい」		河川	その他	その他
0282	920816	T	八王子市	「水と緑」の高度業務都市めざす		市街地	水・緑	その他
0283	920819	A	国立市	リサイクルへの関心アップ狙う アパ空き缶3個で7メ「トトロ」を見よう		市街地	その他	その他
0284	920819	M	府中市	街のシンボル ケヤキを守れ 府中市民が保護の会結成		市街地	緑	保護
0285	920821	ト	多摩地区	市民の側の政策立案向上へ 情報の交流・共有化をめざす		河川	生物 水・緑	保護
0286	920823	A	保谷市	借地公園「碧山森」残った 住民の熱意通じる		市街地	緑	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0287	920825	ト	多摩地区	情報センター的役割 欲しい複数のネットワーク		河川	水 生物・緑	保護
0288	920831	A	多摩地区	多摩の地下水脈解明しよう 流水経路をまとめ「水みちMAP」も		市街地	水	その他
0289	920903	M	多摩川	「多摩川に安定水量を」		河川	水	利用
0290	920904	Y	町田市	" 聽える水辺へ・10年計画" 生活排水対策協が答申		河川	水	保護
0291	920908	T	八王子市	八王子らしい景観をつくろう 基本計画を策定 緑地、歴史の消失に歯止		市街地	景観	保護
0292	920910	M	都内	都内の清掃7工場調査 ダイオキシシンが増加傾向		市街地	水	その他
0293	920911	T	東村山市	トトロ悲鳴 森が覆される 市が「人工公園」工事再開へ		丘陵	緑・生物	保護
0294	920912	A	日の出町	日の出の平井丘陵開発 計画の再検討を求 め 市民団体が都に要望		丘陵	生物	保護
0295	920915	T	野川	小金井の「野川」に38年ぶり アユ戻る		河川	生物	その他
0296	920917	A	東大和市	雑木林に寄せる市民の思いは？		丘陵	緑	保護
0297	920920	Y	秋川	" 母なる川" 秋川の詞を 流域合唱連合が公募		河川	その他	その他

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0298	920920	Y	秋川	走りながら考えよう 秋川(武蔵野)に清流を 放流ヤママメ里親も募る		河川	生物	その他
0299	920922	A	東村山市	東村山の「北山公園」整備 市側が工事を再開 住民の反対押し切って		丘陵	生物・緑	開発
0300	920923	A	多摩地区	圏央通・ごみ処分場問題 環境考える77- 26日市民団体が計画		丘陵	その他	その他
0301	920925	Y	小金井市	「恋物語」が救った自然 「武蔵野夫人」の舞台都の保全緑地に		丘陵	緑	保護
0302	920926	サ	仙川	よみがえられ仙川の清流 住民の協力で2千 戸の雨どいに浸透マス設置		市街地	水	利用 保護
0303	920926	T	東村山市	東村山の北山公園改造成業 反対住民が美力阻止		丘陵	生物・緑	保護
0304	920926	T	五日市町	「横沢入」を守れ！ 五日市町の自然保護 団体に署名簿を提出		丘陵	水 生物・緑	保護
0305	920929	ト	五日市町	五日市・横沢入は緑地として整備を		丘陵	水・生物 緑	保護
0306	9211002	ト	秋留台	都議会質問戦 秋留台「整備計画」策定時期明示せず		丘陵	緑	開発
0307	921002	Y	国分寺市	「水みち」守りわく泉 雨水浸透柵でカンプル		市街地	水	保護
0308	921002	Y	石神井川	郷愁の清流を子孫に 水質調査やコイ放流も		河川	水 生物	保護

記事 No.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体No.	エリア	対象	行為
0309	921003	T	五日市町	また東京から一つ消える 懐かしい童謡の風景		丘陵	景観	開発
0310	921005	T	多摩地区 日の出町	多摩地区に「ごみ減量指令」組合が割当量 提示		丘陵 市街地	ゴミ	廃棄
0311	921005	A	五日市町	ゴミ掃除五日市の林道 関東各地から62人 2時間たらず1トントラック2台分		丘陵	その他	その他
0312	921006	ト	府中市	汚染発見後も放置 汚染物質 揚水して 地上に排除せず		市街地	水	その他
0313	921009	ト	府中市	三鷹市との対応に差 地下水を重要水源と位置づけ		市街地	水	その他
0314	921013	ト	府中市	地下水を切り捨て 水道水源の河川転換計画で		市街地	水	その他
0315	921018	A	西多摩地区	3ヶ国のプランナー 奥多摩イメージ -ジョン終了 自然景観重視の開発強調			景観	その他
0316	921018	Y	八王子市	自然いかした街づくり 整備進む八王子ニュータウン				その他
0317	921019	T	多摩地域	水をテーマに新刊が2冊 けやきブックレット		市街地	水	保護
0318	921020	ト	府中市	自治体のやる気の問題 抜本的な調査と対策を		市街地	水	その他
0319	921023	ト	野川流域	井戸と湧泉と地下水を守るために 水みち探りマップ作成			水	保護

記事 No.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体No.	エリア	対象	行為
0320	921023	A	多摩地域/ 日の出町	「5年で35%カットを」 27市町村にごみ減量要求		市街地 丘陵	ごみ	開発
0321	921030	ト	多摩地区/ 日の出町	広域処分組合が減容化計画まとめる 搬入団体の配分量定める		市街地 丘陵	ごみ	開発
0322	921107	A	西多摩地域	なぜ日本にカオログロガビチヨウ 西多摩の森に珍鳥を探そう		丘陵	生物	その他
0323	921110	T	町田市	「環境重視」を前面に 町田市審議会、基本構想案の中間報告		丘陵 市街地	緑	その他
0324	921115	T	日の出町	水路の泥から高濃度亜鉛 住民に調査結果説明		丘陵	水	調査
0325	921117	ト	日の出町	土壌・井戸水から重金属・洗剤を検出 調査結果を地元説明		丘陵	水	調査
0326	921205	T	狭山丘陵	団地買収進む 野山北・六通山公園 都内最大の憩いの場に		丘陵	緑	保護
0327	921206	A	西多摩地区	自然保護・林業「西多摩の森」保全で連携		山地 丘陵	緑	保護
0328	921221	T	町田市	雑木林保全を市長に提案 多くの動植物が生息		丘陵	緑	保護
0329	921222	ト	日の出町	性急な安全宣言 食い違ふ水質調査結果		丘陵	水	調査
0330	921225	T	多摩地域	都が多摩の「3緑地」を保全地域に指定		丘陵	緑	保護

記事 N○.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N○.	エリア	対象	行為
0331	921227	A	多摩地域	中央線の複々線・立体化事業 総論賛成も難問山積み		市街地	交通	開発
0332	921228	T	多摩地区/ 日の出町	多摩地区でも深刻 日の出町の処分場平成6年度には一杯		市街地 丘陵	ゴミ	開発
0333	921228	A	西多摩地区	オオタカを守る 西多摩地域の保護団体発足		丘陵	生物	保護
0334	930101	S	多摩地区	まず「多摩川博物館」の建設		市街地	文化財	開発
0335	930101	T	多摩地区	多摩圏へのシナリオ 東京移管百年		市街地	その他	開発
0336	930101	T	多摩地区	2013年「多摩県」が誕生 過去・現在・未来の人口		市街地	その他	開発
0337	930101	S	多摩地区	多摩という原風景 多摩は大きくまとまるとき		市街地	その他	保護
0338	930105	T	多摩地区	天領の地が培う 中央の邪魔もの扱いに反発		市街地	文化財	保護
0339	930105	ト	小金井市	野川の朝		河川	水	保護
0340	930106	T	多摩地区	高まる合併機運 難しい単独での基盤整備		市街地	その他	開発
0341	930109	Y	三鷹一立川	中央線の増設・地下方式採用 JR複々線立体化		市街地	その他	開発

記事 N o .	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N o .	エリア	対象	行為
0342	930107	Y	町田市	自然利用の活用10条 町田の野津田公園東側地区整備		市街地	緑	開発
0343	930107	T	多摩地区	優秀な人材生かせ 地域と企業の相互理解も		市街地	その他	開発
0344	930108	ト	日の出町	処分場を疑うのは科学の鉄則 町は住民との信頼関係得る役割を		市街地	水	保護
0345	930108	二	多摩地区	沿線再開発に遅れ 97年度開業を危ぶむ声も		市街地	その他	開発
0346	930108	T	八王子市	進む学園都市建設 広がる市民と学生の交流		市街地	文化財	保護
0347	930109	S	多摩地区	絵になる風景・息づくまち		市街地	緑・景観	保護
0348	940109	S	多摩地区	次の100年へ 大きな目標		市街地	その他	保護
0349	930109	T	多摩地区	分別収集の徹底へ リサイクル定着がカギ		市街地	その他	その他
0350	930110	A	多摩地区	地域福祉計画策定進む 住民の意見反映がカギ		市街地	その他	その他
0351	930112	T	西多摩地区	交通網の整備急務 募る都市基盤への不満		市街地	その他	開発
0352	90113	A	日の出町	青柄材復活に意気込む 森林組合と製材業者活性化へ手結び運営		市街地	生物	利用

記事 No.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体No.	エリア	対象	行為
0353	930113	Y	浅川・ 寺沢川	野鳥保護求め市長らに要望書		河川	生物	保護
0354	930113	T	東京都	都会のオアシス、わき水を枯らすな!		市街地	水	保護
0355	930114	二	秋留台地区	多摩地区の大型農業公園「秋留台地域」が 最有力		市街地	緑	開発
0356	930114	T	多摩地区	主要通の不足顕著、自立都市への妨げ要因 に		市街地	その他	開発
0357	930114	Y	三鷹市	サケのぼる野川めざして 稚魚1万匹無料配布		河川	生物	保護
0358	930115	T	多摩地区	地域と鉄道縦に結ぶ モノレール建設に期待		市街地	その他	開発
0359	930116	T	町田市	「鉄道移管」背景に複雑な事情		市街地	その他	保護
0360	930116	S	西多摩地区	365万人参加のたまづくり 他		市街地	その他	保護
0361	930116	S	西多摩地区	地域文化の「拠点」に 他		市街地	その他	開発
0362	930116	S	西多摩地区	わがまちに貢献できる私に 他		市街地	その他	保護
0363	930116	T	多摩地区	多摩の住民運動 70年以降生活色強く		市街地	文化財	保護

記事 No.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体No.	エリア	対象	行為
0364	930117	T	秋留台	企業誘致住宅地造成 西部にも広がる		市街地	その他	開発
0365	930117	A	府中市	サケの里親になって!		河川	生物	保護
0366	930119	A	秋川市	秋川市政の課題 見えない「市民の声」		市街地	その他	開発
0367	930119	ト	多摩地区	8月に水郷水都全国会議 舞台の新編		市街地	水	保護
0368	930120	Y	秋川市	秋川市政の課題 買い物客を呼び戻せ		市街地	その他	開発
0369	930120	T	多摩地区	自然復元に力点置き 職住接近などを推進		市街地	文化財	保護
0370	930121	A	保谷市	「緑 もう減らさない」		市街地	緑	保護
0371	930121	T	多摩地区	「日本の自治」発祥の地 独立し「多摩県」創設を		市街地	その他	開発
0372	930121	Y	秋川市	秋川市政 気がかり不景気の陰		市街地	その他	開発
0373	930121	Y	八王子市	八王子のリサーチパーク建設 公聴会 反対意見続出		市街地	その他	開発
0374	930122	M	羽村市	緑を照らせ ホタルの灯り		市街地	生物	開発

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0375	930122	T	多摩地区	高齢者に住みやすい町づくり重要課題に		市街地	その他	利用
0376	930123	T	多摩地区	歴史的遺産を未来へ保存する機能が必要		市街地	文化財	保護
0377	930123	S	多摩地区	グローバルな視点で地域活動を 他		市街地	景観	保護
0378	930123	T	多摩地区	市民自治のあり方 人口にふさわしい組織を		市街地	景観	開発
0379	930124	T	東京都	生産緑地の追加指定を		市街地	緑	保護
0380	930126	サ	東村山市	望まれる北山公園整備		市街地	緑	開発
0381	930127	ト	日の出町	夢の森、ゴミが埋まれば「文化の森」？		丘陵	ゴミ	廃棄
0382	930129	T	境川 町田市	「朝食」を楽しむカモたち		河川	生物	保護
0383	930128	Y	多摩地区	進んでみたものの・進まない住民交流		市街地	文化財	利用
0384	930129	T	国分寺市	ポイ捨てに泣く生き物たち		河川	生物	保護
0385	930201	ト	日の出町	心もとないゴムシート 「国基準」だけが頼りの安全性		丘陵	ゴミ	廃棄

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0386	930202	Y	小金井市	自然生かした「美術の森」に		市街地	緑	開発
0387	930202	Y	保谷市	「緑保全基金の創設を」		市街地	緑	保護
0388	930203	A	西多摩地区	オオムラサキ 西多摩の生息調査参加しませんか		市街地	生物	保護
0389	930204	M	西多摩地区	西多摩のみどりの健康度 オオムラサキでチェック		市街地	生物	保護
0390	930205	ト	日の出町	不十分な調査結果 逆に住民の不安つる		市街地	その他	保護
0391	930206	T	多摩地区北	自然破壊に歯止めを		市街地	生物	保護
0392	930209	Y	武蔵野市	武蔵野の自然を守ろう 保全地域に奨励金		市街地	緑	保護
0393	930209	ト	日の出町	早期収束急ぐ町長		市街地	その他	保護
0394	930212	ト	日の出町	飲めなくなつた井戸水 処分場の影響とみるのが自然		市街地	水	保護
0395	930212	ト	多摩地区	多摩21くらしの祭典 都の参加事業決まる		市街地	その他	保護
0396	930213	M	秋川市	小さな冬撮り続け・・・ 秋留台地の自然美表現		市街地	生物	保護

記事 N o.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N o.	エリア	対象	行為
0397	930213	S	町田市	「雑木林のある風景」を 考えるトーク		市街地	緑	保護
0398	930214	A	青梅市	西多摩で野生動物 受難増える		市街地	生物	保護
0399	930214	Y	多摩地区	市街化区域の農地 「保全」と「開発」秩序よく		市街地	緑	保護
0400	930215	T	大島町	大島 愛宕山の森林保護を		山地	生物	保護
0401	930216	T	五日市町	林業の存続に危機感 後継者がいない		山地	生物	利用
0402	930216	T	真高尾	真高尾で炭焼き体験		山地	生物	利用
0403	930216	ト	谷戸川 日の出町	調整地から汚染物質検出		市街地	水	保護
0404	930218	T	多摩川支流 奥多摩川	多摩川支流いカジカ放流		河川	生物	保護
0405	930218	T	国分寺市	J R中央線の高架、複線化 地下方法など全体計画示す		市街地	その他	開発
0406	930219	ト	多摩地区	ほかにも土地はあるが		市街地	その他	開発
0407	930219	T	武蔵野市	武蔵野市の宅地開発指導要綱の違法判決		市街地	その他	開発

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0408	930220	A	八王子市	歌声で心も体も輝いて		市街地	生物	利用
0409	930223	ト	日の出町	迷惑料年間3億3千万円も		丘陵	ゴミ	開発
0410	930223	ト	秋留台	「瀕死」の丘陵地を見た		丘陵	緑	保護
0411	930223	ト	秋留台	坂浜・平尾地区と秋留台地域整備柱に		丘陵	その他	開発
0412	930223	T	日野市	小笠原沖でクジラを見よう 日野市が参加者募集		その他	生物	利用
0413	930224	T	国立市	佐野書院 取り壊し始まる		市街地	文化財	保護
0414	930224	T	西国分寺市	公的住宅を2070戸 戸が整備計画		市街地	その他	開発
0415	930226	Y	調布市	ひしめくハイテク企業 電脳都市		市街地	その他	開発
0416	930227	Y	八王子市	大学・短大地域を視野に		市街地	その他	利用
0417	930227	ア	五日市町	蘇る貴重な遺跡の宝庫		山地	文化財	保護
0418	930301	二	多摩川	近自然型河川工法		河川	水	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0419	930302	A	立川市	開業「黄信号」の多摩都市モノレール		市街地	交通	開発
0420	930303	A	高尾	高尾山トンネルの測量終了		山地	交通	開発
0421	930303	A	三鷹一立川	高架化住宅移転で質疑		市街地	交通	開発
0422	930304	Y	八王子市	今年度の説明会を断念 八王子市裏高尾地区 泉央通建設で国側		山地	交通	開発
0423	930305	Y	町田市	浮遊物漂う「金妻の街」		市街地	景観	開発
0424	930305	M	八王子市	クロムヨウランみつけた!		市街地	生物	保護
0425	930305	T	多摩市	「せっけんの話」を発行		市街地	生物	利用
0426	930306	Y	町田市	「新田」溶け合う故郷へ		市街地	景観	利用
0427	930306	了	小金井市	名勝小金井桜の復活へ		市街地	水	保護
0428	930306	Y	秋川市	大規模開発計画進む秋留台地域 貴重な自然守ろう		市街地	緑	保護
0429	930306	Y	秋川市	開発計画進む秋留台 「貴重な自然をみて」		市街地	緑	保護

記事 N○.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N○.	エリア	対象	行為
0430	930306	M	多摩地区	「地域から環境行政考えよう」		市街地	水	保護
0431	930307	Y	武蔵野市	マツの幹 「20年前の公害」はつきり		市街地	生物	保護
0432	930307	Y	田無市	ストップ!環境破壊		市街地	生物	保護
0433	930308	T	日の出町	廃棄物処分場 遮水工法 見直しへ		山地	ゴミ	開発
0434	930308	T	檜原村	都民の森 100台集客の駐車場確保		山地	緑	利用
0435	930308	Y	田無市	連携深め自然守ろう		市街地	生物	保護
0436	930308	M	福岡市	環境政策N○1は福岡市		市街地	生物	保護
0437	930311	M	秋川市	「絶滅の恐れ」トウキョウサンショウウオ		市街地	生物	保護
0438	930312	ト	秋留台	空撮ビデオを見ながら検証		市街地	景観	保護
0439	930312	ト	日の出町	第2処分場「建設促進決議を」		山地	ゴミ	保護
0440	930313	T	五日市町	動植物の宝庫「横沢入」を守れ!		山地	生物	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0441	930313	ア	日の出町	環境汚染だ 日の出広域ゴミ処分場		山地	ゴミ	開発
0442	930315	サ	東村山市	農業を理解する場を		市街地	緑	保護
0443	930316	T	中小河川	「緑化や浸透性舗道で地下水涵養」		市街地	緑	開発
0444	930316	Y	多摩地区	地域振興 「変身」計画行き悩み		市街地	その他	開発
0445	930316	A	多摩地区	生産緑地の追加指定 自治体で対応に差		市街地	緑	開発
0446	930316	M	多摩地区	TAMAらいふ21 官製シヨローが独り歩き		市街地	その他	開発
0447	930316	T	府中市	多摩霊園 アカマツ大ピンチ		市街地	緑	保護
0448	930316	ト	日野市	「革新市政の崩壊は宝くじの集団買い」		市街地	その他観	開発
0449	930317	Y	府中市	環境害さぬ便利さを		市街地	その他	開発
0450	930317	Y	武蔵野市	庭の大木悩みのタネ 「落ち葉」「日照」隣家に気遣い		市街地	緑	保護
0451	930317	M	武蔵野市	よみがえれ 武蔵野の面影		市街地	緑	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0452	930317	T	八王子市	トウキョウガクシヨウカイ 今年も八王子市で産卵		丘陵	生物	保護
0453	930317	Y	秋留台	都が巨大開発計画		丘陵	生物	開発
0454	930317	Y	秋留台	丘陵の4割も開発		丘陵	緑	開発
0455	930318	Y	多摩地区	宅地転用に難問山積		市街地	緑	開発
0456	930319	Y	昭島市	横田基地 論議呼ぶ民間空港化		市街地	景観	開発
0457	930319	Y	多摩地区	絶滅心配なトウキョウガクシヨウカイ 生体調査実施へ		市街地	生物	保護
0458	930320	Y	日野市	ゴミ問題 空回りの減量号令		市街地	ゴミ	開発
0459	930321	Y	多摩地区	ドームの夢 膨らんんだりしぼんだり		市街地	その他	開発
0460	930323	ト	秋留台	秋留台地域統合整備計画 パ-クエ- 市街地整備が浮上		丘陵	その他	開発
0461	930323	Y	多摩地区	高齢者対策 生きがいほどこに		市街地	生物	保護
0462	930327	ア	福生市	人災で増える動物たちの悲劇		市街地	生物	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0463	930330	ト	日野市	自然環境循環システムを構築		市街地	緑	保護
0464	930403	A	秋留台	環境と活性化 難題並立		丘陵	緑	開発
0465	930403	A	秋留台	反対と期待 「最後の大開発」		丘陵	生物	保護
0466	930403	ア	西多摩地区	西多摩地区絶滅のピンチ 材料は丹		山地	生物	保護
0467	930403	A	秋留台	秋留台に15万人の街		丘陵	景観	開発
0468	930403	Y	秋留台	秋留台地域総合整備計画 いよいよ始動		丘陵	景観	開発
0469	930403	A	東京都	魚たちの姿 どの川にも見えないいいね		河川	水	保護
0470	930406	T	府中市	馬場大門 けやき並木守ろう		市街地	緑	保護
0471	930407	A	国分寺市	国分寺 鉄道学園跡地の再開発		市街地	景観	開発
0472	930503	ト	秋留台	富士通 秋川開発センター建設がスタート		市街地	景観	開発
0473	930514	T	三鷹一立川	高架 複々線化へ		市街地	交通	開発

記事 N o .	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N o .	エリア	対象	行為
0474	930415	ア	五日市町	多摩の産業史を知る貴重な遺跡		山地	文化財	保護
0475	930416	T	東村山市	北山公園の緑守ろう		市街地	緑	保護
0476	930417	ア	八王子市	探石場へ・・・安眠妨げる 「戦車の進軍」		市街地	その他	保護
0477	930417	ア	八王子市	「危険満載」事故ととなり合わせ		市街地	その他	保護
0478	930417	ア	奥多摩町	かつての雑魚は、いまは高級魚		市街地	生物	保護
0479	930423	ト	東京都	「持続可能な開発」へ貢献		市街地	水	開発
0480	930430	T	国分寺市	故 浜野氏の標本4000点公開		市街地	生物	保護
0481	930501	S	多摩地区	緑のある風景を考える		市街地	生物	保護
0482	930503	A	国分寺市	鉄道学園跡地の再開発ー一社社誌で議論		市街地	水	利用
0483	930507	ト	八王子市	T A M A といふ2 I オープニング・シボを開催		市街地	文化財	保護
0484	930507	ト	秋留台	「マスタープラン」ーどは目的と意味もつか		市街地	景観	開発

記事 N o .	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N o .	エリア	対象	行為
0485	930507	Y	多摩地区	清流復活市民運動の先駆け実り 懐かしいせせらぎの音		市街地	水	保護
0486	930507	Y	武蔵野	雑木林散策「森のこみち」「せせらぎの みち」		市街地	緑	利用
0487	930508	ア	町田市	多摩移管の100年を語る		市街地	景観	保護
0488	930508	Y	立川市	魅力あふれる特別講座		市街地	景観	利用
0489	930508	ア	五日市市	フィールドクリーン大作戦		山地	ゴミ	保護
0490	930508	ア	秋留台	地下水脈への影響も甚大		市街地	水	保護
0491	9300511	ト	秋留台	一切の財政計画なし		丘陵	緑	開発
0492	930511	ト	多摩川	”多摩は多摩でくれない”「流域」でゾ ーニング		市街地	景観	開発
0493	930513	ト	川崎市	初夏 多摩川はコイの季節		河川	生物	保護
0494	930514	ト	秋留台	本来の雑木林も残す オオタカカなど絶滅危機種も		丘陵	生物	保護
0495	930514	ト	秋留台	富士通秋川開発センター建設アセス案を 公示		市街地	景観	開発

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0496	930514	A	日野市	多摩の未来へ 環境保護構想		市街地	緑	開発
0497	930514	A	多摩地区	今月末から住民説明会		市街地	交通	開発
0498	930601	Y	日の出町	汚水漏れの防止策柱に		山地	ゴミ	保護
0499	930601	ト	多摩地区	観光トロッコ電車を		市街地	交通	利用
0500	930601	ト	秋留台	古い地層重なる 古生代～中生代の化石出土		市街地	文化財	保護
0501	930601	A	野川/ 国分寺市	濁水の野川 魚が大量死		河川	生物	保護
0502	930604	Y	奥多摩町	東京多摩学園 ヒツジ飼育で一石二鳥		山地	生物	利用
0503	930604	ト	日の出町	構造・工法等で最終報告		山地	ゴミ	開発
0504	930604	ト	秋留台	秋川流域全体が自然博物館		丘陵	生物	保護
0505	930604	T	黒沢川/ 青梅市	ホテル鑑賞会で幻想的な一夜を		河川	生物	保護
0506	930604	T	日の出町	「安全性」に質問が集中		山地	ゴミ	保護

記事 N o.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N o.	エリア	対象	行為
0507	930605	ア	八王子市	東京に残された保全すべき重要な丘陵		丘陵	生物	保護
0508	930605	ア	八王子市	「川口リサーチパーク」建設反対運動 高まる		丘陵	緑	保護
0509	930606	A	日の出町	安全論議残り 建設へ傾く		山地	ゴミ	開発
0510	930607	Y	青梅市	密漁からオオタカ守れ		丘陵	生物	保護
0511	930608	ト	秋留台	見直し必要な中身		丘陵	緑	保護
0512	930608	A	八王子市	八王子実践高 金比羅山への移転断念		山地	緑	保護
0513	930609	A	三鷹一 立川	住民が撤回求め意見書		市街地	交通	保護
0514	930609	T	野川/ 小金井市	野川濁水 魚アプアップ		河川	生物	保護
0515	930609	M	町田市	古乾電池416トン		市街地	ゴミ	開発
0516	930611	T	秋留台	駅前開発とリンク		市街地	交通	開発
0517	930614	T	日の出町	ごみ問題 カメラで見つめる		山地	ゴミ	開発

記事 N O .	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記 事 見 出 し	掲載記事関係 団体N O .	エリア	対象	行為
0518	930615	ト	平井川/ 秋留台	平井川流域 危ぶまれる水辺環境		河川	緑	開発
0519	930616	Y	小金井市	ペットボトル回収へ		市街地	ゴミ	保護
0520	930616	T	秋留台	地域活性化へ高まる期待		市街地	景観	開発
0521	930618	ト	秋留台	環境上位の開発を		丘陵	緑	保護
0522	930619	ア	八王子市	金刀比羅山は残った		山地	緑	保護
0523	930622	Y	東京都	ゴミ1人当たり収集量は漸減		市街地	ゴミ	開発
0524	930622	ト	秋留台	相も変わらぬ開発手法 緑では食えず、金も出せずと		丘陵	景観	保護
0525	930623	A	日の出町	汚水漏れの防止に重点置き基本設計		山地	ゴミ	開発
0526	930623	A	八王子市	住都公団の研究開発事業団地予定地 オオタカカの営業確認		市街地	生物	保護
0527	930623	T	八王子市	"オオタカカの森" 発見 3匹のヒナすくすく		市街地	生物	保護
0528	930623	T	日の出町	漏水に重点配慮		山地	ゴミ	開発

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0529	930624	A	国分寺市	名水 違い分かるファン通う		市街地	水	保護
0530	930625	ト	秋留台	秋川流域の自然に誇り		丘陵	緑	保護
0531	930625	ト	日の出町	再び高濃度 汚染物質を検出		山地	ゴミ	開発
0532	930626	S	国立市	くにたち 水と緑の景観8選		市街地	景観	保護
0533	930629	ト	日の出町	可能性強まる「ゴムシート破損」		山地	ゴミ	開発
0534	930629	ト	多摩地区	水郷水都全国会議 探しませんか？ 多摩の水		市街地	水	保護
0535	930612	M	八王子市	目に見えぬ”敵” 追い5年		市街地	緑	保護
0536	930711	A	秋川市	トウキョウサンショウウオ 94カ所で生息を確認		丘陵	生物	保護
0537	930711	Y	秋川市	トウキョウサンショウウオ 保全求めて要望書		丘陵	生物	保護
0538	930713	T	残堀川	残堀川に清流取り戻そう		河川	水	保護
0539	930713	T	三鷹市	調布基地対策協 跡地利用で都に要望		市街地	景観	利用

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0540	930713	T	東村山市	東村山市緑条例の一部改正案 反対多数で否決		市街地	緑	保護
0541	930713	ト	日の出町	処分場問題交流集会 全国から約200人参加		山地	ゴミ	保護
0542	930714	ト	立川市	「多摩の課題と明日」 青年男女32人が語る		市街地	景観	開発
0543	930717	ア	日野市	水辺の自然復元		市街地	水	保護
0544	930717	S	多摩地区	多摩に6つの区別を		市街地	景観	開発
0545	930717	Y	平井川	平井川改修新工法説明会 2時間で中止に		河川	緑	開発
0546	930718	Y	府中市	老朽焼却炉、一基づつ改修 ごみ処理大ピンチ			ゴミ	開発
0547	930720	ト	平井川	平井川の多自然型川づくり 設計案説明が疎会		河川	緑	保護
0548	930722	T	八王子市	圏央道の早期実現 八王子市民の会 24日に発足		市街地	交通	開発
0549	930722	Y	秋留台	秋留台開発で「オオムラサキ」 絶滅のピンチ		丘陵	生物	保護
0550	930722	ト	八王子市	移転危惧する地権者 建設省の進め方も批判		市街地	交通	保護

記事 N o.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N o.	エリア	対象	行為
0551	930724	Y	狛江市	憩いの森こんもり		市街地	緑	保護
0552	930726	ト	八王子市	つくる会 24日に設立総会		市街地	交通	開発
0553	930726	T	秋留台	守れ!清流のあかし サンショウウオ		市街地	生物	保護
0554	930727	ト	八王子市	「圏央道建設」市民を二分		市街地	交通	開発
0555	930727	ト	東京都	移管の目的は「水源の滋養」と 「流入の防止」の一字		河川	水	保護
0556	930727	T	世田谷区	立ち木トラスト 全国に根		市街地	緑	保護
0557	930729	A	調布市	「市民利用進む」と歓迎		市街地	景観	利用
0558	930729	M	平井川	考えたい自然の姿		河川	緑	保護
0559	930730	ト	多摩地区	法案は賛成133反対110で可決		市街地	景観	開発
0560	930804	M	西多摩 地区	西多摩94地点で繁殖 トウキョウサンショウウオ		市街地	生物	保護
0561	930805	Y	保谷市	残したい保谷の自然		市街地	緑	保護

記事 N o .	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N o .	エリア	対象	行為
0562	930812	T	野川	カワセミに魅せられて		河川	生物	保護
0563	930813	Y	檜原町	檜原町の”顔”を照らす		市街地	景観	開発
0564	930813	A	八王子市	高いBOD窒素濃度		市街地	水	保護
0565	930814	Y	奥多摩町	「清流の味」復活に期待 カジカ養殖徐々に効果		市街地	生物	利用
0566	930817	Y	奥多摩町	木の香漂う「交流の場」		市街地	生物	利用
0567	930820	ト	平井川	平井川改修 検討会中間報告会の開催 「都」が困難と回答		河川	緑	開発
0568	930821	Y	狛江市	「身近な自然」に心		河川	緑	保護
0569	930824	ト	八王子市	アセスメント手続中断		山地	生物	保護
0570	930825	Y	多摩川	アユの「母なる川」再び		河川	生物	保護
0571	930825	ア	浅川	戦争の遺跡 浅川保存		市街地	景観	保護
0572	930827	T	東久留米市	「緑地縦断道路」再考を		市街地	景観	開発

記事 N o.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N o.	エリア	対象	行為
0573	930827	ト	奥多摩町	都民の森オーブンケ月 利用者わずか450人足らず		市街地	景観	保護
0574	930827	ト	秋留台	秋留台開発推進へ「連絡調整会」発足		丘陵	景観	開発
0575	930901	A	三多摩地区	都公害審 初の調停		市街地	景観	開発
0576	930903	A	多摩地区	「都市農地保全」6割超える		市街地	景観	保護
0577	930903	ト	平井川	計画案説明会の進め方 都側が団体に陳謝		河川	緑	開発
0578	930903	ト	東京都	谷戸処分場問題で初調停		市街地	景観	開発
0579	930903	ト	多摩地区	都市農地の情操教育機能を高く評価		市街地	景観	保護
0580	930904	A	八王子市	反対の市民ら環境庁に要望		市街地	緑	保護
0581	930905	T	秋川市	都自然公園に残土廃棄		市街地	ゴミ	廃棄
0582	930906	A	高尾町	鳥獣類の急減に危機感		市街地	生物	保護
0583	930907	T	多摩地区	農地保全 3分の2が希望		市街地	景観	保護

記事 No.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体No.	エリア	対象	行為
0584	930908	T	三鷹市	宅地の一部 物納で農地守ろう		市街地	景観	保護
0585	930908	Y	多摩川	国立に魚道完成		河川	生物	保護
0586	930908	T	多摩川	3本の魚道完成		河川	生物	保護
0587	930909	A	日の出町	地域振興 安全策を報告		市街地	景観	開発
0588	930910	T	秋川市	砂防指定地に無許可水路も		市街地	景観	開発
0589	930910	Y	武蔵野市	多摩の雑木林 再現しよう		市街地	緑	保護
0590	930910	ト	日の出町	16項目の地域振興案		市街地	景観	開発
0591	930911	Y	秋川市	無届け埋め立ての秋川市 無許可で水路の新設も		市街地	景観	開発
0592	930911	Y	多摩地区	都の建設残土再利用センター 見えぬ開設のめど		市街地	景観	開発
0593	930912	T	三鷹市	湧水の丸池復活へ		市街地	水	開発
0594	930914	Y	八王子市	八王子実践高校の移転先 関係者で開校調整へ		市街地	景観	開発

記事 N O .	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N O .	エリア	対象	行為
0595	930914	ト	秋川市	残土処理で法令違反		市街地	ゴミ	廃棄
0596	930917	Y	八王子市	オオタカ調査団 今月下旬に発足		市街地	生物	保護
0597	930917	A	八王子市	N O 2 汚染マップを作成		市街地	緑	保護
0598	930918	T	東久留米市	環境保全の請願書を採択		市街地	緑	保護
0599	930918	A	立川市	里山の恵みを知ろう		山地	緑	保護
0600	930918	T	八王子市	生態系解求め要望書		市街地	緑	保護
0601	930918	A	野川	水のある景色		河川	生物	保護
0602	930921	ト	秋川市	都市環境条例を制定		市街地	緑	開発
0603	930921	ト	東京都	Jリーグ誘致を支援		市街地	景観	開発
0604	930921	ト	高尾町	社殿移設へ裏工作		市街地	緑	保護
0605	930925	S	多摩地区	雑木林は13年目に伐る		市街地	緑	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0606	930926	T	野川/ 調布市	下水処理場 スポーツ施設に不安の声		河川	水	保護
0607	930928	ト	八王子市	高尾山の前山的存在		山地	緑	保護
0608	930928	M	日の出町	美しい自然と人々の模索描く		市街地	景観	保護
0609	930929	T	多摩地区	半透明ごみ袋、値段、導入方法さまざま		市街地	ゴミ	開発
0610	930929	Y	東村山市	"草の根"測定で市民が警鐘		市街地	緑	保護
0611	930929	A	八王子市	オオタカに迫る開発の波		山地	生物	保護
0612	931005	ト	西多摩地区	西多摩林間ゾーンの振興 9項目の具体策提言		市街地	景観	利用
0613	931005	ト	八王子市	道路建設 発掘調査義務を無視		市街地	文化財	保護
0614	931006	Y	落合川/ 東久留米市	護岸工事 本当に有効?		河川	生物	保護
0615	931008	ト	八王子市	業者にまかせきり 結局、土地転がしの結果に		山地	緑	保護
0616	931009	ア	国分寺市	多摩自然フォーラム～水と緑 地球からの新しい出発のために		市街地	緑	保護

記事 N O .	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N O .	エリア	対象	行為
0617	931010	A	多摩川	多摩川改良了ユのばれず		河川	緑	保護
0618	931010	T	羽村市	「玉川上水」で活発な討論		市街地	文化財	保護
0619	931010	T	三鷹市	立ち退き問題など回答望む声が次々		市街地	景観	開発
0620	931012	ト	八王子市	ズサンな自然環境調査		市街地	景観	開発
0621	931015	Y	八王子市	審議会「報告事項扱い」に		山地	緑	開発
0622	931015	Y	日の出町	ごみ処分場問題浮き彫り 住民活動、映画に		市街地	景観	開発
0623	931015	ト	北多摩地区	南北交通網整備など提言		市街地	交通	開発
0624	931017	Y	青梅市	圏央道、都内初の着工		市街地	交通	開発
0625	931018	T	多摩川	「流域は1つ」 上下流のさすな探る		河川	緑	利用
0626	931019	ト	八王子市	許可条件に違反		山地	緑	保護
0627	931021	A	多摩地区	多摩ーロシア 渡り鳥通じ相互理解		市街地	生物	保護

記事 N o.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N o.	エリア	対象	行為
0628	931022	ト	八王子市	生活環境破壊に懸念		山地	緑	保護
0629	921022	ト	八王子市	圏央道 来着工へ		市街地	交通	開発
0630	931022	T	日野市	日野市の水を考える		市街地	水	保護
0631	931024	Y	八王子市	カモ使い 有機農法		市街地	生物	保護
0632	931026	ト	八王子市	保全審活用の好例		山地	緑	保護
0633	931026	Y	町田市	開発許可に甘いチェック		市街地	景観	開発
0634	931029	ト	八王子市	業者のお先棒かづく？		市街地	景観	開発
0635	931029	Y	武蔵野市	「大木・シンボルツリー2000計画」 中間提言まとまる		市街地	緑	保護
0636	931101	Y	国立市	国立の「音のマップ」作ろう		市街地	景観	保護
0637	931101	A	日の出町	谷戸沢処分場 廃棄物搬入問題		山地	ゴミ	開発
0638	931101	A	日の出町	「ごみ」映画で問題提起		山地	ゴミ	利用

記事 No.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体No.	エリア	対象	行為
0639	931102	ト	武蔵野市	22世紀に樹齢 1000年超す大木を		市街地	生物	保護
0640	931102	T	秋留台	あす横沢入を写そう		丘陵	生物	利用
0641	931102	A	八王子市	起工式中止求める		市街地	景観	開発
0642	931103	A	東大和市	村山貯水池の堤防の道 人と車の共存は狭くて無理		市街地	交通	開発
0643	931105	ト	東村山市	「北山公園」再生計画 ようやうやく対立から対話へ		市街地	緑	開発
0644	931105	ト	調布市	調布基地跡地利用 95年度一部着工へ		市街地	景観	開発
0645	931108	T	調布市	Jリーグ誘致運動に弾み		市街地	景観	開発
0646	931110	Y	町田市	無許可で住宅建設		市街地	緑	開発
0647	931111	Y	八王子市	圏央道の都内分着工届		山地	交通	開発
0648	931113	A	日の出町	有害ゴミの回収量 自治体でバラつき		山地	ゴミ	開発
0649	931116	ト	八王子市	" 批判者から創造者に "		市街地	交通	開発

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0650	931116	T	八王子市	圏央道建設に反対		山地	交通	保護
0651	931117	T	立川、昭島	VOICE93 国だけ笑う		山地	景観	利用
0652	931118	A	日の出町	「環境」など対立点残し		市街地	景観	開発
0653	931119	A	多摩地区	多摩新時代への出発 TAMAらいふ21		市街地	景観	開発
0654	931119	ト	日の出町	反対派”アセス逃れ”と抗議集会		市街地	交通	開発
0655	931122	T	玉川上水/ 武蔵野市	新たにカワムツ確認		河川	生物	保護
0656	931126	ト	八王子市	” 国有林政策の転換を”		山地	緑	保護
0657	931127	A	武蔵野市	住民が対案 緑多く		市街地	景観	開発
0658	931127	ア	八王子市	反対派警戒し外部を遮断		山地	交通	開発
0659	931130	ト	三多摩地区	施設故障などに備え ブロック化やモデル協定		市街地	ゴミ	開発
0660	931130	A	杉並区	中央自動車道反対を訴え30年 活動の記録を手に記に		市街地	交通	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0661	931130	A	青梅市	「都条件違反」と抗議		市街地	景観	開発
0662	931130	T	高尾町	圏央道建設めぐり動き急		市街地	交通	開発
0663	931130	ト	青梅市	青梅で工事説明会開催していた		市街地	交通	開発
0664	931202	T	青梅市	圏央道青梅インター着工		市街地	景観	開発
0665	931203	ト	五日市町	TAMAらいふ21は開発促進のための イデオロギー戦略		市街地	景観	開発
0666	931203	ト	青梅市	圏央道 青梅ICで工事着工		市街地	交通	開発
0667	931203	T	野川/ 府中市	初冬の川霧 幻想の舞い		河川	生物	保護
0668	931211	T	高尾町	圏央道説明会 また粉		市街地	交通	開発
0669	931217	T	高尾町	圏央道 説明会を拒否、流会		市街地	交通	保護
0670	931217	ア	羽村市	風景変わる 都立自然公園		市街地	緑	保護
0671	931226	T	多摩地区	住民意識不在の事業メーンイベント VOICE93		市街地	景観	開発

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0672	940101	Y	鶴見川	京浜の街貫く「濁り川」 に今新たな息吹		河川	水	保護
0673	940101	Y	鶴見川	息づく命に歓声		河川	生物	保護
0674	940106	T	多摩川	河川浄化のキャンペーン		河川	景観	保護
0675	940106	A	多摩地区	資源ごみの割合増加		市街地	ゴミ	開発
0676	940107	ト	秋留台	21世紀に残そう秋留台の自然		丘陵	景観	開発
0677	940108	T	野川/ 三鷹市	サケ稚魚10,000匹無料配布		河川	生物	保護
0678	940110	A	国分寺市	ケヤキ長大 不満増大		市街地	生物	開発
0679	940119	A	小金井市	再開発巡り 市と住民対立		市街地	生物	開発
0680	940120	A	国立市	樹皮はがれ 枝折れ 市 延命対策を急ぐ		市街地	生物	保護
0681	930128	ト	平井川/ 秋川市	市民と都河川部が話し合う		河川	景観	開発
0682	940202	Y	国分寺市	自然保護へ活動開始 国分寺に共同の事務所		市街地	景観	開発

記事 No.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体No.	エリア	対象	行為
0683	940207	T	国分寺市	多摩地域の自然保護に新たな動き		市街地	景観	開発
0684	940208	ト	日の出町	日の出アセス連絡会が自主アセスで 中間報告		山地	ゴミ	保護
0685	940210	T	奥多摩町	あすから「森林づくりフォーラム」開催		山地	緑	利用
0686	940215	T	小金井市	「あらかわ」上映会の協力者募る		山地	水	保護
0687	940217	Y	秋留台	”自然と共生”不安が先行		丘陵	緑	保護
0688	940219	ア	国分寺市	市民が主体性を持って活動		市街地	緑	保護
0689	940228	A	多摩地区	多摩リサイクル市民連邦 高らかに発足宣言		市街地	景観	開発
0690	940304	T	日野市	政策立案に市民参加		市街地	景観	開発
0691	940308	ト	八王子市	東八道路 第2甲州街道として整備へ		市街地	交通	開発
0692	940311	Y	八王子市	金毘羅社 あす落慶式		市街地	文化財	開発
0693	940312	ア	平井川	自然環境共生保全求める要望書提出		市街地	生物	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0694	940313	Y	八王子市	圏央道促進へ議員組織旗揚げ		市街地	交通	開発
0695	940321	Y	多摩地区	多摩川まるごときれいに		河川	ゴミ	開発
0696	940326	T	八王子市	オオタカ調査 4羽の生息を確認		市街地	生物	保護
0697	940327	T	日野市	水に親しむ用水路残そう		市街地	水	保護
0698	940406	Y	八王子市	八王子 オオムラサキ大量確認		市街地	生物	保護
0699	940408	T	八王子市	多数の幼虫を確認		市街地	生物	保護
0700	940408	ト	国分寺市	水辺環境説義など公開サロンも		市街地	緑	保護
0701	940414	T	秋川市	好評です！「公開緑地制度」		市街地	緑	利用
0702	940415	M	八王子市	サンショウウオの卵18倍 都の調査とまだ”差		市街地	生物	保護
0703	940415	T	八王子市	卵のうら259個と親2匹確認		市街地	生物	保護
0704	940419	T	八王子市	オオタカ営巣と抱卵確認		市街地	生物	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0705	940420	Y	五日市町	復元水田に何が住む?		市街地	生物	保護
0706	940424	Y	多摩地区	「ホテル守れ」と団結		市街地	生物	保護
0707	940424	T	多摩地区	「東京ホテル会議」組織化		市街地	生物	保護
0708	940426	ト	八王子市	住都公団「保全策考える」		山地	生物	保護
0709	940430	S	日野市	「ホテルを救おう」 行政・企業・市民が一体で		市街地	生物	保護
0710	940508	Y	府中市	浅間山の自然パネルで紹介		市街地	緑	保護
0711	940508	Y	多摩地区	会員倍増へ呼びかけ		市街地	緑	保護
0712	940511	Y	五日市	霊園無許可造成 都が中止指導		市街地	景観	開発
0713	940512	T	町田市	道路端は粗大ゴミの“デパート”		市街地	ゴミ	
0714	940512	二	三鷹一立川	年度内にも事業着手		市街地	交通	開発
0715	940518	Y	浅川/ 日野市	野鳥観察競い基金活動		市街地	生物	利用

記事 N○.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N○.	エリア	対象	行為
0716	940520	A	野川/ 小金井市	緑と水 っぱい原っぱ守ろう		河川	生物	保護
0717	940521	ア	八王子市	オオタカ樓む森		丘陵	生物	保護
0718	940524	Y	町田市	EM菌で生ゴミ変身		市街地	生物	利用
0719	940525	Y	日野市	清流監視に市民も		市街地	水	保護
0720	940525	Y	平井川	川づくり多自然で		河川	景観	開発
0721	940525	Y	八王子市	サシバはどこ飛ぶ?		山地	生物	保護
0722	940527	ト	平井川	公有地利用し河道計画		河川	緑	保護
0723	940527	Y	日の出町	「特別影響ない」と都		山地	ゴミ	開発
0724	940529	Y	小平市	玉川上水守り20年		河川	水	保護
0725	940603	Y	八王子市	白バイ練習場設置計画 警視庁工事見合わせ		市街地	景観	保護
0726	940607	Y	奥多摩町	野外活動じわり自然破壊		市街地	緑	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0727	940607	Y	八王子市	オオタカカのひな3羽誕生		山地	生物	保護
0728	940607	Y	平井川/ 秋川市	中断2年 緊急工事再開		河川	景観	開発
0729	940611	Y	日の出町	計画達成市できず		市街地	ゴミ	開発
0730	940624	Y	八王子市	造成工事を一字中断		市街地	景観	開発
0731	940624	Y	八王子市	裏高尾地区で初懇談		市街地	交通	開発
0732	940706	T	青梅市	オオタカカのヒナまた密猟		山地	生物	保護
0733	940706	Y	日の出町	「非汚染」3月に都に報告		市街地	水	保護
0734	940707	Y	西多摩地区	森を大切に500人で下草刈り		山地	緑	保護
0735	940707	Y	青梅市	青梅で営巣のオオタカひなあ3羽 密猟される		山地	生物	保護
0736	940710	Y	西多摩地区	オオムラサキ活動範囲の調整開始		山地	生物	保護
0737	940710	Y	府中市	女性ネットワーク発足 総会73人		市街地	生物	開発

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0738	940712	ト	日の出町	「処分場の影響ない」		市街地	景観	開発
0739	940722	T	八王子市	オオタカの幼鳥3羽巣立つ		山地	生物	保護
0740	940722	Y	八王子市	飛んだ！オオタカのひな		山地	生物	保護
0741	940723	ア	八王子市	精悍な顔の3羽 元気よく巣立つ		山地	生物	保護
0742	940723	Y	八王子市	圏央道 反対あす集会		山地	交通	保護
0743	940725	Y	八王子市	250団体が反対継続誓う		山地	交通	保護
0744	940731	Y	奥多摩町	森に恩恵に感謝		山地	緑	開発
0745	940802	Y	高尾町	高尾山トンネルで きょう水平ボーリング開始		山地	緑	保護
0746	940805	N	秋川市	換気塔建設で説明会		市街地	景観	保護
0747	940805	N	平井川	平井川河川改修「話し合い」は中立的に		河川	水	開発
0748	940805	ニ	多摩地区	圏央道促進連絡会 多摩の賛成派設置		山地	緑	開発

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0749	940809	Y	八王子市	今月中にも路線測量		市街地	景観	開発
0750	940810	T	野川	カラカラ 雨よ降れ		市街地	生物	保護
0751	940816	Y	川口川/ 八王子市	ゲンジボタル60匹を確認 アセスは不備		河川	生物	保護
0752	940817	T	多摩地区	「リサイクル連邦」が発足		市街地	ゴミ	開発
0753	940817	Y	秋川市・ 五日市町	住民投票で是非を 秋川市と五日市町との合併問題		市街地		開発
0754	940818	T	高尾町	圏央道 反対住民ら抗議行動		市街地	交通	保護
0755	940818	Y	高尾町	圏央道 反対派、国道事務所に居すわり 警察官が出動		市街地	交通	保護
0756	940819	ト	小金井市	わんぱく夏まつり 20周年で記念誌		市街地	緑	利用
0757	940820	ア	小金井市	“泥と汗”の風物詩 ～わんぱく夏まつり～		市街地	緑	利用
0758	940823	Y	八王子市	圏央道、建設省、路線測量に着手		市街地	交通	開発
0759	940826	T	八王子市	圏央道、説明窓口設置できず		市街地	交通	開発

記事 N o.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N o.	エリア	対象	行為
0760	940826	Y	三鷹市	崖線緑地 都が保全強化へ		市街地	緑	保護
0761	940826	T	小金井市	小金井でわんぱく祭り		市街地	緑	利用
0762	940826	Y	八王子市	分校への圏央道 市民相談コーナー設置お流れ		市街地	交通	保護
0763	940826	Y	五日市町	住民、識者も参加		市街地	ゴミ	開発
0764	940826	ト	五日市町	J R東日本が横沢入に高級住宅開発 計画アセスに先鞭		市街地	景観	開発
0765	940827	了	八王子市	測量終了 発表に抗議		山地	景観	保護
0766	940827	Y	八王子市	圏央道「南へ」15キロ事業化		市街地	交通	開発
0767	940828	Y	浅川/ 八王子市	河川区域で宅建進行中		河川	景観	保護
0768	940828	Y	奥多摩町	10月の耐久レース参加賞から40～50万円 奥多摩環境保全設立へ		市街地	緑	保護
0769	940830	Y	鶴見川	鶴見川 大掃除		河川	ゴミ	保護
0770	940831	Y	八王子市	圏央道市民説明コーナー 再び開設できず		市街地	交通	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0771	940901	A	国立市	田園地帯の湧水にコンクリスツポリ		市街地	水	保護
0772	940911	Y	善福寺川	遊び感覚で自然を学習		市街地	生物	利用
0773	940915	A	東村山市	周辺四市とごみ、し尿の広域処理 東村山市が事実断念		市街地	ゴミ	開発
0774	940916	Y	平井川	平井川改修の意見対立、地元、懇談会設置 を提案		河川	緑	保護
0775	940917	二	東京都	都、多摩の南北道拡幅		市街地	交通	開発
0776	940918	A	浅川	市民や高校生参加コーナー 20日から 日本陸水学会		市街地	水	保護
0777	940918	T	黒目川/ 東村山市	ごみ調査かねて黒目川を清掃		河川	景観	保護
0778	940919	T	国立市	条例を求め 直接請求		市街地	景観	保護
0779	940923	T	多摩地区	ごみ処理「広域支援体制」1日スタート		市街地	ゴミ	保護
0780	941006	A	奥多摩町	巨木通じて緑語ろう		山地	緑	保護
0781	9301006	A	国立市	緑地帯巡り50センチ攻防		市街地	緑	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0782	9301006	ト	国分寺市	国分寺崖線と立川崖線の保全計画を		市街地	緑	保護
0783	941008	A	日の出町	組合がアセスメントを提出		山地	ゴミ	開発
0784	941011	ト	日の出町	処分組合がアセス案 「環境への影響少ない」		山地	ゴミ	開発
0785	941014	ト	瑞穂町	墓園造成に「待った」		市街地	景観	保護
0786	941015	A	日野市	市民参加の環境条件つくって		山地	生物	保護
0787	941018	A	日の出町	水質データ公開を陳情		山地	ゴミ	開発
0788	941020	A	日の出町	都公害審 調停打ち切り		山地	ゴミ	開発
0789	941021	ト	日の出町	処分組合と住民との調停を打ち切る		市街地	ゴミ	開発
0790	941102	A	国立市	住民らが署名簿提出		市街地	景観	保護
0791	941102	A	日野市	ごみの有効利用を考える協議会設立		市街地	ゴミ	開発
0792	941103	T	五日市町	横沢入の自然実感しよう		丘陵	緑	利用

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0793	941103	A	秋川市・ 五日市町	秋川・五日市合併問題 まず「民意」聞いて		市街地	景観	保護
0794	941111	T	国立市	景観条例制定へ検討委員会		市街地	景観	保護
0795	941111	ト	日の出町	日の出の森を廃棄物から守れ		山地	ゴミ	開発
0796	941112	A	国立市	緑地帯削り下水工事		市街地	緑	保護
0797	941112	A	秋川市・ 五日市町	「環境基本条件」の制定へ 主婦ら走る		市街地	景観	開発
0798	941113	T	日の出町	反対住民が新会発足へ		山地	ゴミ	開発
0799	941113	A	日の出町	住民団体内に提訴		山地	ゴミ	開発
0800	941116	A	日の出町	トラスト運動を展開		山地	緑	開発
0801	941116	A	秋川市・ 五日市町	秋川・五日市合併問題 住民投票に大半否定的		市街地	景観	保護
0802	941116	T	日の出町	住民がトラスト運動		山地	緑	保護
0803	941116	二	秋川市・ 五日市町	住民投票の必要なし 秋川市長改めて 表明		市街地	景観	開発

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0804	941118	ト	日の出町	反対派グループトラスト運動 建設予定地の一部を購入		山地	緑	保護
0805	941120	A	日の出町	アセス説明会粉碎		山地	ゴミ	保護
0806	941120	T	多摩川	白丸ダムに魚道建設へ		河川	生物	保護
0807	941121	A	秋川市・ 五日市町	町長リコール運動へ		市街地	景観	保護
0808	941121	T	国立市	国立の自然を絵はがきに		市街地	緑	保護
0809	941122	A	八王子市	広範囲で現況保全を		市街地	生物	保護
0810	941122	T	八王子市	環境保全に配慮を		市街地	生物	保護
0811	941123	二	八王子市	圏央道 住民向け現地見学会		市街地	景観	開発
0812	930	A	日野市	環境基本条例制定求め 条件の会 署名簿提出		市街地	景観	開発
0813	930	T	落合川	落合川に自然呼び戻そう		河川	緑	保護
0814	941129	A	町田市	「自然の森 残して」		市街地	緑	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0815	941129	M	国立市	住民グループが本請求		市街地	緑	保護
0816	9412013	二	立川市	再開発計画：白紙に		市街地	景観	保護
0817	941205	T	横浜市	住民が土地トラスト		市街地	景観	保護
0818	941206	A	小金井市	来年2月からフロン回収		市街地	ゴミ	開発
0819	941207	T	八王子市	処分場新設を検討		市街地	景観	開発
0820	941213	A	高尾町	高尾山の豊かな自然と圏央道反対の思い 本に		市街地	生物	保護
0821	941213	A	国立市	直接請求の景観条件案 市議会で否決		山地	景観	開発
0822	941215	A	日野市	環境基本条例制定へきょうから 署名縦覧		市街地	景観	開発
0823	941217	A	国立市	守ろうよ！ 国立の環境		市街地	緑	保護
0824	941217	A	日の出町	処分組合が証拠の調べ拒否		市街地	景観	保護
0825	941218	A	国立市	街づくりの中で景観保護考えよう		市街地	景観	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0826	941221	A	国立市	直接請求の都市景観条例 過半数に達せず否定		市街地	景観	開発
0827	941221	二	三鷹市	高架事業 三鷹一国分寺駅も採択		市街地	交通	開発
0828	941223	A	日の出町	地元住民ら意見書11万6000件を提出		山地	ゴミ	開発
0829	941224	A	日の出町	公述人、計画見直し要望		山地	ゴミ	開発
0830	941227	A	八王子市	オオタカカの生息地「天合峰を守って」		市街地	生物	保護
0831	941228	ト	日の出町	予定通りの着工困難に		山地	ゴミ	開発
0832	941228	A	奥多摩町	「緑のダム」水源林 高まる関心 子どもたちも協力		山地	水	保護
0833	941229	A	国立市	国立駅前開発 正式許可前に雑木林伐採		市街地	緑	開発
0834	941230	A	狭山丘陵	狭山丘陵を守れ		丘陵	生物	保護
0835	950106	T	国分寺市	日の出の森考える会 国分寺です 発足式		市街地	緑	保護
0836	9550106	T	東京湾	東京湾にサケ戻る		河川	生物	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0837	950110	ト	日の出町	日の出連絡会 環境保全局と話し合い		山地	ゴミ	開発
0838	950111	A	日野市	日野の「どんと焼き」一冊に		市街地	文化財	保護
0839	950114	A	日の出町	直接請求の環境基本条例案 総務委で継続審査		山地	ゴミ	開発
0840	950114	A	清瀬市	せせらぎを復活させ「北多摩の風景」 再現		市街地	緑	保護
0841	950116	A	国分寺市	殿ヶ谷庭園 そばに高層マンション計画		市街地	緑、水	保護
0842	950116	A	オースト ラリア	エコツアーとは自然に降れて 自然守る気持にさせる		市街地	生物	保護
0843	950117	A	日の出町	ごみ処分場 来月、工事禁止など提訴		山地	ゴミ	開発
0844	950117	T	町田市	屋敷森が消えた!		市街地	緑	開発
0845	950121	A	多摩川/ 府中市	サケの稚魚を育てませんか		河川	生物	保護
0846	950122	A	田無市	火入れから6時間小さな球できた		市街地	ゴミ	利用
0847	950127	ト	新宿区	多摩の風		市街地	水	開発

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0848	950128	ア	日野市	伝統行事の継承に強い関心		市街地	文化財	保護
0849	950128	ア	八王子市	自然の素晴らしさ 大切に訴えるポスト カード		市街地	生物	保護
0850	950131	ニ	多摩地区	企業誘致活動を本格化		市街地	交通	開発
0851	950203	ト	八王子市	都自然保護審が水生生物保護へ厳しい条件		市街地	生物	保護
0852	950204	ア	武蔵村山市	税金食う ごみ処理費		市街地	ゴミ	開発
0853	950212	A	東村山市	市民団体が候補擁立		市街地		保護
0854	950214	ト	日の出町	強制収用に備え 寺院等を建設		山地	ゴミ	開発
0855	950216	A	日の出町	市民グループが管理者に質問状		山地	ゴミ	保護
0856	9502161	A	多摩川/ 世田谷区	サケの稚魚3万匹放流		河川	生物	保護
0857	950224	A	日の出町	建設差し止めなど提訴		山地	ゴミ	開発
0858	950224	ト	調布市	環境基本条例案 市議会に提出へ		市街地	生物	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0859	950224	A	日の出町	第2処分場の建設差し止めを		山地	ゴミ	開発
0860	950225	A	秋川市	圏央道秋川IC 設計説明会		市街地	交通	開発
0861	950226	A	五日市町	オオタカカの繁殖に影響 重機使用を 一時中断		山地	生物	保護
0862	950228	A	五日市町	オオタカカ営地調査		山地	生物	保護
0863	950228	M	多摩市	雨水貯留槽購入に助成金		市街地	水	保護
0864	950301	A	日の出町	質問状には応じられぬ		山地	ゴミ	開発
0865	950304	A	東久留米市	ごみ焼却工場新設を一年延期		市街地	景観	開発
0866	950304	A	武蔵野市	災害時のボランティア応援 武蔵野市が条例案		市街地	生物	保護
0867	950304	ア	国分寺市	街にも山にも毎日"遠足"ぼくら 「こころ子ども探検隊」		市街地	緑	利用
0868	950304	ア	八王子市	多彩な特性70種を取獲		市街地	生物	保護
0869	950307	T	町田市	清水寺裏手の雑木林 緑地保全地域に		市街地	緑	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0870	950308	A	国分寺市	「庭園枯れる」都議会に陳情		市街地	景観	開発
0871	950308	T	八王子	全面的自然保護求める申し入れ		山地	生物	保護
0872	950308	T	狭山丘陵	狭山丘陵に縦貫道構想		丘陵	緑	保護
0873	950308	M	八王子	川口リサーチパーク予定地 市民ら保全申し入れ		市街地	生物	保護
0874	950309	A	日の出町	地裁支部 データ閲覧認める		市街地	景観	保護
0875	950309	T	日の出町	住民側の閲覧請求認める		山地	ゴミ	開発
0876	950309	M	日の出町	集水管データ公開命じる		山地	ゴミ	開発
0877	950310	T	日の出町	データ閲覧 処分組合も拒否		山地	ゴミ	開発
0878	950310	N	五日市町	新種の昆虫を発見		市街地	生物	保護
0879	950310	N	五日市町	希少性2種を確認		市街地	生物	保護
0880	950310	M	日の出町	町側、異議申し立て		山地	ゴミ	開発

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0881	950311	ア	野川	環境運動に大きな足跡		河川	生物	保護
0882	950314	ト	調布市	環境基本条例成立へ		市街地	生物	保護
0883	950315	Y	多摩地区	自然を防災に生かす		市街地	緑	利用
0884	950317	ト	日の出町	谷戸沢処分場 埋め立て跡地 利用計画の検討開始		山地	ゴミ	開発
0885	950317	M	八王子市	圏央道 きょううアセス説明会		山地	交通	開発
0886	950318	M	日の出町	「命がかかわることなのに」不安募る		山地	ゴミ	開発
0887	950323	A	鶴見川	開発策の代案 提示し成果		河川	生物	保護
0888	950329	A	日の出町	見解書をまとめて都に提出		山地	ゴミ	開発
0889	950329	A	日の出町	組合の申し立て却下		山地	ゴミ	開発
0890	950329	M	日の出町	「土壌汚染源はない」/ 「生態系変化に留意」		山地	ゴミ	開発
0891	950331	ト	日の出町	仮処分の停止申請を却下		山地	ゴミ	開発

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0892	950401	ア	五日市町	日本特産種 ヤマセンブリ38年ぶり に発見		市街地	生物	保護
0893	950406	二	多摩地区	都、全易者工事に着手		市街地	交通	保護
0894	950411	A	日の出町	処分組合が裁判官忌避		山地	ゴミ	開発
0895	950411	M	日の出町	多摩の環境問題への取り組みは		山地	ゴミ	開発
0896	950413	A	日の出町	データ開示 請求権なし		山地	ゴミ	開発
0897	950413	T	日の出町	住民に閲覧権利ない		山地	ゴミ	開発
0898	950413	M	日の出町	組合が住民側を反訴		山地	ゴミ	開発
0999	950414	T	武蔵村山市	立候補予定者の半数近くが賛成		丘陵	自然	保護
0900	950414	M	日の出町	谷沢戸処分場水質データ 15人 が公開に賛成		山地	ゴミ	開発
0901	950415	ア	八王子市	住宅の下 1mにトンネル?		市街地	交通	開発
0902	950420	A	日の出町	「水質データの公開を」新知事にはがき作 戦		山地	ゴミ	開発

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0903	950421	A	日の出町	反対住民が都に抗議		山地	ゴミ	開発
0904	950421	ト	日の出町	処分組合の見解書めぐり 23日から説明会		山地	ゴミ	開発
0905	950421	ア	奥多摩町	森林インストラクター		山地	生物	保護
0906	950429	ア	武蔵村山市	駅前で空きカン作戦		市街地	ゴミ	保護
0907	950506	ト	日の出町	舞台は再び地裁支部に		山地	ゴミ	開発
0908	950509	A	日の出町	間接強制を認める		山地	ゴミ	開発
0909	950510	A	八王子市	会議録公開が妥当		市街地	景観	開発
0910	950510	T	松原村	「都民の森」本年度中に利用者 100万人を突破		山地	緑	利用
0911	950512	A	日の出町	組合側、停止申し立て		山地	ゴミ	開発
0912	950512	ト	五日市町	エココミュニケーション案と 事業者案に絞る		山地	生物	利用
0913	950512	ト	日の出町	地裁支部が間接強制認める		市街地	景観	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0914	950513	ト	鶴見川	源流部を訪ね わき水でコーヒー		河川	水	保護
0915	950513	A	五日市町	豊かな自然横沢入の賛歌できた		山地	緑	保護
0916	950518	A	日の出町	請求の趣旨をめぐる説明 被告側の要請退ける		山地	ゴミ	開発
0917	950518	T	日の出町	地下水が汚染		山地	ゴミ	開発
0918	950518	T	日の出町	組合が強制金支払う		山地	ゴミ	開発
0919	950520	A	日の出町	環境保護運動をジョイントウオーク		山地	ゴミ	利用
0920	950520	A	調布市	30項目の改善点指摘		市街地	生物	開発
0921	950525	A	日の出町	市民が3年余をかけて まちづくりプラン 完成		市街地	景観	開発
0922	950525	A	日野市	ページめくれば 見える心配りの実感		市街地	景観	開発
0923	950525	T	小金井市	市民のための町づくり 基本計画も市民の手で		市街地	景観	開発
0924	950526	T	日の出町	有害物質検出されず		山地	ゴミ	開発

記事 N○.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N○.	エリア	対象	行為
0925	950527	ア	五日市町	五日市町横沢入の自然環境調査		山地	生物	保護
0926	950527	ア	五日市町	自然環境の現状要旨		山地	生物	保護
0927	950528	A	浅川/ 八王子市	野鳥の生息が見える		河川	生物	保護
0928	950530	A	日野市	直接請求の環境条例案にらみ		市街地	生物	保護
0929	950531	T	武蔵野市	失緑地5年間で47ヘクタール		市街地	緑	開発
0930	950531	M	日野市	日野に環境基本条例を		市街地	生物	保護
0931	950602	M	北多摩	署名運動を開始 ／緑地を守るため税の優遇処置を		市街地	緑	保護
0932	950603	A	日の出町	強制金の大幅増額を ／日の出谷戸沢処分場問題		山地	ゴミ	開発
0933	950604	T	八王子市	八王子で公聴会開く ／圏央道のアセス案		山地	緑	開発
0934	950607	A	日の出町	改善アセス書提出 ／遮水シートの種類を明記		山地	ゴミ	開発
0935	950608	A	多摩地区	青島流の波及見つける多摩の課題				その他

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0936	950609	A	日の出町	譲らぬ主張裁判で応酬 強制金1日15万円の出のゴミ処分場問題		山地	ゴミ	開発
0937	950610	A	日野市	市民が街づくりプラン /「日野まちづくりマスタープラン」発表				その他
0938	950611	A	八王子市	アセス案に反論目立つ /都市計画道めぐり公聴会		市街地		開発
0939	950613	A	国分寺市	国分寺市が建設計画承認 /構想マンション問題		市街地	水	開発
0940	950613	T	八王子市	複合汚染進む高尾山 /重度スギ枯れ8%に		山地	緑	
0941	950620	A	日野市	環境基本条例案継続審査決める /日野市議会の総務委				その他
0942	950620	A	日の出町	「市職員を動員」と追及 /町田と立川から参加		山地	ゴミ	開発
0943	950622	M	秋川/ 秋川市	不屈き四駆河原爆走 /草なぎ倒し川に進入		河川	生物	利用
0944	950623	A	町田市	タヌキ住める里山守ろう /町田に環境考える会		丘陵	生物	保護
0945	950623	T	町田市	区画整理に待った /貴重な動植物宝庫		丘陵	生物	保護
0946	950625	A	日野市	条例や政策ノウハウ学び住民手づくり		市街地		利用

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0947	950625	T	日の出町他	オオムラサキ保護で観察会開催へ ／広く参加を呼びかけ		丘陵	生物	保護
0948	950629	A	日の出町	組合・町の抗告棄却 ／高裁決定 間接強制不服申し立て		山地	ゴミ	開発
0949	950630	A	日の出町	公害防止協定案に地元自治会が同意		山地	ゴミ	開発
0950	950630	M	日の出町	市長答弁はとんど同じ ／11市の市議集まり報告会		山地	ゴミ	開発
0951	950630	M	町田市	多摩丘陵を守って ／住民2団体、知事に陳情書		丘陵	緑	保護
0952	950702	M	国分寺市	大地震の時緑地なければ多くの人命犠牲に ／湧水が枯れる		市街地	水	保護
0953	950704	A	日の出町	建設計画予定通り ／知事にも説明と管理者		山地	ゴミ	開発
0954	950705	M	都内	果ひとつのヒナ割合1羽以下に			生物	保護
0955	950706	A	日の出町	強制金1日30万円に ／地裁支部倍額引き上げ決定		山地	ゴミ	開発
0956	950708	M	国分寺市	都がコーサイ ／業者「10月から着工」通知		市街地	水、緑	開発
0957	950711	T	日の出町	トラスト参加住民に用地交渉 ／研修名目で組合派遣の自治体職員		山地	ゴミ	開発

記事 N o.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N o.	エリア	対象	行為
0958	950711	T	国分寺市	建設主に抗議文 ／住民の意志無視		市街地	水、緑	保護
0959	950712	A	東大和市	「自然」を造り繁殖を後押し ／トウキョウサンショウウオ		丘陵	生物	保護
0960	950714	A	日の出町	「水質」非公開の罰金 ／積もり積もって1,000万円		山地	ゴミ	開発
0961	950714	A	八王子市	反対派が予定地取得 ／土地確保運動を拡大		山地	ゴミ	保護
0962	950714	T	日の出町	ゾータ開示指導へ ／厚生省補助金も凍結		山地	ゴミ	保護
0963	950715	A	国分寺市	国分寺マシソン計画は野川流域の 水脈壊す危険性		市街地	水	保護
0964	950715	ア	日の出町	日の出町谷古入の森の自然を守り 生き物たちを守りたい		山地	生物	保護
0965	950720	A	東久留米市	汚れ目立つ黒目川 ／25地点で調査		河川	水	調査
0966	950720	A	日の出町	シート破損改めて否認 ／口頭弁論で組合側		山地	ゴミ	開発
0967	950722	ア	八王子市	豊かな自然 ／今年も三羽のヒナ まもなく巣立ち		山地	生物	保護
0968	950722	ア	高尾山/ 八王子市	圏央道反対11周年記念 ／3,000人集会と天狗の行進		山地	緑	保護

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0969	950730	A	日の出町	水質データを開示 ／有害物質検出されず		山地	ゴミ	開発
0970	950802	A	日の出町	「求めたデータ含まれず」 ／住民側さらに反発強める		山地	ゴミ	開発
0971	950802	T	高尾山/ 八王子市	買収に乗り出す ／公有地拡大法に基づき		山地	緑	開発
0972	950802	T	日の出町	電気伝導度データは「不存在」 ／都公文書開示審が答申		山地	ゴミ	開発
0973	950803	T	日の出町	協議成立にはなお曲折 ／日の出が調組側が住民へデータ開示表明		山地	ゴミ	開発
0974	950805	A	日の出町	データ一部公開で合意 ／電気伝導度は平行線		山地	ゴミ	開発
0975	950811	A	瑞穂町	カブトムシが雑木林の中でつかまえられる ／伐採樹の処分場を利用		丘陵	生物	利用
0976	950811	ト	日の出町	4項目を開示へ ／谷戸沢処分場水質データ		山地	ゴミ	開発
0977	950812	A	日の出町	「電気伝導度」など巡り平行線 ／谷戸沢処分場の水質データ開示問題		山地	ゴミ	開発
0978	950815	ト	日の出町	開示条件 住民側が反発 ／22日に組合側と再度協議		山地	ゴミ	開発
0979	950816	T	日の出町	「税金でデータ隠すな」 ／強制金支出指し止め 原告側激しい怒り		山地	ゴミ	開発

記事 N o.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N o.	エリア	対象	行為
0980	950823	A	日の出町	電気伝導度分の存否で根深い対立 ／一部水質データ開示で合意		山地	ゴミ	開発
0981	950824	ア	小金井市	泥んこになって遊びまわろう ／夏休み最後のイベント		河川		利用
0982	950825	T	日の出町	谷戸処分場への搬入削減 ／固形燃料化し業者に		山地	ゴミ	開発
0983	950825	T	多摩地域	ごみ減量、広域的に ／リサイクル組織結成へ			ゴミ	その他
0984	950830	T	武蔵村山市 他	市民団体が要望書 ／「トトロの森」縦貫道構想		丘陵	交通	開発
0985	950830	T	武蔵野市	配布前日に市長がストップ ／「日の出町などへの配慮ない」				その他
0986	950831	A	あきる野市	求められる自然と街づくりとの調和 ／あきる野市誕生				その他
0987	950831	T	町田市	雑木林の内と外で汚染度に差 ／大気汚染測定結果出そろろう		市街地		調査
0988	950831	T		広域的処分場確保を ／都市長会が初の要望			ゴミ	開発
0989	950831	T	町田市	ごみの最終処分場の延命策は？ ／調査に乗り出す			ゴミ	調査
0990	950908	ト	日の出町	改めてデータ公開命令 ／谷戸沢処分場問題で地裁支部		山地	ゴミ	開発

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
0991	950912	ト	武蔵野市	武蔵野市全域を緑地地区指定 /公共施設はすべて対象		市街地	緑	保護
0992	950916	ア	国分寺市	殿ヶ谷庭園の湧水が半減/ 旧国鉄操作場跡地のマンション工事が原因		市街地	水、緑	開発
0993	950919	A	北川/ 東村山市	清流取り戻せ /東村山に具体的提言めざす市民グループ		河川	水	保護
0994	950919	Y	国分寺市	都土木技研に調査依頼へ /マンションとの関係解明		市街地	水、緑	開発
0995	950919	Y	日の出町	住民、都に異議意見書 /建設予定地の保安林指定解除告示に		山地	ゴミ	開発
0996	950920	A	日の出町	組合と町側の主張最高裁も却下決定 /谷戸沢処分場問題		山地	ゴミ	開発
0997	950920	A	日野市	データ公開請願を採択 /日野市議会		山地	ゴミ	開発
0998	950920	T	日野市	環境条例案を可決 /骨格理念残し修正				その他
0999	950921	A	日の出町	強制競売を決定 /ごみ処分場予定地の一部		山地	ゴミ	開発
1000	950921	T	日の出町	データ公開拒否のツケ /処分組合所有地差し押さえ		山地	ゴミ	開発
1001	950922	ト	日の出町	第2処分場予定地の一部を強制競売決定 /強制金弁済に充当		山地	ゴミ	開発

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
1002	950922	T	町田市	能ヶ谷保全の請願 ／市議会は継続審議		市街地	緑	保護
1003	950922	T	日の出町	全データー開示を ／共産党議員団が要求書		山地	ゴミ	開発
1004	950923	Y	八王子市	あす現地見学と初総会 ／圏央道建設反対の市民グループ		山地	緑	保護
1005	950926	A	八王子市	「トンネル掘らせない」 ／圏央道計画に反対し用地取得の市民団体		山地	緑	保護
1006	950926	A	日の出町	実質着工で抗議文 ／処分組合管理者と知事あて		山地	ゴミ	開発
1007	950926	T	国分寺市	28日に支援コンサート「古楽器と古舞踏」 ／殿ヶ谷戸庭園を守る会		市街地	水、緑	開発
1008	950926	M	多摩川	多摩川の自然こんなに素晴らしい ／活動の成果小冊子に		河川		その他
1009	950926	Y	鶴見川	流域住民が連帯 鶴見川の記録映画 ／自然保護や街作りへ		河川		その他
1010	950926	T	日の出町	組合の抗議に住民側反発 ／第2処分場土地差し押さえ問題		山地	ゴミ	開発
1011	950627	T	日の出町	市民団体が抗議活動 ／工事の一部着工に		山地	ゴミ	開発
1012	950928	Y	多摩地域	ぞみ、リサイクルに高関心 ／積極的な行動へPRも			ゴミ	調査

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
1013	950928	Y	日の出町	水質データを開示 ／組合、一部を除き		山地	ゴミ	開発
1014	950928	Y	日の出町	両者に依然隔たり ／宙に浮く「電気伝導度」存否		山地	ゴミ	開発
1015	950929	A	国立市	条例の制定へ発足 ／基本計画 来年めど答申		市街地	景観	その他
1016	950929	A	北多摩	4市議会、市民の請願採択 ／都市の緑を税の重みから守る優遇措置		市街地	緑	保護
1017	950929	Y	北多摩	守れ武蔵野の面影 ／相続税支払いで売却消えゆく屋敷林		市街地	緑	保護
1018	950929	Y	日の出町	組合が搬入道路着工 ／住民側「早急み対応決める」		山地	ゴミ	開発
1019	950930	ア	国立市	都道建設で青柳崖線分断 ／豊かな湧水と自然林を守る		市街地	水	開発
1020	950930	Y	日野市	修正案を可決 ／市民グループ直接請求「環境基本条例」				その他
1021	950930	Y	日の出町	対立さらに泥沼化 住民「受けて立つ」/ 組合側が土地収用法に基づく事業認定申請		山地	ゴミ	開発
1022	950930	T	日の出町	反対派の土地、強制収用も ／組合、都に認定申請		山地	ゴミ	開発
1023	950930	T	日の出町	寝耳に水、住民反発 ／第二処分場土地収用申請		山地	ゴミ	開発

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
1024	951003	ト	砂川用水/ 国分寺市	ふるさと・ふれあい事業で砂川用水整備 ／「農の広場」も		市街地	水	利用
1025	951007	A	多摩地区	多摩の17市町議会が可決 横田周辺では厳しい内容		市街地		利用
1026	951007	A	日の出町	仮処分決定取り消しと執行停止を申し立て ／谷戸沢処分場の水質データ開示問題		山地	ゴミ	開発
1027	951008	T	日の出町	被害あるなら見せてくれ 処分場側 出せぬデータよほど悪い 住民側		山地	ゴミ	開発
1028	951009	T	日の出町	命の水守ろう ／反対派が緊急大集会		山地	ゴミ	開発
1029	951010	A	日野市	市議の態度 点数で評価 ／〇×氏は私語14回と遅刻で「5点」				調査
1030	951012	T	日の出町	住民「懐柔策」と批判 ／分析結果、年内に公表か		山地	ゴミ	開発
1031	951014	T	武蔵野市	武蔵野市の消費生活展中止 ／日の出処分場めぐる市民の展示			ゴミ	その他
1032	951016	T	野川 /	野川の面白さ伝えたい ／「流域地図」を自費出版				調査
1033	951017	A	武蔵野市	展示内容巡り消費生活展中止 ／市が「共催降りる」			ゴミ	その他
1034	951017	A	日の出町	町側に協力要請へ ／建設めざす27市町長		山地	ゴミ	開発

記事 N O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N O.	エリア	対象	行為
1035	951018	A	日の出町	反対派、業者と交渉 ／工事中止申し入れ		山地	ゴミ	開発
1036	951019	T	日の出町	原告側、釈明処分申し立て ／次回は現地調査		山地	ゴミ	開発
1037	951024	A	日の出町	取り下げ請願不採択 ／第二処分場の事業認定問題		山地	ゴミ	開発
1038	951024	T	日の出町	玉ノ内地区の保安林指定解除		山地	ゴミ	開発
1039	951025	A	日の出町	建物設置や会員増めざす ／強制収用に反対		山地	ゴミ	開発
1040	951025	T	調布	ごみ問題を徹夜で討論 ／28-29の両日、調布で開催			ゴミ	その他
1041	951026	A	日の出町	「進む汚染は事実」 ／批判強める住民側		山地	ゴミ	開発
1042	951026	T	檜原村・ あきる野市	地元住民ら抗議文 ／環境悪化を懸念		山地	交通	開発
1043	951026	T	多摩地域	リサイクル推進会議が発足 ／多摩地域のごみ減量化で			ゴミ	その他
1044	951027	T	日の出町	「公金支出の事実まい」 ／町側、訴え却下求める		山地	ゴミ	開発
1045	951028	T	日の出町	代替案に循環型処理 ／安全策や計画見直しへ		山地	ゴミ	開発

記事 N o.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N o.	エリア	対象	行為
1046	951030	日経	日の出町	建設めぐり 深まる溝 ／東京・多摩地区のゴミ処分場		山地	ゴミ	開発
1047	951030	T	日野市	緑と清流に囲まれた文化の「市民都市」 ／身近な自然に触れ合う		市街地	水、緑	保護
1048	951101	産経	檜原村・ あきる野市	「宮奥地を守ろう」 ／「道路工事の中止」を		山地	交通	開発
1049	951101	T	国立市	3・3・15線きょう着工 ／生活道路確保が環境保全か		市街地	交通	開発
1050	951102	Y	あきる野市	連絡会を結成 ／秋川南岸道路反対の5自然保護グループ		山地	交通	開発
1051	951104	T	町田市	能ヶ谷町の里山保全を ／19日に緊急シンポジウム開催		市街地	緑	開発
1052	951105	A	日の出町	汚水漏れの規制に不備 ／東京・日の出町のごみ処分場問題で露呈		山地	ゴミ	開発
1053	951106	T	日の出町	環境庁も重大関心 ／都に影響調査徹底を指導		山地	ゴミ	開発
1054	951107	T	五日市	「五日市の百年」完成				その他
1055	951108	A	町田市	宅地開発で危機の多摩丘陵里山守れ ／都市農業緑の保全住民の声どう反映		丘陵	緑	保護
1056	951109	A	多摩川 ／狛江市	復活へ地元こぎ出す ／多摩川いかだレース財政難で中止は無念		河川		利用

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
1057	951109	A	小金井市	タヌキと共存 環境週間催し				保護
1058	951111	T	日の出町	住民ら看板撤去に抗議 ／組合側「許可なく設置」		山地	ゴミ	開発
1059	951111	ア	日の出町	深まる住民との溝 ／日の出町・ごみ処分場問題大きなヤマ場		山地	ゴミ	開発
1060	951115	A	武蔵野市	小さな緑も大切に ／独自の保護条例導入へ		市街地	緑	保護
1061	951117	A	国分寺市	「わき水へ影響なし」 ／国分寺のマンション建設		市街地	水、緑	開発
1062	951117	T	野川 ／ 小金井市	「くじら山原っぱ」は残った ／都が調節池建設計画を撤回		河川	水	利用
1063	951122	A	日の出町	住民と業者の協議は平行線 ／日の出の処分場問題		山地	ゴミ	開発
1064	951125	A	八王子市	八王子で安全祈念式 ／都内の用地買収早める		山地	交通	開発
1065	951201	Y	日の出町	電気伝導度データ「今は公表しない」 ／各戸沢処分場問題で多摩市長		山地	ゴミ	開発
1066	951205	ト	東京都	「水の系」「地の系」を設定 ／基本方針に「水と緑のネットワーク			緑	その他
1067	951206	T	日の出町	建設促進と協力求める ／組合側 日の出町に要請書		山地	ゴミ	開発

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
1068	951208	T	矢川 / 立川市	都が湧水整備計画決定 ／立川市の矢川緑地保全地域		河川	水	保護
1069	951210	T	日の出町	きょう市民公聴会 ／日の出町の処分場問題		山地	ゴミ	開発
1070	951212	T	日の出町	立川で市民公聴会 ／組合や都関係者は欠席		山地	ゴミ	開発
1071	951214	A	残堀川 /	水ない水辺を整備 ／カルフカモ泳ぐ川だった		河川	水	保護
1072	951215	A	町田市	インターネットで市民運動アクセス ／町田の市民団体がホームページ開設				その他
1073	951218	T	日の出町	ごみ問題解決に市民の輪 ／公聴会で幅広い議論		山地	ゴミ	開発
1074	951219	A	日の出町	来年早々にも着工へ ／「なし崩し」と住民反発		山地	ゴミ	開発
1075	951219	M	日の出町	地裁、現地で証人調べ ／争点「電気伝導度データ」巡り尋問		山地	ゴミ	開発
1076	951219	Y	日の出町	厚生省、補助金交付へ ／今年度は1億7千万		山地	ゴミ	開発
1077	951219	Y	日の出町	記録装置はなし ／谷戸沢処分場の電気伝導度データ問題		山地	ゴミ	開発
1078	951219	T	日の出町	疑惑解明進まぬ中2つの動き ／裁判官が現地視察		山地	ゴミ	開発

記事 N.O.	掲載 年月日	掲載紙名	河川/ 地域名	記事見出し	掲載記事関係 団体N.O.	エリア	対象	行為
1079	951220	A	あきる野市	知事に19項目の質問状 ／連絡会が環境へ影響懸念		山地	交通	開発
1080	951220	A	日の出町	事業認定を要請 ／知事に多摩市長ら		山地	ゴミ	開発
1081	951220	A	日の出町	保全検討委を設置 ／水質点検など協議		山地	ゴミ	開発
1082	951220	T	日の出町	あすにも事業認定 ／日の出町処分場問題		山地	ゴミ	開発
1083	951220	T	日の出町	組合が検討委設置 ／5月に最終報告		山地	ゴミ	開発
1084	951221	A	日の出町	「建設に慎重な判断を」 ／住民ら組合議員に要請		山地	ゴミ	開発
1085	951221	A	日の出町	都、きょう事業認定 ／日の出町のごみ処分場		山地	ゴミ	開発
1086	951222	A	日の出町	「水を守れ」渦巻く怒り ／日の出のごみ第二処分場が事業認定		山地	ゴミ	開発
1087	951223	T	町田市	能ヶ谷の自然記録 ／里山の四季41点収録		市街地	緑	保護
1088	951226	A	日の出町	抗議のなか契約可決 ／議場に反対住民40人		山地	ゴミ	開発
1089	951227	A	日の出町	「補助金内示しないで」 ／住民ら厚生省に要請		山地	ゴミ	開発

た ま がわりゅういせおよ た ま ち い き かか し ぜんかんきょうほ ぜん
「多摩川流域及び多摩地域が抱える自然環境保全
か せん すい ろ きゅうりょうとう か だい じゅうみんかつどう じつたいちようさ
(河川、水路、丘陵等) の課題と住民活動の実態調査」

(研究助成・一般研究 VOL. 21-No.114)

著 者 えの もと まさ くに
榎 本 正 邦
発行日 2000年 3月31日
発 行 財団法人 とうきゅう環境浄化財団
〒150-0002
渋谷区渋谷 1-16-14 (渋谷地下鉄ビル内)
TEL (03)3400-9142
FAX (03)3400-9141
